

平成29年度版

瀬戸市の教育



-新しい小中一貫校の鳥瞰図-

瀬戸市教育委員会

目 次

I 教育行財政

- 1 瀬戸市の沿革 1
- 2 教育委員会組織機構図 2
- 3 教育委員会職員数 3
- 4 事務の補助執行 3
- 5 歴代教育委員 4
- 6 歴代教育長 5
- 7 教育財政 6
- 8 教育アクションプラン 8
- 9 教育アクションプラン推進会議 15
- 10 瀬戸市教育大綱 16
- 11 瀬戸市総合教育会議 17

II 学校教育

- 1 瀬戸の学校教育でめざすもの 18
- 2 具体的な取り組み 19
- 3 教職員の研修 35
- 4 学校の状況 40
- 5 学校施設一覧 44
- 6 瀬戸市立小学校の適正配置 46
- 7 隣接学校選択制 53
- 8 就学・私学助成制度 55

III 学校給食

- 1 学校給食の方針 57
- 2 学校給食の現況 57

IV 図書館

- 1 図書館活動 64

V 視聴覚ライブラリー

- 1 視聴覚ライブラリー活動 69

VI 社会教育

- 1 社会教育 71

VII 社会体育

- 1 社会体育 77
- 2 体育・スポーツ活動 78
- 3 スポーツ施設 81
- 4 野外活動センター 82

VIII 文化財保護

- 1 文化財保護活動 83

資料

- 1 沿革 88
- 2 教育関係施設一覧 112

はじめに

世の中にテレビが普及し始めたのは、ほんの50年前。今や、人工知能の時代を迎え、超加速度的に進む社会の変化と教育の営みとは、あまりにもかけ離れたスピード感を持たざるを得ません。

本冊にまとめられた「瀬戸市の教育」に於いても、ゆっくりと時を刻んでいるように見えますが、特にこの1年は、何年分にも相当するぐらいの質的变化を遂げています。

瀬戸市の教育の歴史を大きく塗り変えることになる、平成32年4月開校の小中一貫校、同時に導入される市内全中学校ブロックでの小中一貫教育の段階的な導入に向けて、ハード面においてもソフト面においても、急ピッチで準備が進められています。

瀬戸市が積み上げてきた、教育理念を具現化する様々な施策を礎として、今が瀬戸市にとって教育の大転換期と捉え、新しい学校の教育環境整備、教職員の意識改革、家庭や地域と学校との協働体制の確立に関係者が総力を挙げて取り組んでいます。

様々な検討の過程で、如何に多くの皆様にこの一大事業に関わって頂くか、皆様と協働して進めるかが、成功の鍵であると考えています。

本報告書では、教育行政の各分野の概要とともに、第2次教育アクションプランが目指す「自ら考え、学び、生き抜く力」を中核に据えた、「自立」、「協働」、「創造」、「共生」、「挑戦」の5つの基本的な方向をもとに、平成29年度の事業展開をお示ししております。

この冊子を、本市の教育行政をご理解頂くために役立てて頂くとともに、「子どもたちの幸せ」を切に願い、皆様と協働して教育を作り上げていくことをお願いし、はじめの言葉と致します。

平成29年10月

瀬戸市教育委員会
教育長 深見和博

I 教育行財政

1 瀬戸市の沿革

瀬戸市は、濃尾平野の東、尾張丘陵の一角にあって、中部経済圏の中心地である名古屋市の北東約 20km に位置し、周囲を標高 150m～300m の山々に囲まれ気候も温暖で、丘陵地帯には、瀬戸層群と呼ばれる新第三紀鮮新世の地層があり、やきものの原料となる良質の陶土やガラスの原料となる珪砂を豊富に有しています。また、北部や東部の山間地帯には、松などの樹林が広がり、かつては、こうした恵まれた自然が、瀬戸の窯業の発展に大きな支えとなってきました。このような自然や時代の移り変わりを背景に、窯業に携わってきた人々のたゆまぬ努力のおかげで、せとものはやきものの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。明治 11 年(1878)に郡区町村編成法、同 22 年(1889)に町村制が公布されると、近代的な自治体である瀬戸村となり、次いで明治 25 年(1892)には瀬戸町になりました。さらに大正 14 年(1925)には赤津村及び旭村の一部を合併し、4 年後の昭和 4 年には愛知県で 5 番目の市として「瀬戸市」が誕生しました。その後も昭和 26 年(1951)には水野村を合併、同 30 年(1955)には幡山村、同 34 年(1959)には品野町を合併し、市域は現在 111.40 k m²、人口は 13 万人を超えるまでに発展しました。先人たちより引き継がれてきた「歴史」「伝統」「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

- | | |
|----------------------------|--|
| (1) 市制施行 | 昭和 4 年 10 月 1 日 |
| (2) 市役所所在地 | 瀬戸市追分町 64 番地の 1
東経 137 度 5 分 3 秒
北緯 35 度 13 分 24 秒 |
| (3) 面積 | 111.40 k m ²
東西 12.8 k m
南北 13.6 k m |
| (4) 人口 (平成 29 年 4 月 1 日現在) | 男 64,140 人
女 66,158 人
計 130,298 人 |
| (5) 世帯数 | 54,916 世帯 |



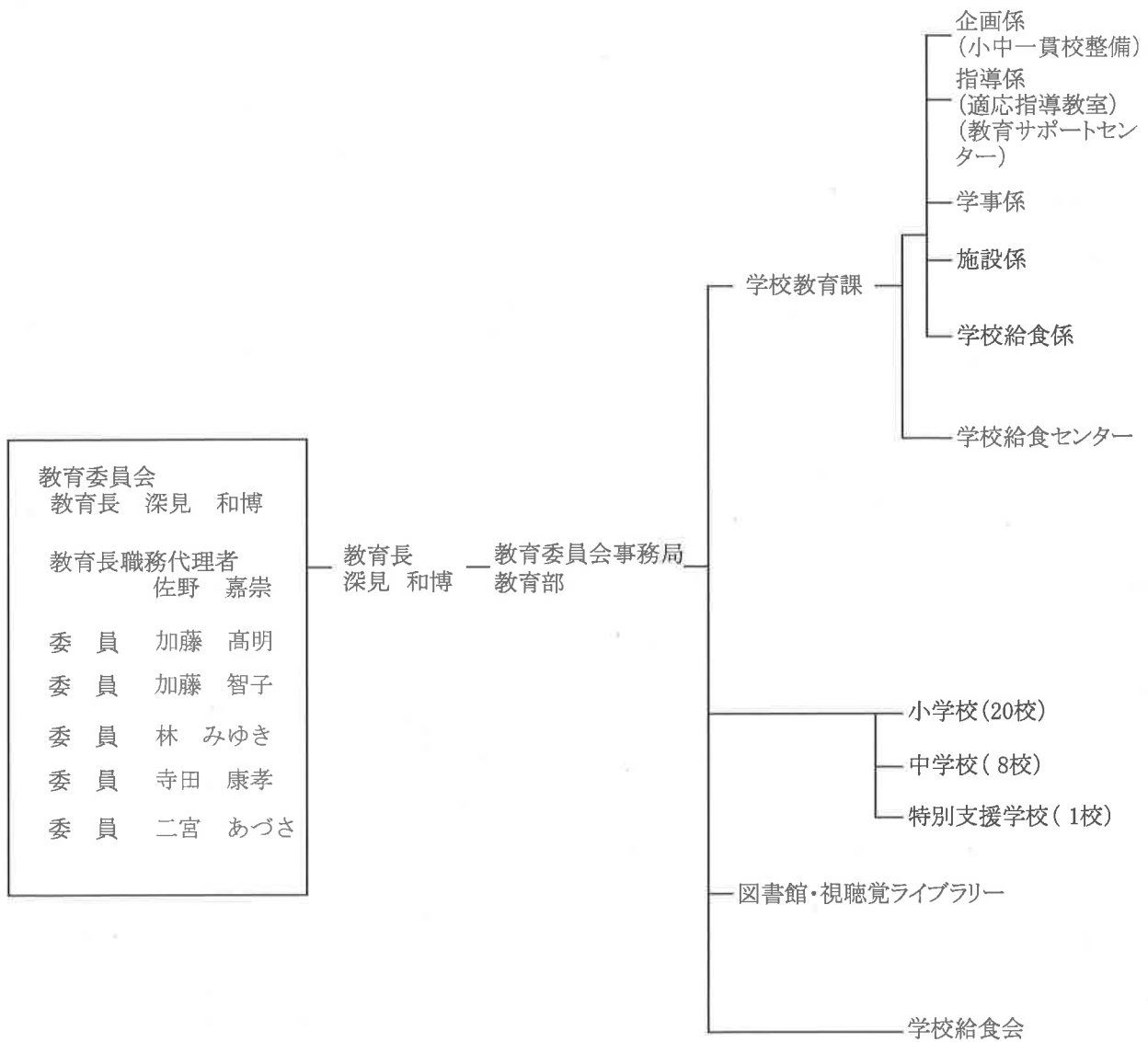
市の花 ツバキ



市の木 クロガネモチ

2 教育委員会組織機構図

平成29年10月1日現在



3 教育委員会職員数

平成29年4月1日現在

	教育部長	教育次長兼課長	課長・主幹	課長補佐・専門員	係長・主査	主事	技師	技師員	用務員	調理員	配膳員	嘱託職員	計	備考
教育部長	1												1	技師兼務
学校教育課			3	8(1)	4(1)	6		1				5	27	()内は技師数
小学校(20校)									6	13			19	
中学校(8校)									5				5	
特別支援学校(1校)					1					3			4	
図書館			1	1		1							3	
視聴覚ライブラリー			(1)	(1)		(1)							0	()は図書館の職員が兼務
計	1		4	9	5	7		1	11	16		5	59	
学校給食会												1	1	
計												1	1	

4 事務の補助執行

(1) 市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

- ① 私立学校（私立幼稚園を除く。）、私立の専門学校及び私立の各種学校に関すること。
- ② 教育委員会の所掌する事業に係る国庫支出金及び県支出金等の申請に関すること。
- ③ 瀬戸市予算及び決算規則（昭和40年瀬戸市規則第17号）、瀬戸市公有財産事務取扱規則（昭和42年瀬戸市規則第21号）、瀬戸市自動車等管理規程（昭和40年瀬戸市訓令第2号）に規定する各課等の長の処理すべき事務に関すること。
- ④ 瀬戸市会計規則（昭和29年瀬戸市規則第4号）に規定する各課等の長及び物品取扱主任等の処理すべき事務に関すること。
- ⑤ 瀬戸市契約規則（昭和40年瀬戸市規則第18号）に規定する契約担当者の処理すべき事務に関すること。

(2) 教育委員会が市長部局の交流活力部の職員に補助執行させる事務

- ① 青少年教育、成人教育、その他社会教育に関すること。
- ② スポーツに関すること。
- ③ 文化財の保護に関すること。
- ④ 公民館の事業に関すること。
- ⑤ 前各号に係る教育財産の管理に関すること。

(3) 教育委員会が市長部局の市民課及び支所に属する職員に補助執行させる事務

- ① 住民の異動に伴う就学通知書、入学通知書、学齢児童生徒市外転出通知書及び学齢児童生徒市内異動通知書の交付に関すること。（ただし、通学区域外入学に係るものを除く。）

5 歴代教育委員(教育長を除く)

平成29年10月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数	氏名	在職期間	在職年月数
(公)松原 明道	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤 伸也	昭和58年10月～昭和62年9月	4年
(公)早川 富次郎	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	山内 敏平	昭和59年10月～昭和63年9月	4年
(公)藤井 吉久	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	磯村 範良	昭和60年10月～平成元年9月	4年
(公)稲垣 信夫	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤 悦郎	昭和61年10月～平成2年9月	4年
加藤 三郎	昭和27年11月～昭和28年9月	11月	竹田 竜弥	昭和62年10月～平成3年9月	4年
伊藤 陶彦	昭和28年6月～昭和29年6月	1年	鈴木 逸夫	昭和63年10月～平成4年9月	4年
加藤 通之助	昭和29年6月～昭和30年6月	1年	林 春治	平成元年10月～平成5年9月	4年
伊藤 義雄	昭和30年2月～昭和31年9月	1年8月	山城 浩平	平成2年10月～平成6年9月	4年
村上 力男	昭和30年6月～昭和31年6月	1年	大竹 保枝	平成3年10月～平成7年9月	4年
矢野 千代太	昭和31年6月～昭和31年9月	4月	余語 彦次	平成4年10月～平成8年9月	4年
松原 恒	昭和31年10月～昭和33年9月	2年	松原 肇	平成5年10月～平成9年9月	4年
加藤 昇次	昭和31年10月～昭和34年9月	3年	小野 義弘	平成6年10月～平成10年9月	4年
加藤 秋子	昭和31年10月～昭和35年9月	4年	勝谷 哲次	平成7年10月～平成11年9月	4年
加古 徳次	昭和31年10月～昭和36年9月	5年	鈴木 政成	平成8年10月～平成12年9月	4年
加藤 元資	昭和33年10月～昭和37年9月	4年	加藤 唐三郎	平成9年10月～平成13年9月	4年
小野 廉二	昭和34年10月～昭和38年9月	4年	梅村 和子	平成10年10月～平成14年9月	4年
篠瀬 実	昭和35年10月～昭和39年9月	4年	野田 正治	平成11年10月～平成15年9月*	4年
荒川 安吉	昭和36年10月～昭和40年9月	4年	大竹 良太	平成12年10月～平成16年9月	4年
柴田 善右工門	昭和37年10月～昭和41年9月	4年	加藤 定江	平成13年10月～平成17年9月	4年
加藤 敏子	昭和38年10月～昭和42年9月	4年	加藤 令吉	平成14年10月～平成18年9月	4年
加藤 政良	昭和39年10月～昭和43年9月	4年	伊藤 保徳	平成15年10月～平成19年9月	4年
加藤 作助	昭和40年10月～昭和44年9月	4年	松本 哲也	平成16年10月～平成20年9月	4年
大橋 惣二	昭和41年10月～昭和45年9月	4年	松本 高典	平成17年10月～平成21年9月	4年
後藤 八郎	昭和42年10月～昭和46年9月	4年	加藤 恵子	平成18年10月～平成22年9月	4年
水野 正司	昭和43年10月～昭和47年9月	4年	加藤 陽一	平成19年10月～平成23年9月	4年
加藤 正夫	昭和44年10月～昭和45年4月	7月	(再)野田 正治	平成20年10月～平成23年9月 *平成11年10月～平成15年9月	3年 *4年
水野 悦郎	昭和45年5月～昭和48年9月	3年5月	中島 道代	平成20年10月～平成24年9月	4年
江尻 守鉦	昭和45年10月～昭和49年9月	4年	刑部 祐介	平成20年10月～平成24年9月	4年
川本 三明	昭和46年10月～昭和50年9月	4年	鈴木 眞史	平成21年10月～平成25年9月	4年
加藤 光哉	昭和47年10月～昭和51年9月	4年	上川 和子	平成22年10月～平成26年9月	4年
加藤 晃	昭和48年10月～昭和52年9月	4年	水野 教雄	平成23年10月～平成27年9月	4年
加藤 鈔	昭和49年10月～昭和53年9月	4年	加藤 雅人	平成23年10月～平成27年9月	4年
加藤 俊明	昭和50年10月～昭和54年9月	4年	梶田 俊裕	平成24年10月～平成28年9月	4年
荒井 洋	昭和51年10月～昭和55年9月	4年	松本 恵美子	平成24年10月～平成28年9月	4年
加藤 英彦	昭和52年10月～昭和56年9月	4年	加藤 高明	平成25年10月～平成29年9月*	4年
伊藤 純一郎	昭和53年10月～昭和57年9月	4年	加藤 智子	平成26年10月～	3年
塚田 佳男	昭和54年10月～昭和58年9月	4年	佐野 嘉崇	平成27年10月～	2年
加藤 隆夫	昭和55年10月～昭和59年9月	4年	林 みゆき	平成27年10月～	2年
増岡 錦也	昭和56年10月～昭和60年9月	4年	寺田 康孝	平成28年10月～	1年
後藤 公彦	昭和57年10月～昭和61年9月	4年	二宮 あづさ	平成28年10月～	1年

氏名	在職期間	在職年月数
(再) 加藤高明	平成29年10月～ 平成25年10月～平成29年9月*	0月 *4年

6 歴代教育長

平成29年10月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数
山田 栄(代理)	昭和27年11月～昭和27年12月	2月
伊藤 一雄	昭和28年1月～昭和32年5月	4年5月
相原 邦雄	昭和32年6月～昭和43年9月	11年4月
松浦 正雄	昭和43年10月～昭和52年3月	8年6月
加藤 朋也	昭和52年4月～昭和55年3月	3年0月
加藤 春夫	昭和55年4月～平成2年3月	10年0月
加藤 浩松	平成2年4月～平成11年3月	9年0月
大澤 義洋	平成11年4月～平成24年3月	13年0月
深見 和博	平成24年4月～	5年6月



<深見和博 教育長>

7 教育財政

(1)平成29年度一般会計予算

(単位:千円)

歳 入			歳 出		
款	金額	割合	款	金額	割合
1 市税	18,236,401	51.9%	1 議会費	335,449	1.0%
2 地方譲与税	287,000	0.8%	2 総務費	4,175,037	11.9%
3 利子割交付金	28,000	0.1%	3 民生費	15,676,989	44.7%
4 配当割交付金	133,000	0.4%	4 衛生費	3,792,991	10.8%
5 株式等譲渡所得割交付金	137,000	0.4%	5 労働費	3,355	0.0%
6 地方消費税交付金	2,254,000	6.4%	6 農林水産業費	134,300	0.4%
7 ゴルフ場利用税交付金	38,000	0.1%	7 商工費	942,399	2.7%
8 自動車取得税交付金	166,000	0.5%	8 土木費	3,128,784	8.9%
9 地方特例交付金	103,000	0.3%	9 消防費	1,256,267	3.6%
10 地方交付税	2,312,000	6.6%	10 教育費	3,397,169	9.7%
11 交通安全対策特別交付金	20,000	0.1%	11 災害復旧費	8	0.0%
12 分担金及び負担金	260,121	0.7%	12 公債費	2,217,252	6.3%
13 使用料及び手数料	724,817	2.1%	13 予備費	50,000	0.1%
14 国庫支出金	4,417,162	12.6%			
15 県支出金	2,562,563	7.3%			
16 財産収入	320,755	0.9%			
17 寄附金	1	0.0%			
18 繰入金	294,268	0.8%			
19 繰越金	1	0.0%			
20 諸収入	1,163,311	3.3%			
21 市債	1,652,600	4.7%			
合 計	35,110,000	100.0%	合 計	35,110,000	100.0%

(2)一般会計と教育費の推移

(単位:百万円)

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29
一般会計総額(A)	30,810	32,340	32,750	32,330	33,210	36,260	34,920	33,890	35,110
教育費(B)	3,374	2,859	2,813	2,467	2,678	2,286	2,526	2,421	3,397
(B)/(A)	11.0%	8.8%	8.6%	7.6%	8.1%	6.3%	7.2%	7.1%	9.7%

(3)教育予算(歳出)の内訳

(単位:千円)

項 目	29年度	28年度	比較増減	前年比
1 教育総務費	717,151	314,391	402,760	228.1%
1 教育委員会費	2,864	2,887	△ 23	99.2%
2 事務局費	158,713	72,944	85,769	217.6%
3 教育指導費	234,177	238,560	△ 4,383	98.2%
4 小中一貫校整備費	321,397	0	321,397	-
2 小学校費	670,880	692,064	△ 21,184	96.9%
1 学校管理費	483,688	485,392	△ 1,704	99.6%
2 教育振興費	43,809	45,547	△ 1,738	96.2%
3 学校建設費	143,383	161,125	△ 17,742	89.0%
3 中学校費	398,361	345,485	52,876	115.3%
1 学校管理費	256,677	243,762	12,915	105.3%
2 教育振興費	48,713	46,506	2,207	104.7%
3 学校建設費	92,971	55,217	37,754	168.4%
4 特別支援学校費	43,699	44,095	△ 396	99.1%
1 特別支援学校費	43,699	44,095	△ 396	99.1%
5 社会教育費	211,975	212,638	△ 663	99.7%
1 社会教育総務費	853	955	△ 102	89.3%
2 地区公民館費	66,105	63,609	2,496	103.9%
3 図書館費	143,921	146,978	△ 3,057	97.9%
4 視聴覚費	1,096	1,096	0	100.0%
6 保健体育費	1,355,103	812,070	543,033	166.9%
1 保健総務費	102,147	99,700	2,447	102.5%
2 体育総務費	25,451	24,040	1,411	105.9%
3 体育施設費	126,168	134,772	△ 8,604	93.6%
4 学校給食総務費	598,054	61,338	536,716	975.0%
5 学校給食センター	159,013	159,914	△ 901	99.4%
6 学校給食単独校費	317,821	306,596	11,225	103.7%
7 野外活動センター費	26,449	25,710	739	102.9%
合 計	3,397,169	2,420,743	976,426	140.3%

8 瀬戸市教育アクションプラン

瀬戸市教育委員会では、平成 18 年度を初年度とする 10 年間を展望し、瀬戸市の教育が目指す姿を描いた「瀬戸市教育アクションプラン」を策定しました。このアクションプランは瀬戸市の教育の四半世紀先の未来を見通し、行政や市民、また互いに協力して取り組むべきことを示したものです。当初計画期間を終えた平成 27 年度末には、平成 37 年度を目標年度とする「第 2 次瀬戸市教育アクションプラン」を策定し、具体的な施策の展開として、7 つの基本目標と 22 の基本施策、78 の主な事業に反映させました。

(1) 基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
 瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
 瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

この基本理念は、平成 17 年 3 月に策定した「瀬戸市教育アクションプラン」の基本理念として掲げたものです。社会情勢や教育環境が大きく移り変わる中、この基本理念の重要性と意味合いが一層増しており、今後も継承することにより、未来を見通した様々な教育施策を推進し、本市の教育を充実させていきます。

(2) アクションプランの位置付け

教育基本法第 17 条第 2 項「地方公共団体は、国の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない」との規定に基づくアクションプラン（行動計画）となります。

「瀬戸市総合計画」をはじめ、市長と教育委員が協議する「瀬戸市総合教育会議」において定めた「教育に関する大綱」のもと、教育分野の個別計画として位置づけ、教育に関連する他の計画との整合性を図るとともに、関連する部門と連携・協働しながら、本市の教育行政が目指すべき姿を明らかにして、計画を推進していきます。

(3) 計画の期間

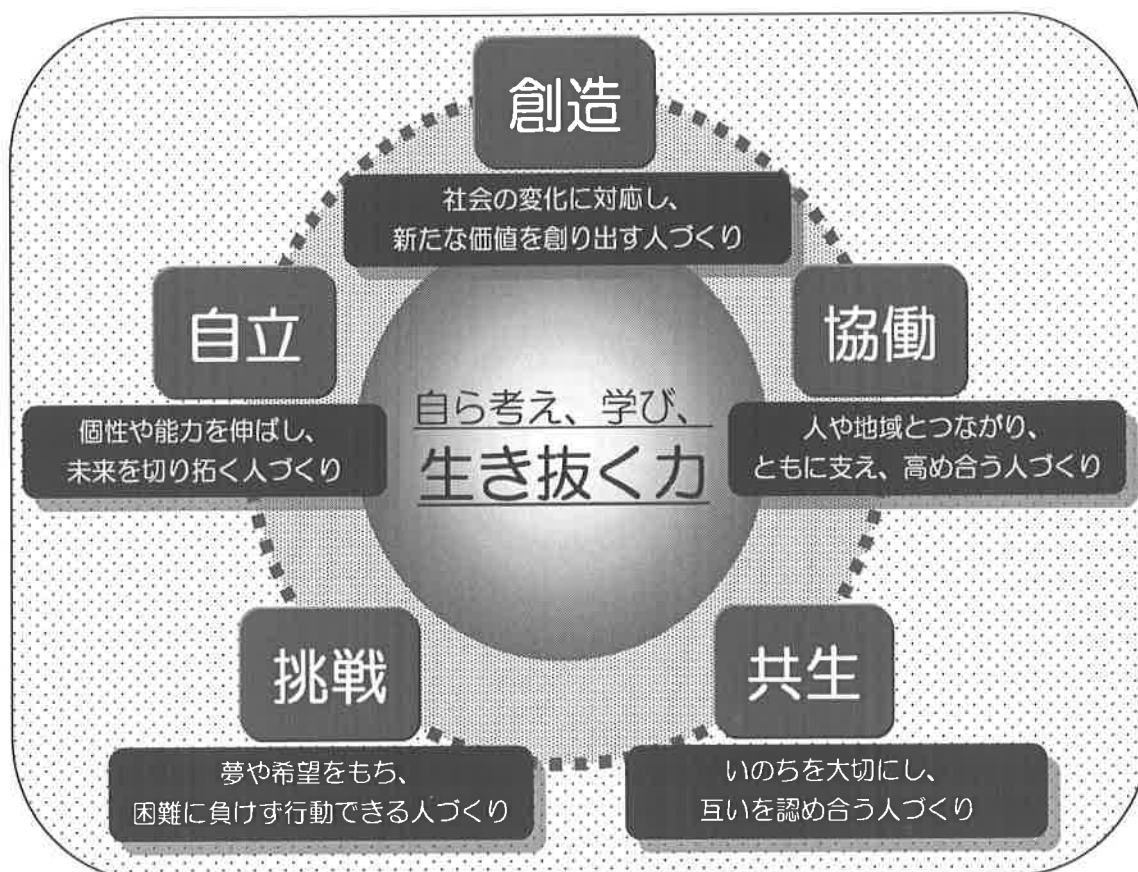
この計画は、平成 28 年度から 10 年間を計画期間としています。なお、「第 6 次瀬戸市総合計画」策定時及び計画が 5 年を経過した時点を目途に見直しを行い、必要に応じて、計画の内容を変更することとします。

■ 計画の期間

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	~H37
瀬戸市教育アクションプラン	(前計画期間)			第2次					
瀬戸市教育大綱				瀬戸市教育大綱					
瀬戸市総合計画	第5次			第6次					
教育振興基本計画(国)	第2期								

(4) 基本的方向性（目指す人間像）

基本理念を実現し、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するため、5つの基本的な方向性を目指します。



国の「第2期教育振興基本計画」では、生涯にわたって自己の能力と可能性を高め、様々な人々と協調・協働しつつ、自己実現と社会貢献を図るため、「自立」、「協働」、「創造」の3つの方向性を示しています。

本市では、これらに加え、瀬戸らしさとして「地域とともにある学校づくり」や特別支援教育など、いのちを大切にし、互いを認め合う「共生」と、「まるっとせとっ子フェスタ」など、夢や希望をもち、困難に負けず行動する「挑戦」を含んだ5つの基本的方向性を目指すことにより、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成していきます。

これら5つの基本的方向性は、それぞれが独立して存在するものではなく、基本施策ごとに相互にバランス良く関わり合うことにより、施策における基本目標を着実に達成していきます。

(5) 施策の展開

基本目標1 確かな学力の定着と向上

児童生徒が、基礎的、基本的な知識や技能を確実に習得するため、学習意欲の向上を図るとともに、授業内容や指導方法を工夫していきます。

また、子どもたちが自ら学び、考え、主体的に判断するため、学び合いの授業を取り入れるなど、言語活動を充実します。

さらに、今後は、知識や技能を活用して、一人ひとりが自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的・協働的に探究し、思考を活発にするため、アクティブ・ラーニングを充実し、必要とされる資質・能力である思考力・基礎力・実践力を高め、生き抜く力を育みます。

基本施策		主な事業	
1	基礎的、基本的学力の習得	1	基礎的、基本的学力の習得と学習習慣の定着
		2	学習意欲の向上
		3	読書活動の推進
2	学んだことを生かす教育活動の推進	4	探究的な学習と体験活動の推進
		5	学力向上のための現状分析や今後の方策の検討
		6	「少人数指導授業」や「チーム・ティーチング」の充実
		7	ICTを活用した授業の推進
3	教職員の教育力の向上	8	研修による教職員の資質の向上
		9	分かりやすい授業づくりの推進
		10	教員が子どもと向き合う時間の確保

基本目標2 豊かな心の育成

道徳教育や人権教育などを通して、子どもたち一人ひとりが互いを尊重し、思いやりをもち、規範意識や社会のルールを身につけるなど豊かな心を育みます。いじめ・不登校の防止にあたっては、学校・家庭・地域が手を携え、子どもにいのちの大切さを伝えるとともに、社会全体で子どもを守るなどの意識をより高めていきます。

また、豊かな感性や情操を養うため、文化芸術活動を支える事業を展開するとともに、文化財の調査研究を行い、市民が優れた文化芸術に親しみをもち、体験できる機会を充実していきます。

図書館においては、地域図書館を拡充し、市民がいつでもどこでも図書と親しむことができるなど、利便性を高める取り組みを行っていきます。

基本施策		主な事業	
4	いのちを大切にする教育の推進	11	道徳教育の推進
		12	人権教育の推進

5	いじめや問題行動への対応の充実	13	いじめ防止基本方針による取り組みの推進
		14	あたたかい学級づくりの推進やQ-Uの有効活用
		15	規範意識の定着など生徒指導の推進
		16	情報モラル教育の推進
6	不登校児童生徒への対応の充実	17	不登校や引きこもり児童生徒に対する対応の充実
		18	不登校予防のための教育相談体制の充実
7	文化芸術活動の支援や文化財の保存・活用	19	市民による文化芸術活動の支援や奨励
		20	文化芸術に触れ親しむ機会の確保
		21	伝統文化を尊重する心の育成
		22	文化財の保存・活用
		23	文化財に関する学習の機会提供
8	図書館サービスの充実	24	図書館施設の整備や充実
		25	図書館ネットワークの整備

基本目標3 健やかな体の育成

発達段階に応じて、健康づくりを実践し、生涯を通して健康で充実した生活を送るために基礎となる健やかな体を育みます。そのために、学校・家庭・地域が連携して、「早寝、早起き、朝ごはん」などの望ましい生活習慣を身につけるよう取り組んでいきます。

また、運動習慣を身につけるとともに、楽しみながら計画的かつ継続的に運動に取り組む機会を充実します。そのことが、将来にわたり、スポーツに親しむ機会の増加につながり、結果として、健康長寿社会の実現に重要な役割を果たすことになるものと考えます。

基本施策		主な事業	
9	規則正しい生活習慣の定着と健康の増進	26	衣食住の望ましい生活習慣の定着
		27	生活習慣病予防対策の実施
		28	学校保健をはじめ、健康教育や性教育などの充実
		29	食育の推進
		30	安心・安全な学校給食の提供と地産地消の推進
10	体力の向上とスポーツの振興	31	運動習慣の確立や体力向上への取り組みの推進
		32	生涯を通じ、誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の確保
		33	指導者の育成と指導力の向上
		34	競技者の育成支援
		35	若年層に対するスポーツ活動の支援
		36	スポーツ施設の整備

基本目標4 多様な個性やニーズに応じた教育の推進

支援が必要な子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行います。そして、特別に支援が必要な子どもたちの多様なニーズに即して、きめ細かい対応をしていきます。

また、本市の小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、指導を充実していきます。さらに、市民一人ひとりが言語や文化、価値観など様々な違いや特性を認め合い、国籍を問わず誰もが暮らしやすいと感じる多文化共生社会の実現に向けた教育を推進するとともに、ダイバーシティ（多様な人材の積極的な活用）を推進していきます。

基本施策

主な事業

11 支援が必要な子どもへの対応の充実	37 特別支援教育の充実
	38 経済的な支援や子どもの貧困対策の充実
	39 心のケアの充実など「チーム学校」の推進
	40 福祉実践教育の充実
12 多文化共生社会に向けた教育の推進	41 外国人児童生徒に対する日本語教育の充実
	42 外国人住民に対する日本語教育の充実
	43 多様な文化や価値観を尊重する教育の推進

基本目標5 地域や社会とつながる教育の推進

すべての市民が教育の担い手となり支え合うために、これまで以上に保護者や地域の方々が学校運営に参画できる機会を増やし、学校が地域や企業、大学などと連携・協働することで、地域とともにある学校づくりを推進します。

また、本市は、長い間培われてきた歴史や伝統文化などに携わる方々などの人的資源や、豊かな自然に恵まれた教育環境を有しています。これらの地域資源を有効に活用した学びの機会を創出し、「ものづくりのまち瀬戸」への郷土愛を育てていきます。

さらに、グローバル化が進み、社会の仕組みが複雑化する中で、子どもが将来の夢や目標を掲げ、社会と関わりをもちながら、これからの社会を生き抜くための学習を推進し、男女ともに生涯を通して社会で活躍できる人材を育成していきます。

基本施策

主な事業

13 瀬戸らしさを生かした特色ある教育の推進	44 キャリア教育や職業体験の推進
	45 せともの文化や伝統を継承していく郷土学習の推進
	46 環境教育の推進
	47 「まるっとせとっ子フェスタ」の充実
	48 未来創造事業の推進

14	地域とともにある学校づくりの推進	49	保護者や地域などの地域力による連携強化
		50	放課後の子どもの居場所づくり「せとっ子モアスクール」の拡充
		51	市民活動との連携強化
		52	地域ぐるみの青少年健全育成の推進
		53	地域企業との連携の推進
		54	大学(大学コンソーシアムせと)などとの連携強化
15	未来を生き抜く子どもの育成	55	グローバル社会に対応した人材の育成
		56	情報リテラシー(情報活用能力)の育成
		57	性差なく活躍できる人材の育成
16	男女共同参画社会の推進	58	安定した家庭生活のためのワーク・ライフ・バランスの実現
		59	学校現場における女性の登用

基本目標6 ライフステージに応じた切れ目のない教育の推進

家庭教育における教育力の向上を図るとともに、保育園や幼稚園などと小中学校・特別支援学校が連携しながら、継続性と連続性のある教育活動を通して、子どもたちが将来を見通し、自立して生きるための基盤となる能力を育みます。また、教育全体として、どのような人材を育成するのか、といった理念を明確にして、教育の担い手である市民全員が責任と役割分担を互いに認識しながら、教育を推進します。

さらに、子どもから高齢者まで、市民の様々なライフステージに応じた多様な学習機会を提供するとともに、市民一人ひとりが互いに学び合い、交流することで、生涯にわたって学び続けるよう、途切れることのない連続性のある教育を推進していきます。

基本施策		主な事業	
17	子育て支援と家庭教育の充実	60	幼児教育の充実、地域や社会全体での子育ての実施
		61	家庭教育力の向上支援
		62	児童虐待の防止
18	関係機関の連携による教育の推進	63	保育園・幼稚園・小学校の連携強化
		64	小中一貫教育の推進や小中一貫校の導入
		65	教育と福祉の連携による切れ目のない支援
19	生涯にわたり、相互に学び合う教育の推進	66	「学びキャンパスせと」の充実
		67	公民館・地域交流センター活動の充実
		68	生涯学習社会を担う指導者やボランティアの育成

基本目標 7 適正で魅力ある教育環境の充実

学校施設は老朽化が進んでおり、計画的な保全に取り組むとともに、財政負担の平準化なども踏まえた学校施設の長寿命化や建て替えを検討します。

また、子どもたちが集団の中で豊かな人間関係を築くとともに、自主性、自立性、社会性を養い、これからの社会を生き抜くことができるたくましい子どもを育てるため、地域の実情やまちづくりの視点を考慮しながら、学校の新設、統合や通学区域の見直しなどにより、学校の適正規模・適正配置を進めます。

さらに、学校と家庭や地域が、子どもを育てる当事者として、目標やビジョンを共有し、相互に連携・協働することで、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めます。

基本施策	主な事業
20 魅力ある学校づくりと適正規模・適正配置の推進	69 適正規模・適正配置の推進
	70 児童生徒が楽しいと感じる魅力ある学校づくり
21 安心で安全な学校づくりの充実	71 学校施設の安心・安全対策や長寿命化対策の実施
	72 通学路を含む交通安全対策やスクールガードの充実
	73 防災教育の充実
	74 防犯など安全教育の充実
22 信頼される学校づくりの推進	75 学校運営に係る積極的な情報発信
	76 学校評議員や学校評価制度の活用
	77 学校マネジメント力の向上
	78 PTAや教育アクションプラン推進会議などによる市民意向の反映

9 第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議

平成18年6月に「瀬戸市教育アクションプラン推進会議（以下、「推進会議」）」を発足し、プランの策定及び進捗状況の把握と各施策の進行管理を行っています。

また、平成28年3月の「第2次瀬戸市教育アクションプラン」の策定に伴い、委員各々が、それぞれの職や役割などにおいて、プランの基本理念や方向性などを周知していくことも、推進会議の目的として位置付けました。

学校・家庭・地域が行政組織とも連携し、子どもたちの“生き抜く力”を育む体制を強化するため、それぞれの立場で専門的な知見を発揮し、市民との対話が一層促進されるよう、次の方々に委員を委嘱しています。

【*名簿については平成29年7月1日現在を掲載しております。】

委嘱委員	氏名	職名
会長	上川 和子	元教育委員長
副会長	吉田 淳	名古屋学院大学 スポーツ健康学部 教授
委員	福岡 明	元校長会会長、元愛知県尾張教育事務所特別支援教育指導員
〃	和佐田 強	学校法人光和学園瀬戸幼稚園 園長
〃	田中 直美	瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 母親代表 副部長
〃	水谷 友里	瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 経験者
〃	一尾 茂正	教育関係者
〃	福田 直美	水南公民館
〃	西原 勇	教育サポートセンター長
〃	船坂 礼子	学校地域コーディネーター
〃	河路 久	効範小学校 校長
〃	福留 正康	原山小学校 教頭
〃	服部 智志	南山中学校 教務主任
〃	加藤 高明	瀬戸市教育委員会 委員
〃	深見 和博	瀬戸市教育委員会 教育長

オブザーバー	氏名	職名
行政	田口 浩一	交流学び課長
〃	服部 文孝	文化課長
〃	藤井 邦彦	地域活動支援室長
〃	山崎 康永	健康福祉部次長兼こども家庭課長
〃	上田 喜久	社会福祉課長
〃	山下 峰司	健康課長

平成28年度は第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議を3回開催しました。

- (1) 第1回(5月26日開催)の主な議題
 - ・第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議の進め方について
- (2) 第2回(7月20日開催)の主な議題
 - ・平成28年度瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書(案)について
- (3) 第3回(3月28日開催)の主な議題
 - ・瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価の方法について

10 瀬戸市教育大綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、平成27年4月から施行されました。本市においても、教育大綱の策定に関する協議等のため、瀬戸市総合教育会議が設置され、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、平成28年から31年度を計画期間とし、次のとおり定めました。

ふるさとに誇りと愛着をもち まちと未来を拓く人づくり

「まちづくりは人づくり」という言葉のとおり、市政において、事業と人材育成は表裏一体のものです。また、教育は、「人を育て、まちを育てる」ものであり、新たな時代や社会、そして、本市が目指す“住みたいまち 新しいせとづくり”の重要な礎となります。

本市には、長い間培われてきた、ものづくりの文化や歴史などの地域資源があり、大都市近郊でありながら、豊かな自然に囲まれた教育環境が整っています。今後は、さらに、市民一人ひとりが主体性をもち、自立しながら教育に向き合うとともに、これらの地域資源を活用した学びの機会を創出し、“ものづくりのまち瀬戸”への郷土愛を育てていくことが大切だと考えています。

一方、生涯学習社会においては、性別や年齢などを問わず、誰もが参加することができる交流や体験の機会を創出していきたいと考えています。その際、現在の社会や人々の暮らしが、どのような歴史や価値観の上に成り立っているのか、私たち自身が今一度、見つめ直し、未来を拓く子どもたちに“生き抜く力”を受け継いでいくことが必要となります。

これまで掲げてきた“教育の基本理念”は、むしろ今の時代、めまぐるしく移り変わる教育環境においてこそ輝きを増し、なお一層、瀬戸市の教育の拠りどころになるものであり、次世代を担う子どもたちのたくましくも健やかな成長をすべての市民のみなさんとともに支えて参ります。

平成28年3月
瀬戸市長 伊藤保徳

(1) 基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」

瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」

瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

(2) 基本的方向性

「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するために、5つの基本的な方向を目指します。

- 創造：社会の変化に対応し、新たな価値を創り出す人づくり
- 自立：個性や能力を伸ばし、未来を切り拓く人づくり
- 協働：人や地域とつながり、ともに支え、高め合う人づくり
- 共生：いのちを大切にし、互いを認め合う人づくり
- 挑戦：夢や希望をもち、困難に負けず行動できる人づくり

(3) 視点

- 一人ひとりの異なる価値観などの個性を認め合う“多様性”の尊重
- 家庭・学校・地域とともに、社会全体で子どもを育む“横”の連携
- 生涯学習社会*に向けて、年齢や成長に応じた切れ目のない“縦”の接続
- 適正な学習環境と魅力ある学校づくりによる“信頼”の構築

*生涯学習社会：生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会のこと。

11 瀬戸市総合教育会議

平成27年9月に「瀬戸市総合教育会議（以下、「教育会議」）」を発足しました。教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化を図ることを目的としており、教育会議の構成員は市長と教育委員会であり、市長が招集し、原則公開の会議となります。なお、協議内容及び調整事項は、次のとおりとなります。

- ①教育行政の大綱の策定
- ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- ③児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

平成28年度は同教育会議を3回開催し、以下の通り意見交換がなされました。

- (1) 第1回(平成28年9月2日開催)の主な議題
 - ・瀬戸市における小中一貫教育について
 - (まちづくりと小中一貫教育について、小中一貫校に盛り込むべき学習項目)
- (2) 第2回(平成28年10月11日開催)の主な議題
 - ・体罰根絶に向けた取り組みについて
- (3) 第3回(平成29年2月22日開催)の主な議題
 - ・第6次瀬戸市総合計画について
 - ・小中一貫教育及び小中一貫校の推進について

II 学 校 教 育

1 瀬戸の学校教育でめざすもの

(1) 基本方針

「第2次瀬戸市教育アクションプラン」の具現化に向けて、学校が地域と連携しながら主体的・創造的に特色を生かした教育を進めることで、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、自分の住む町や社会の活性化と発展をめざす人づくりを目標とする。

学校教育関係では、すべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」、すべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」と実感できる教育の実現を基本理念とする。各学校が目標実現のために、児童生徒の個性を尊重し、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める中で、新たな瀬戸の教育の創造と展開を図る。

(2) めざす将来の人間像<成長した大人の姿>を踏まえた「めざす児童生徒像・教職員像」

① めざす児童生徒像 (_____ は「めざす将来の人間像」との関連を示す)

◇豊かな人間性と自ら学ぶ力のある子◇

- いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。
共生 自立
- 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力を養う。
創造、自立、挑戦
- 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。
自立 協働、共生

② めざす教師像

- 教育愛と情熱をもって、使命を全うする教師
- 常に研修に努め、教育への見識を高め、社会的視野を広げるなど研鑽に努める教師
- 一人一人の個性を生かし、思いやりの心をもった教師
- さまざまな方面との連携を進んで図り、各々の立場や責任を理解し合い、協調し合う教師
- 社会の変化に積極的に対応する教師
- 専門性を発揮する教師

(3) めざす将来の人間が備えるべき力「自ら考え、学び、生き抜く力」

「自ら考え、学び、生き抜く力」は、「生きる力」と「生き抜く力」からなり、「自立」「創造」「協働」「共生」「挑戦」の5つの方向性を目指す。

「生き抜く力」の内容

- 夢や希望をもち、その実現に向けて限りない努力をすること
- 失敗や挫折があっても簡単にくじけたり逃げたりしない心の強さをもつこと
- まわりの人への思いやりをもち、互いに支え合うことができること

学習指導要領に示された「生きる力」の内容

- 知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

2 具体的な取り組み

(1) 方針

児童生徒の「自ら考え、学び、生き抜く力」を育むことを目指し、地域とともにある学校づくりを推進していくために、学習指導要領、地域・学校の実態、児童生徒の心身の発達段階と特性、そして、今日的な教育課題等を考慮しながら、地域・学校の特色や教師の創意工夫を生かした教育課程を編成する。

(2) 確かな学力の定着と向上

① 「確かな学力」の内容

- 学ぶための力 … 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 学ぶ力 … 課題発見・解決能力、思考力・判断力・表現力等
- 学ぼうとする力 … 関心・意欲・態度

② 充実した授業づくり

- 充実した言語活動が行われる授業
- 体験的な学習や課題解決学習等、自主的・自発的な学習が展開される授業（アクティブ・ラーニング）
- 学ぶことの楽しさや達成することの喜びを味わわせ、互いに学び合い学習意欲の向上を促す授業
- 学習内容を確実に身につけさせる授業
- 指導過程や成果についての評価、及び指導の改善が継続的に行われる授業
- 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を重視した授業
- 個に応じた指導の充実した授業（少人数指導授業、ティーム・ティーチング）
- 効果的にICT機器を活用した授業
- 読書活動の推進

③ 学力向上のための現状分析・今後の方策の検討

- 「瀬戸の学び創造委員会」による分析、提言
- 各学校における分析や今後の方向性の検討
- 各中学校区における分析結果や今後の取り組み内容の共有化

④ 学習指導と評価の工夫・改善

- 児童生徒のよさや変容を積極的にとらえ、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばそうとする評価観をもって学習指導にのぞむ。
- 指導の過程や成果を評価し、評価したことを指導の改善に生かす。
- 評価方法を工夫・改善する。
 - ・目標に準拠した評価規準を設定し、事前に指導の手だてを構想しておく。
 - ・客観的な評価のため、チェックリスト・行動観察記録・写真等、様々な資料を活用する。
 - ・児童生徒の相互評価・自己評価の場面・方法を工夫するとともに自己評価能力を高める。

(3) いのちを大切にす教育の推進

- 道徳教育を中心に、あらゆる教育活動を通して
 - 自他のいのちの大切さを考える機会の設定、自己肯定感・自己有用感の育成

○ 人権教育を通して

→ 差別・偏見なく、互いの違いを認め合う態度や思いやる心の育成

(4) いじめ・不登校の克服

児童生徒が夢や希望を持ち、困難に直面したり挫折を味わったりしながらも友人、仲間、家族、周りの大人からの協力を得ながらくじけず負けずに前に進む「たくましく生きぬく力」を育む。この力を伸ばすことにより自己肯定感が高まるとともに、他者への思いやり・尊敬の念が高まりいじめ・不登校の未然防止につながる。

また、児童生徒を育てるには、学校教育だけでなく、家庭教育、地域の教育それぞれが役割を担い責任を持つことが大切であるという認識を高め、「協働」していく必要がある。今後連携をより一層深め、この「協働」を実践していく。

①平成29年度の取り組み

ア テーマ

「いじめ・不登校0を目指して～学校が大好き！自分が大好き！友だちが大好き！～『一人ひとりの存在感がある学級づくり』」

このテーマは自己肯定感・自己有用感・学級所属感がいじめ・不登校を克服することにとって大切であるという考えに立っている。

担任という立場に立った時、「自分のクラスではいじめをなくす。不登校をなくす」という強い意思を持つことが大切であり、瀬戸市のすべての教員がこうした意思を持つことに意味がある。その結果児童生徒一人ひとりを大切にする意識が高まり、一人ひとりに愛情が注がれ自尊感情が高まると考える。

イ 具体的取り組み

○ いじめ・不登校対策推進協議会(年4回開催)

推進協議会委員14名 いじめ・不登校対策の基本方針決定等

○ いじめ・不登校対策連絡会(年3回開催)

各校いじめ・不登校対策委員参加 中学校ブロック懇談等

○ 学級アセスメント(Q-U)実施(小学4年生～中学3年生・年1回)

不登校傾向児童生徒の早期発見、要支援児童生徒の把握等

○ 中学校ブロック別いじめ対策懇談会

夏期休業・冬季休業中に開催 小中の情報交換

○ いじめ・不登校対策研修会の実施

Q-U研修会・SSWr担当者研修会・カウンセリング研修会

○ SC・SSWr連絡会議

○ 心理相談事業(年間60回開催)

○ SSWr(スクールソーシャルワーカー)活用事業

平成28年度より、スクールソーシャルワーカー(SSWr)を導入している。

平成29年度は3名のSSWrが週2日勤務し、それぞれ2あるいは3中学校ブロックを担当。いじめ・不登校問題を中心に相談・支援・ケース会議等を行っている。学校現場からは「新たな視点でいじめ・不登校対策に取り組むができています」「時間的・多忙感解消だけでなく、精神的・多忙感解消につながって

る」等の声が聴かれ、SSWが浸透するとともに有効活用されていることがうかがわれる。

【平成29年1学期の実績】

	件数	問題解決	支援中(好転)	支援中	その他
不登校	39	0	8	31	0
いじめ、暴力行為、非行等の問題行動	7	2	4	1	0
友人等との関係の問題	14	1	6	7	0
虐待	2	2	0	0	0
貧困の問題	3	0	0	3	0
家庭環境の問題	16	0	4	12	0
心身の健康・保健に関する問題	17	4	12	1	0
発達障害等に関する問題	18	1	5	12	0
その他	2	0	0	1	1

<課題>

件数の数だけではその問題の深刻さを知ることはできない。長期にわたり支援が続く案件が多く、1人のSSWrが2～3中学校ブロックを担当している現状では圧倒的に時間が足りない。国も今後各校にSSWrを配置する施策を進めようとしているが、それを待っていては優秀な人材が確保できなくなる等の問題も出てくる可能性がある。したがって市独自でSSWrを拡充し(例えば市の正規職員としてのSSWrを採用する等)最低1中学校ブロックにつき1人のSSWrを配置できればより有効に活用できることは明白である。

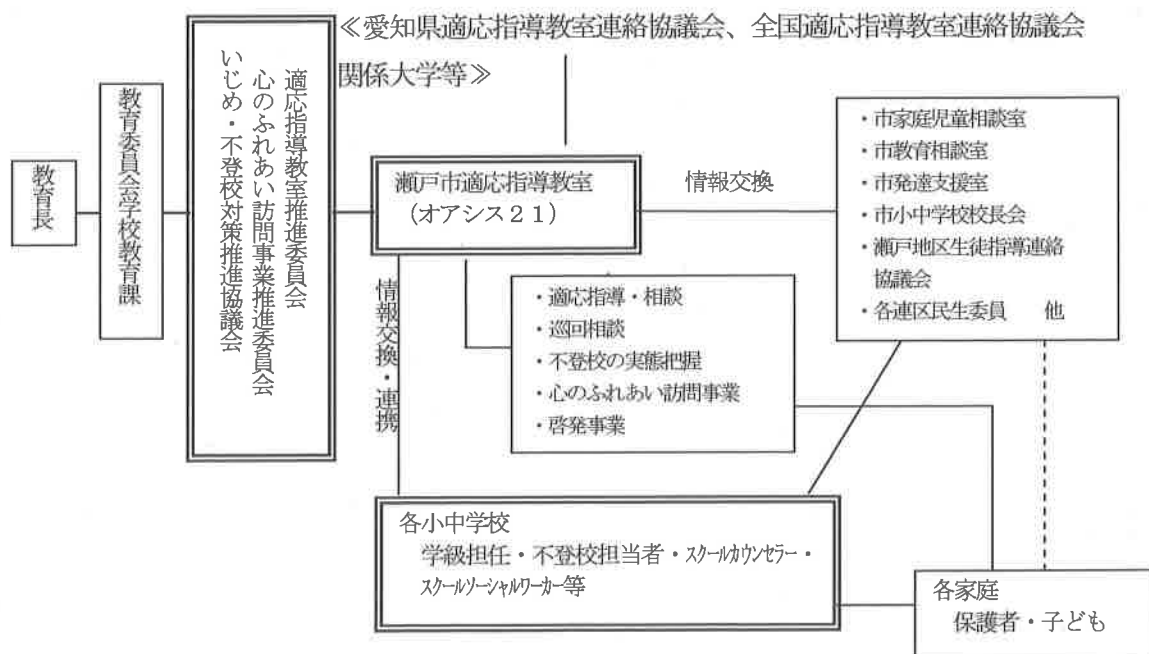
② 適応指導教室(通称「オアシス21」)

ア 適応指導教室事業方針

・「不登校」児童生徒への対応は、教育問題としてだけでなく、人生の方向性を見出させるうえでも依然大きな社会問題である。集団生活になじめない、心病んでいる不登校の児童生徒を対象に、特別に配慮した指導を行うことによって、当該児童生徒の自立を促し、学校生活及び社会生活への復帰を支援する。

・適応指導教室運営を中心にしつつ、不登校に関する諸活動を展開することによって、不登校に関する支援センターとしての機能を充実させる。

イ 組織



ウ 適応指導教室の事業内容

- 通級適応指導・相談
 - ・ 通級適応指導 … 適応指導教室での通級適応指導
オアシスメイトによる不登校児童生徒とのふれあい活動
 - ・ 適応相談 … 不登校に関する常時相談（所長対応：電話相談・来所相談）
- 相談事業
 - ・ オアシス相談 … オアシス21での面接相談 年45日
 - ・ 学校巡回相談 … 15小学校へ出向いての面接相談 年15日
 - ・ 保護者懇談会 … 不登校児童生徒の保護者懇談会としての相談会 年3回
 - ・ 適応相談 … 不登校に関する常時相談（電話相談・来所相談）
- 調査・研究
 - ・ 市教育委員会へ報告された長欠児童生徒の資料整理、巡回による実態調査
- 啓発事業
 - ・ 教職員啓発 … 適応指導教室の参観・不登校担当者会等による啓発
 - ・ 保護者啓発 … 通信「オアシス21」の発行、懇談会による啓発等

エ 通級適応指導教室の具体的運営

○ 目的

不登校の児童生徒を対象にして、相談・指導を行うことにより、学校生活および社会生活への復帰を支援する。

運営方針 ・「学校復帰」を第1目標として支援する
・「毎日」「定時」を目標とさせ、通所時刻は、本人と話し合って決める
・単に学校復帰でなく、今後の生き方・考え方の「自立支援」をする
・フリースクールではない

指導方針 ・自ら行動を起こさせる働きかけを大切にする
・支持を避け、質問を待つ
・焦らず、意思決定を待つ

○ 設置場所

平成7年10月、瀬戸市体育館2階に仮施設として開設した。平成8年度末移転を完了し、平成9年4月より瀬戸市福祉健康センター（やすらぎ会館）2階に設置。

○ 通級対象者

様々な理由により、「学校に行けない」「行けていない」状態にある市内小中学校の児童生徒で、本人・保護者が通級を希望し、学校から申請のあった者。

○ 通級指導担当者

瀬戸市適応指導教室指導員、ボランティア活動のオアシスメイト

○ 開設日時

毎日。月曜日から金曜日まで。瀬戸市内小中学校の学期・登校日に準じる。

- ・ 通級適応指導 … 午前9時00分 ～ 午後3時00分
- ・ 不登校相談 … 午前9時00分 ～ 午後5時00分
- 適応指導教室への通級・入級について
 - ・ 通級・入級についての主体的な指導は、学校・担任で行う。
 - ・ 保護者・本人での見学・体験通級を経て、仮入級・正式入級とする。
 - ・ 通級時間・通級日等については、本人の意思を確認しながら決定していく。
 - ・ 正式入級にあたっては、保護者が学校と十分話し合い、校長が所定の申請書を提出する。
- その他
 - ・ 適応指導教室での指導中、あるいは通級途上の事故については、独立法人日本スポーツ振興センターを適用する。
 - ・ 通級した日は、校長の判断で、学校での出席扱いとする。

オ 平成28年度活動報告

○ 適応指導教室の日課

- ・ 通年の基本日課（夏休み中と3月末は別日課）

午前中は「個別学習」、午後は「体験活動」を通年の基本形としている。午前中は個別学習の時間《チャレンジタイム》として、通級生個々の能力・学力に応じた学習活動を支援している。午後の体験活動は《オアシスタイム》と呼んで、仲間と一緒に活動することを通して、分担・協力を学ばせる場としている。

「学校登校」「学校復帰」に向けて、体験活動の重視は極めて有効であった。

	9:00	12:00	13:00	15:00
月曜 ～ 金曜	《チャレンジタイム》 個別活動（教科の学習活動） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語 （その他の教科の選択可能）	昼食 （弁当） 自由時間	《オアシスタイム》 集団活動（ふれあい活動） ・テニス ・バドミントン ・読書 ・室内ゲーム ・手芸 ・お菓子づくり ・畑作業 ・栽培活動 など	

- ・ 8月の日課

	9:00	12:00
月曜 ～ 金曜	《オアシスサマー21》 個別活動（個人進度による） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語	

- ※ 夏休み中は、《オアシスサマー21》として、学力補充を目的に、午前中を中心に23日間実施した。
- ※ 参加は個人の自由意思とした。
- ※ 基本的には、現在の通級生を対象とするが、希望があればこの期間のみの通級生も受け付けている。
- ※ 夏季休業中にオアシスキャンプを実施することもある。

・ 3月の日課

	9:00	12:00	13:00	15:00
月曜 ～ 金曜	《チャレンジタイム》 個別活動（教科の学習活動） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語 （個人的には社会・理科も可）		昼食 （弁当） 自由時間	《チャレンジタイム》 午前中の個別学習の延長 * 4月からの学校復帰をめざす通級生の学習と生活リズムを支援する活動。

カ 適応指導教室の活動内容

【通級・在籍の状況】

28年度のおアシス登録・通級者は34名で、内訳は右表のようである。おアシスでの登録・通級人数は4月から1日でも通級実績のある児童生徒をカウントしている。したがってこの人数の中には、数日おアシスに来て「学校に戻った子」「おアシスにも来られなくなり家に引きこもってしまった子」も含まれている。

また、保護者や学校の入級手続きを簡易にし、学校とおアシスの壁をできる限り低くするように努めた。28年度は中1と中3が多く、中2が極端に少なかった。また例年に比べると小学生の人数が多かった。

〔28年度登録・通級人数〕

学年	男子	女子	計
中3	5	8	13
中2		1	1
中1	5	7	12
小6	2	0	2
小5	2	2	4
小4	0	1	1
小3	0	0	0
小2	0	0	0
小1	0	1	1
計	14	20	34

【入級の実態と入級指導】

おアシス入級については本人が「このまま家にはいけない」「なんとかしなければ」という気持ちにならなければ通えないようである。

不登校になるとあまり登校刺激を与えず、ゆっくりさせるようにと一般的に言われることがある。確かに愛着障害があるような子はその時期にゆっくり甘えさせることが必要であると思う。しかし、家にいることがあまりにも快適になり過ぎるとただ長期化するだけでそれに甘んじてしまっている子もいる。親や教師の願いをどこかの時点で本人にしっかり伝え、強制ではなく本人自ら動きだせるような働きかけが必要であると考えます。

〔28年度おアシス見学者〕

学年	男子	女子	うち通級者
中3	6	5	10
中2		2	1
中1	6	9	12
小6	2	0	2
小5	3	2	4
小4			
小3	1		0
小2			
小1		1	1

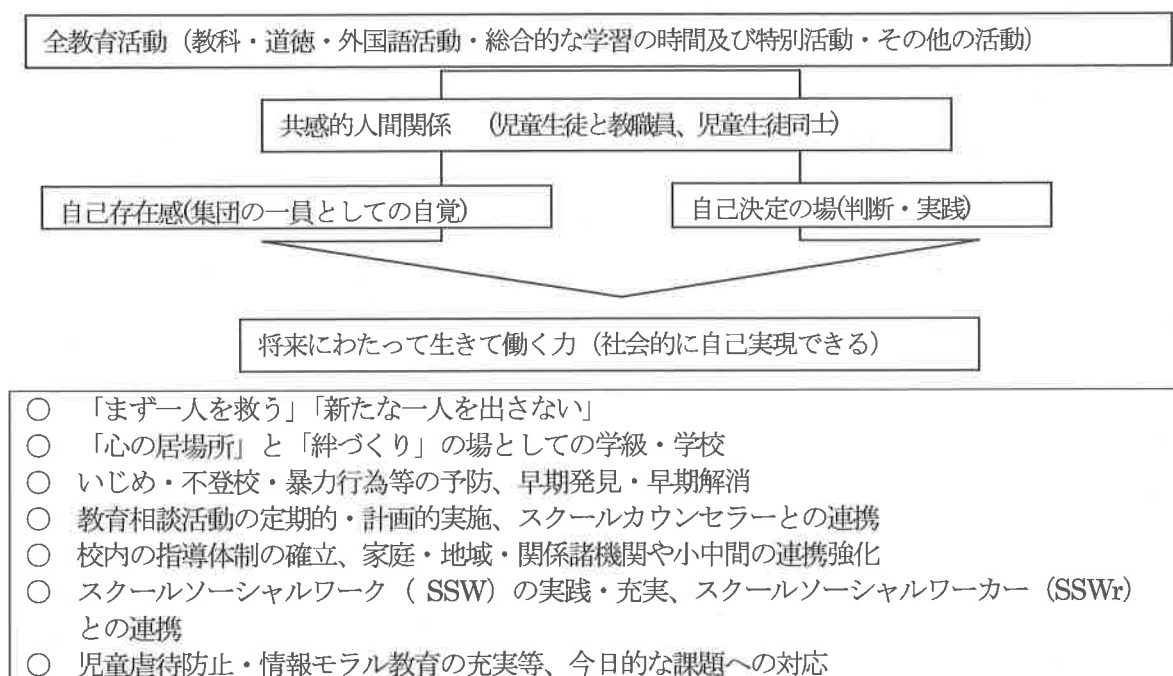
【適応指導の状況】

おアシスにきちんと通えているからと言ってすぐに学校復帰できるものではない。28年度は毎日おアシスにきちんと通えていたが、学校に戻ろうとしない子もいた。ただ、自分で定期テストや行事など決めたことについてはしっかり学校に行っていたため、通常は登校を促すことはしないようにしていた。おアシスの目的は通常登校できるようにすることであるが、本人の意思を無視してあせって戻しても、また症状がひどくなりおアシスに戻ってきたり、ひきこもったりすることが多いため、無駄なストレスをかけず、約束はきちんと守らせるような指導をしてきた。本人の将来的な自立ということを考えれば、その方が大切であると判断した。

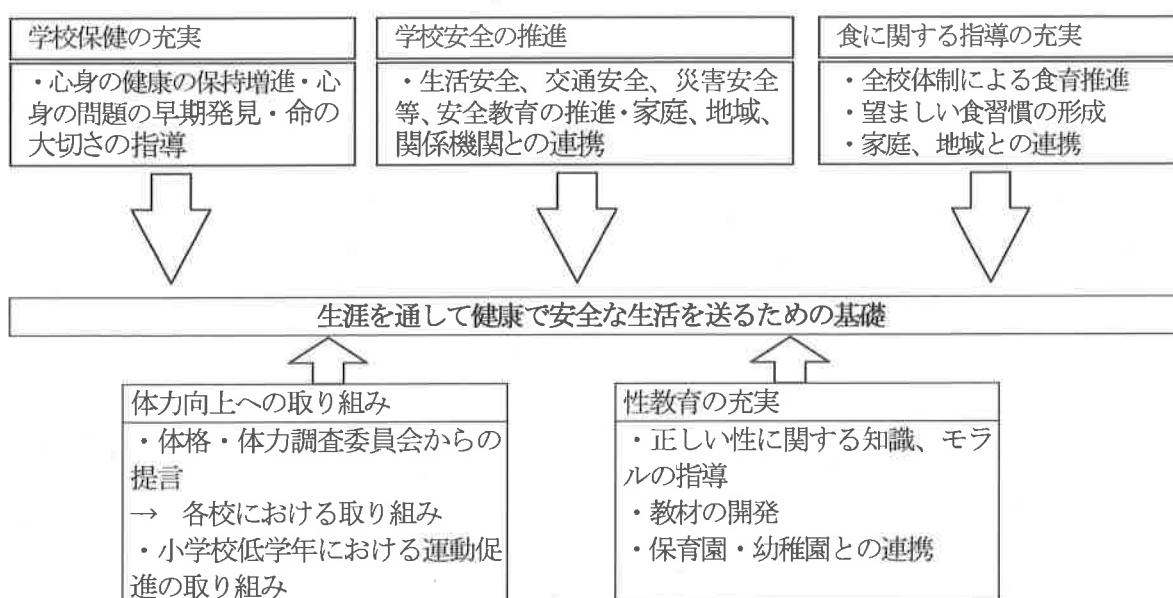
【適応指導教室の成果】

オアシスに見学に来た当初は覇気がなく、無表情であった子が、オアシスに少しずつ通えるようになってくると、日に日に表情が変わっていき、次第に笑顔も多くみられるようになる。こんな児童生徒たちを見ていると、手前味噌になるが、適応指導教室(オアシス21)は本当に必要なものだとつくづく感じさせられる。また、その中の数名は学校へ戻り、普通に学校生活をしているという報告を受けると指導員冥利に尽きる。

(5) 生徒指導の推進



(6) 健やかな体の育成



○瀬戸の食育

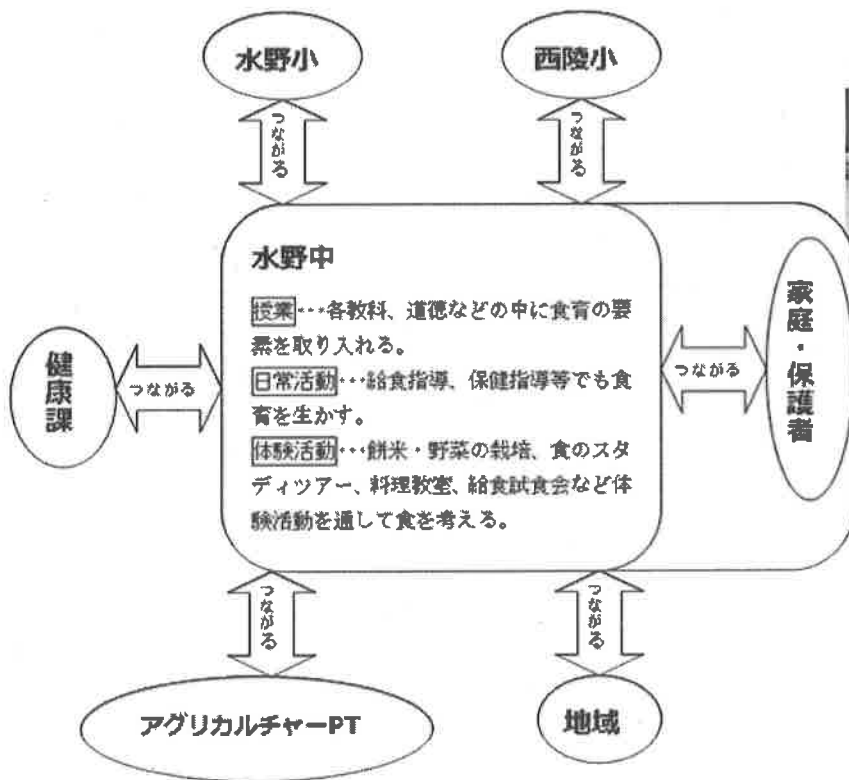
子どもたちが、望ましい食生活を自ら工夫し、
豊かで健康な生活を築いていく基礎を培う

平成29年度の主な取り組み

取り組みの重点

平成29年度文部科学省委託事業「つながる食育推進事業」に瀬戸市立水野中学校が受託しました。栄養教諭が中心となり、学校が核としてアグリカルチャープロジェクトチームや健康課などの関係機関や地域の生産者の方々とも連携しながら、学校においてより実践的な食育を行うとともに、その活動に保護者も参画していただき、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを研究しています。

また、水野地区の小学校（水野小学校、西陵小学校）とも連携して、9年間を見通した食育を推進するために学校をあげて取り組み始めています。



担任と栄養教諭がT Tで食育を行う様子



【瀬戸市小・中・特別支援学校全体として】

- 中学校での食育指導案、指導資料の作成
小学校の食育への取り組みや指導案の活用状況を元に、中学校でも指導案や指導資料を作成し食育を切れ間無く継続させる。
- 中学校での栄養教諭・学校栄養職員との連携検討
小学校だけではなく、中学校でも栄養教諭・学校栄養職員とのさらなる連携をすすめるための方策を検討する。
- 食物アレルギーについての対応や予防策について検討

食物アレルギーの対応や対策について研修の場や検討する場を設け、瀬戸市での対応のあり方について検討を行う。

○運動促進

平成25・26年度に、市内5つの保育園で取り組んできた体力向上のための活動を、平成27年度からは、小学校低学年に広げていくこととした。名古屋学院大学キャンパスにおいて、全小学校から参加児童を募り、3日間にわたり取り組みを実施した。今年度はそれに加え、下品野小学校における体育の授業での取り組みを進める。ここでの取り組みをモデルとして、今後は、市内のすべての小学校においても、この取り組みを実施できるようにしていく。

また、「瀬戸の運動促進連携会議」を開催し、保育園と小学校で切れ目のない一貫した指導をすることができるよう、実態の把握や啓発活動に取り組んでいく。この取り組みにより、体力向上を図るという直接的なねらいのみならず、子どもたちの生活習慣を改善する、子どもたちの何事にも前向きに取り組もうとする姿勢や意欲、挑戦する心、自信を高める、そして仲間と協力する姿勢を育むといったことにも効果を期待することができる。このことは、これまでの保育園での取り組みで確認できている。

今後、こうしたさまざまな面における保育園と小学校との連携を考えていく。この会議は、その核として位置づける。



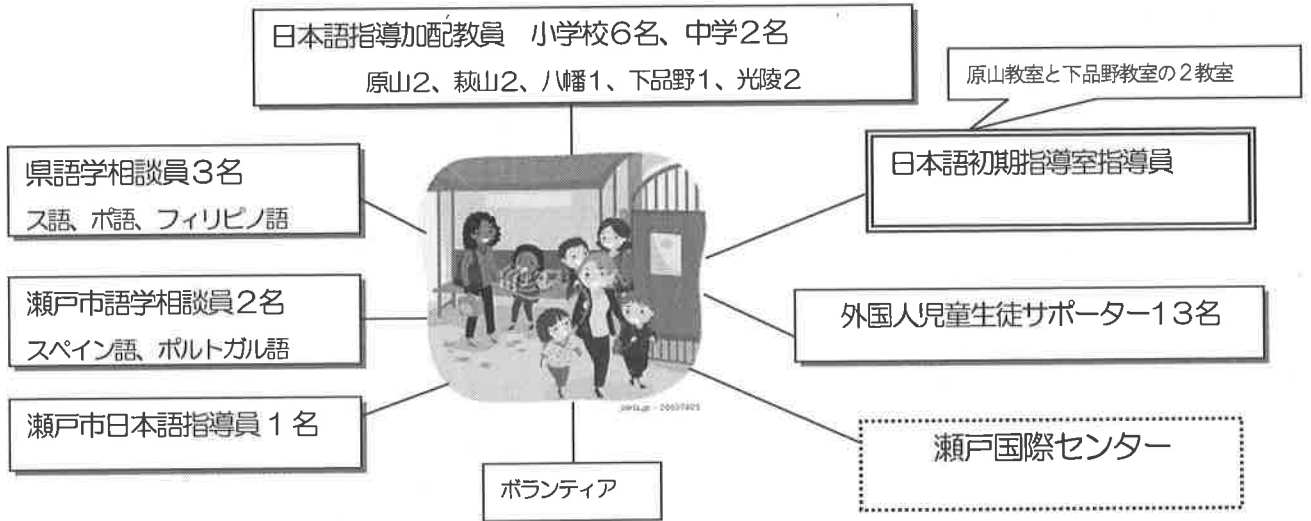
(7) 外国人児童生徒に対する日本語教育の充実

- 日本語初期指導教室における日本語指導・適応指導
- 外国人児童生徒サポーターによる学校生活の支援
- 悩みを抱える外国人児童生徒に対する心のケア

	小学校	中学校
外国籍の児童生徒数	124名(9校)	27名(3校)
日本国籍の児童生徒数	2名	4名
合計	126名	31名

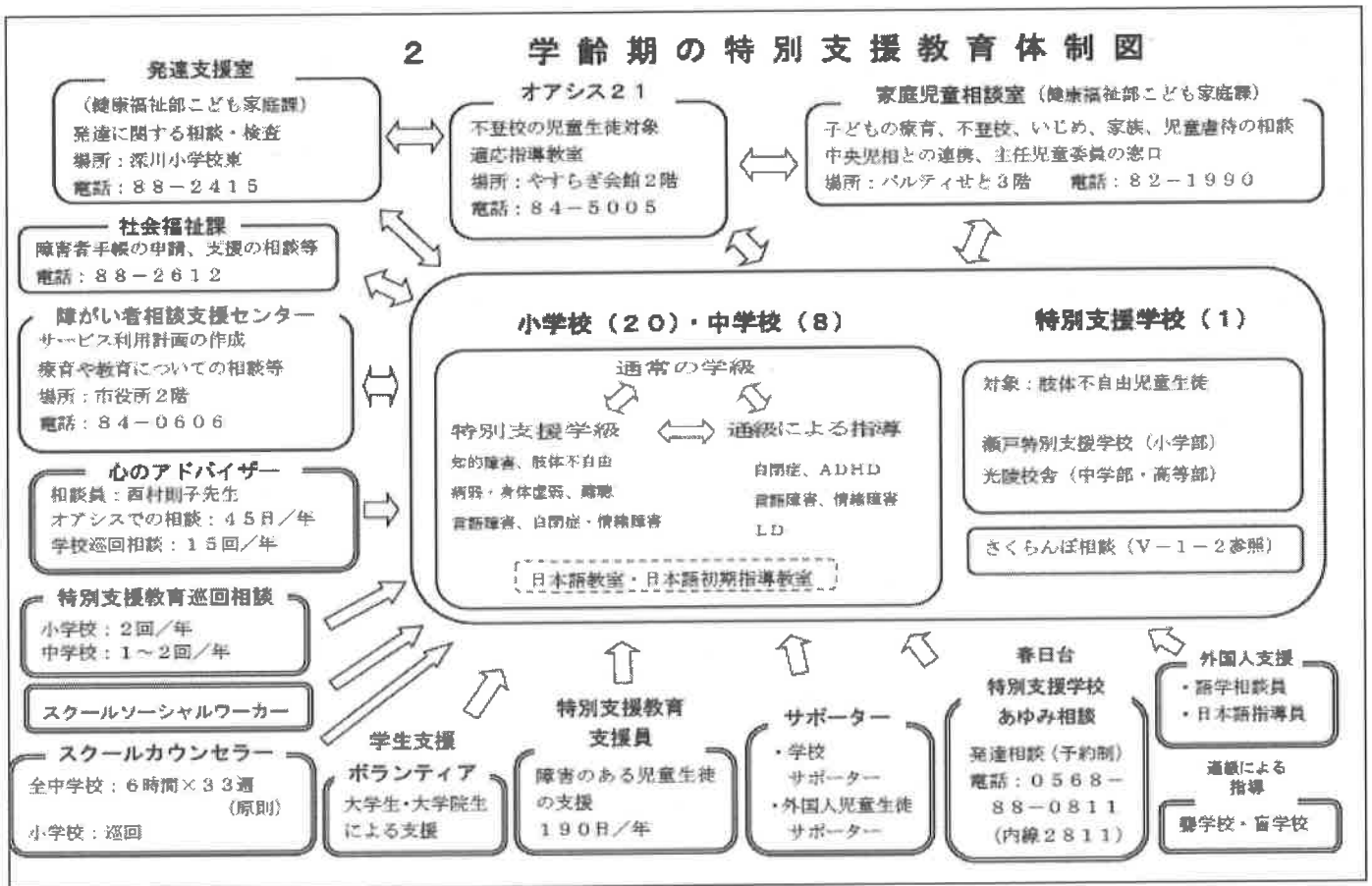
日本語指導が必要な児童生徒数

日本語指導の支援体制



(8) 特別支援教育の充実

① 瀬戸市の特別支援教育体制図 (平成29年度)



②瀬戸特別支援学校（愛称：さくらんぼ学園）

平成22年4月1日	瀬戸市立瀬戸養護学校開校
平成26年4月1日	瀬戸市立瀬戸特別支援学校に名称変更 瀬戸市立瀬戸特別支援学校光陵校舎開校

開校以来、校訓の「支え合い、活動的に、今を生きる」のもと、保護者・地域・職員が一丸となって教育を進めている。萩山小学校との併設という利点を生かし、開校当初より萩山小学校との交流活動を盛んに行ってきた。各学年交流や児童会交流、学校行事としての「まるっとせとっ子フェスタせとっ子音楽会」における合同発表の他、休み時間の自然な交流など、ノーマライゼーションの理念の実現に向けた取り組みが行われている。

瀬戸市以外にも、尾張旭市と長久手市から児童生徒を受け入れており、教育支援部が中心となってさくらんぼ相談（教育相談）による地域支援にも力を入れている。

③特別支援学級

平成29年度特別支援学級設置状況（平成29年5月1日現在）

障害種別	小学校		中学校	
	学級数	児童数（人）	学級数	生徒数（人）
知的障害学級	17	43	8	30
肢体不自由学級	5	5	1	1
病弱・身体虚弱学級	2	2	0	0
難聴学級（聴覚障害）	1	2	0	0
言語障害学級	0	0	1	1
自閉症・情緒障害学級	18	51	7	23

上記の他に、公立陶生病院内の院内学級は、病弱・身体虚弱学級として、対象児童が当該病院に入院した場合に効範小学校に設置される。

市内全小中学校の特別支援学級が交流する「あすなろ交流会」は、10月13日（金）に瀬戸市体育館で行う。この他にも、中学校区を中心として学校間で交流活動を行っており、様々な活動を通して自立に向けての支援を行っている。

④通級による指導

平成29年度通級指導教室設置状況（平成29年5月1日現在）

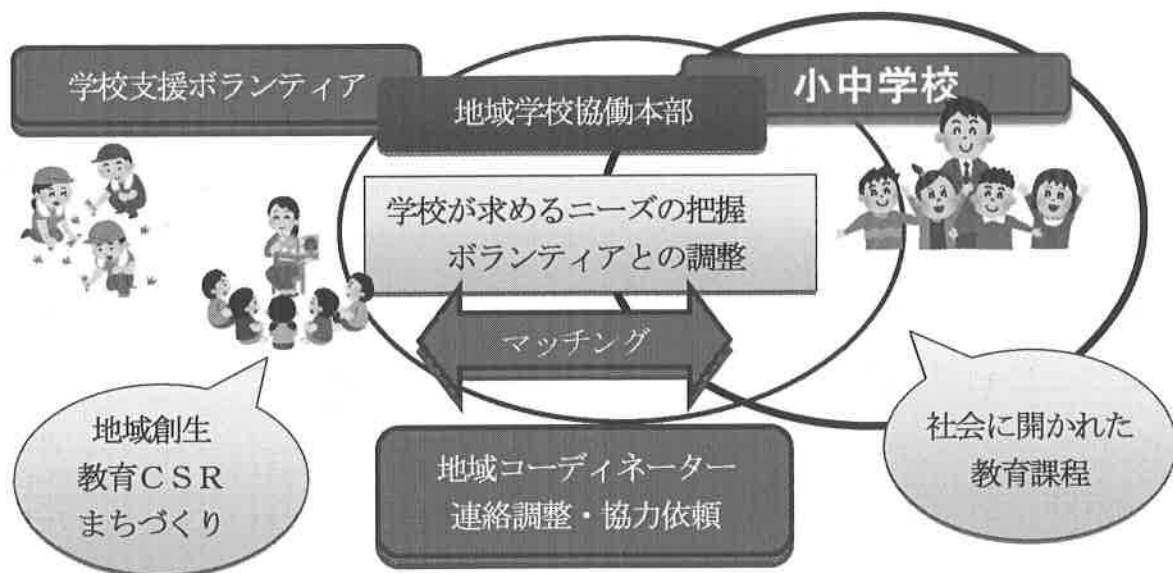
学校名	学級名	障害種別	
陶原小	通級指導教室	LD	設置校
東山小	通級指導教室／コスモス学級	LD	巡回校
西陵小	通級指導教室／コスモス学級	ADHD	設置校
幡山西小	通級指導教室／大空組	ADHD	巡回校
水南小	通級指導教室／	LD	設置校
長根小	通級指導教室／ひかり学級	LD	巡回校
効範小	通級指導教室	LD	設置校
幡山東小	通級指導教室	LD	巡回校
萩山小	通級指導教室	言語障害	設置校
光陵中	通級指導教室	情緒障害	設置校
幡山中	通級指導教室	ADHD	設置校
祖東中	通級指導教室	ADHD	巡回校

⑤ 特別支援教育支援員及び学校サポーター

通常の学級・特別支援学級に在籍する、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、市全体として特別支援教育支援員を16名、学校サポーターを約60名配置している。さらに一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えるため、特別支援教育支援員及び学校サポーターの充実を図る必要がある。

(9) 「地域とともにある学校」づくり

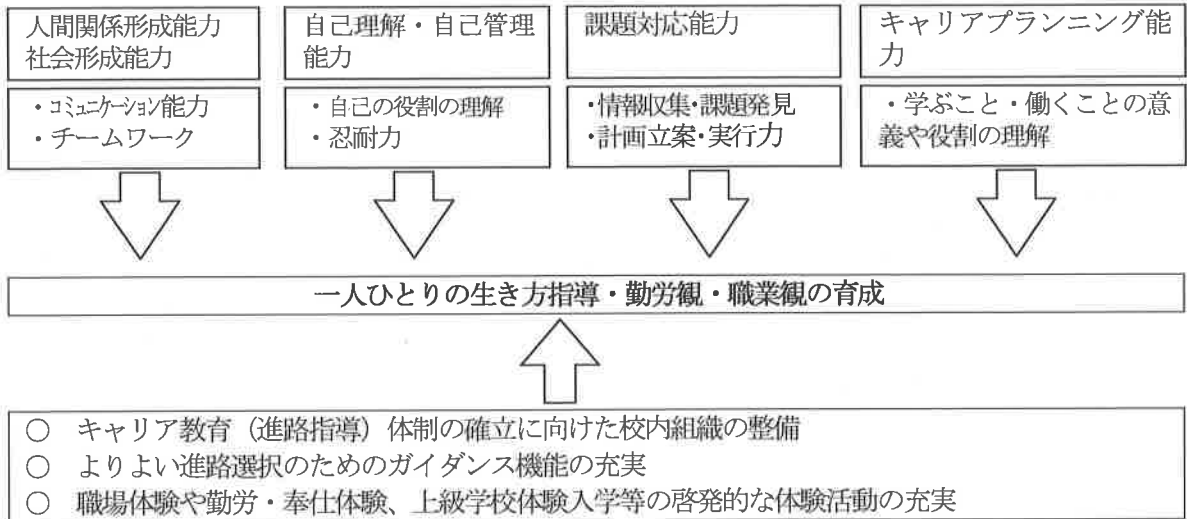
- 地域(含家庭)と学校が連携・協働して、子どもたちの対してどのような資質を育むのかという目標を共有しながら、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく。
→「地域の子どもは地域で育てる」という意識が高まる。
- 地域の教育力の再生・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。
- 従来の「支援」から「連携・協働」を目指す新体制として「地域学校協働本部」を立ち上げる。



【29年度の取り組み】・・・「地域学校協働本部」設立に向けて

- 地域学校協働ボランティア研修会の開催
 - 第1回（導入編） … パネルディスカッション「地域における学校との連携・協働活動の意義と役割」
グループワークショップ「本日のキーワード」
 - 第2回（ホップ編） … 「地域学校協働ボランティアの基本知識」
グループワークショップ「わたしができることは・・・」
 - 第3回（ステップ編） … 「瀬戸教育市民フォーラム」出会い・協働・学び合い
 - 第4回（ジャンプ編） … 「地域学校協働ボランティアの基本知識」
グループワークショップ「よりよい地域学校協働とは・・・」

(10) キャリア教育（進路指導）の充実



(11) 子どもの創造性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む力の育成【未来創造事業】

各学校が子どもの実態や地域の特色を生かし、創意工夫して主体的・創造的な教育活動を展開し、子どもたち一人ひとりの未来を切り拓く「自ら考え、学び、生き抜く力」を育む。〈環境教育 国際理解教育 キャリア教育 食育 福祉教育 自然体験 地域学習等〉

○ 環境学習

「メダカが泳ぐ川を取り戻したい」という、校区を流れる紺屋田川を題材にした環境教育に取り組み、水質調査や水の浄化作戦などに取り組む。各学年毎に調査を進め、4・5・6年生で「川の清掃」の活動を行った。



○ 国際理解教育

オーストラリア、ニュージーランドの学校と友好提携し、相互訪問活動を通し、国際交流活動を行っている。訪問を受け入れた場合は、全校生徒がふれあえるよう工夫をし、訪問した場合には、帰国後、文化祭等で報告会を行い、全校生徒が共有できるようにしている。



オーストラリア ロウビル・セカンダリー・カレッジの生徒への日本文化の等の

ニュージーランドワイコワイ中学校との交流



○ 福祉教育

障害のある方の立場になって考えることができるように、3年生では「アイマスク体験」や「点字体験」、4年生では「手話体験」、5年生では「車いす体験」を行った。「車いす体験」では、交通事故により障害を持った方の話を聞き、実際に車いすに乗って段差を越えたり方向を変えたりする体験することで、その苦労を身をもって知ることができた。障害のある方への見方が変わった子どもたちも多く見られ、思いやりの気持ちをはぐくむよい機会となった。



○ 合同活動

～地域との連携「ふれあい」・「うるおい」・「交流」小中特別支援合同ユートピアプラン～

3小学校と中学校、特別支援学校の子どもたちが合同の地域美化活動を行った。全体で300名を超える児童・生徒が参加し、班ごとに分かれ、地域のゴミ拾いをした。また、市の環境課の指導の下、ゴミの分別にも取り組んだ。中学1年生の生徒たちは、リーダーとしての自覚を持ち、意欲的に取り組むことができた。また、この活動には、市の環境課をはじめ、少年センターや地域の方々も多数参加してくださり、5校の共同作業として、大きな成果を上げることができた。



(12) 保護者・地域への発信、市民・関係団体との連携【まるっとせとっ子フェスタ】

① ねらい

瀬戸市在住・在学の子どもたちが、日頃の学習の成果を発表する場として、毎年11月に「まるっとせとっ子フェスタ」を開催している。このフェスタは、子どもたち同士、また、子どもたちと市民の方が交流し、つながりと信頼を深める場でもある。

子どもたちが元気いっぱい活動する様子をご覧いただき、瀬戸の学校、瀬戸の教育について、ご理解を深めていただきたいとの思いで、企画・運営している。

② 内容

ア セとっ子音楽会

瀬戸市内にある学校が、日頃練習してきた歌や合奏の成果を発表し、保護者や地域の皆様に聴いていただくもの。元気いっぱいの小学生の歌声・レベルの高い中学生の合唱・気持ちをひとつにした部活動の演奏など、聴き応え十分。



イ 中学生 英語スピーチコンテスト

瀬戸市内の中学校の代表生徒が、英語スピーチに磨きをかけ、舞台発表を行う。瀬戸西高校による発表やALTによる異文化発表なども行っている。



ウ 学校活動ブース

子どもたちが作ったり、仕入れたりした品物を、大きな声でアピールして販売する。お値打ち品や、ユニークな商品をじっくり見ながら、楽しく買い物をしていただき、瀬戸市のキャリア教育の一端をご覧ください。



エ 各種展示会

瀬戸市の子どもたちが、授業で制作した作品や、夏休みに挑戦した課題を展示する。子どもたちの豊かな発想力や、見事な作品は、多くの方々から賞賛の声をいただいている。



【展示内容】

せとっ子書写展、瀬戸子ども図工・美術展、せとっ子科学展、特別支援教育展、技術・家庭科展、ポスター展

オ わくわくせとっ子ワールド

「まるっとせとっ子フェスタ」に来場した方々を、体験ブースでおもてなしする。様々な団体にご協力いただいたり、瀬戸市内の先生方にもアイデアを出していただいたりしながら、いろいろなジャンルのブースを楽しんでいただく。

カ 教育市民フォーラム

教育市民フォーラムは、保護者を含む市民が、瀬戸市の教育に主体的に関わっている姿を実現するための場として位置付けられており、毎年、より多くの市民に教育に対する興味を持ってもらえるよう企画、開催している。

○ フォーラムの概要

第1部：「キミチャレ2017」活動映像上映&発表会

「キミチャレ」とは、子どもたちがチャレンジテーマを設定し、テーマ実現に向け試行錯誤しながら努力し、その過程で経験した「自信」や「挫折」を自らの糧として成長してもらうことを目的とした事業。具体的には、応募者の中から選ばれた小中学生が、夏休期間を利用してチャレンジ活動をし、フォーラムにおいて、その活動結果を映像も交えながら報告、発表するもの。



第2部：「魅力ある学校づくり」シンポジウム

テーマに沿ってパネリストを迎え現在の瀬戸市における小中学校の規模の問題や、今後の小中学校のあり方などについてお話いただき、今後の瀬戸の教育について考える機会とすることを目的に行うもの。

(13) ライフステージに応じた切れ目のない教育の推進

- 関係機関の連携による教育の推進
 - ・ 保育園における保育、幼稚園教育および小学校教育を互いの職員が知る機会を創出する
 - ・ 中学校ブロックごとの活動を増やす
 - ・ 子ども同士が触れ合う機会、職員同士が学び合う機会を増やす
 - ・ 幼保、小、中の情報交換・情報共有を積極的に進める
 - ・ 特色ある学校づくりを推進する（小中一貫校導入の検討）

(14) 適正で魅力ある教育環境の充実

- 魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の充実
 - ・ 児童生徒が適切な教育環境で学校生活を送ることができるよう、教職員が主体的に考え、学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、魅力ある学校づくりを推進する。
- 安心で安全な学校づくりの充実
 - ・ 児童生徒が自他のいのちを大切にし、自ら考えて行動することができるようにするための実践的な防災教育を実施する。
- 信頼される学校づくりの推進
 - ・ 学校公開日を設けたり、学校通信やホームページなどにより広く情報発信をしたりして、開かれた学校づくりを進める
 - ・ 家庭・地域・他機関と連携・協力し、「チーム学校」としての学校マネジメント力を高める。

3 教職員の研修

(1) 方針

- 教育に携わる者として、自らの専門性確立のために、謙虚な態度でたゆまなく研修に努める。教職員も、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成する。
- 校内現職教育の充実に努め、学校教育目標の達成をめざして、研修等の活動を推進する。
- 文部科学省・愛知県教育委員会・愛日地方教育事務協議会・市教育委員会並びに各種教育研究団体の研修機会を活用する。

(2) 教職経験に応じた研修等と「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成

経 験	「教員として必要な資質能力」	年 数	主な研修	「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成
1年	学級指導・生徒指導・学級経営 学校における職務一般等について の職務遂行能力	1年目	初任者研修 ○県・尾張・市の研修計画に基づいて実施する。	
		2年目	2年目研修 ○教育研究の進め方について研修 ○夏季研修（教育実践レポート中間報告） ○教育実践レポート提出（A4 4ページ）	
		3年目	少経験者研修（3・4年目研修） ○夏季研修 <生徒指導・道徳・特別活動等> ○教育論文執筆は任意とする。	
5年	学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に關しての力量	4年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
		5年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
		6年目	5年経験者研修 ○5年研修における校内研修の充実に図る。 ○校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	
10年	学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に關しての力量	7年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
		8年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
20年	学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に關しての力量	9年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
		10年目	10年経験者研修 ○10年研修における校内研修の充実に図る。 ○校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	
30年	若手教員への指導助言 職務に関する専門的知識・技能 幅広い教養 調整力・運営力等	12年目以降	○教育論文執筆は任意とするが、常に自己の教育課題を有し、追求する ○各職務・担当に応じた研修 ○教員免許更新講習 ○校内研修・校内研究 ○その他の研修 ・自主研修、その他	

教員としての力量向上を図り、その専門性を確立していくためには、教職経験を重ねたり、様々な研修に参加したりする中で、その経験や職責、学校において担うべき役割に応じた資質能力を身につけていく必要がある。あわせて、自己の教育課題を見出すとともに、その解決に向けてたゆまなく研究・研修に努めていかねばならない。こうした過程は、教職員自らの「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成する取り組みである。児童生徒・保護者・地域から信頼される教員であるために、常に自己研鑽に努めていかねばならない。

① 初任者研修

新規採用教員に対して、教員としての自覚を高め、実践的な指導力を養うとともに、幅広い見識を会得させ、教員として必要な資質の向上と研修意欲の喚起を図る。指導教員を中心として学校全体であらゆる機会を通じて取り組み、研修の充実を図る。

② 2年目研修

採用2年目の教員に対して、初任者研修等を通して身につけた教員としての資質・実践的指導力の更なる向上を図る。また、教育課題の見出し方・教育研究の進め方について研修し、自らの教育課題に基づいた実践を課題レポートにまとめ、提出する。

③ 少経験者研修（3・4年目研修）

3・4年目の教職経験者を対象に、「道徳」「特別活動」「生徒指導」に関する研修を3年一巡で実施する。
〔平成29年度「生徒指導」・平成30年度「道徳」・平成31年度「特別活動」〕

④ 教職経験者研修

ア 5年経験者研修

- ・ 校内研修の充実を図る。
- ・ 総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・ 平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修課題を教育論文にまとめ提出する。

イ 10年経験者研修

- ・ 総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・ 社会体験研修と異校種体験研修については、併せて3日間の研修を選択し受講する。
- ・ 校内研修・特定課題研究等、校内研修計画の充実を図る。
- ・ 平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修や課題を教育論文にまとめ提出する。

⑤ 教育研究論文

全教職員を対象に、個人及び共同での教育実践を踏まえた教育研究論文を募集する。

⑥ 指定研修員

研究心旺盛かつ指導力に優れた者で、今日的教育課題を研究課題としている教員を対象として募集する。候補者の推薦は、本人の願書に校長推薦書を添えて、市教委へ提出する。願書等は規定の用紙を学校へ年度当初までに送付する。市教委は、応募者の中から過去の研究実績・研究課題・研究状況等を考慮し、10名程度決定する。

⑦ スクールセミナー

学校の教育活動の充実のために、各校が取り組んでいる「未来創造事業」の推進や教員の授業力・指導力向上に向けて、指導主事、教科指導員を派遣する。

⑧ 精神衛生推進事業

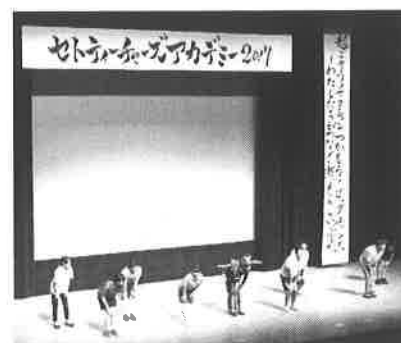
各学校に在籍するいじめ・不登校など様々な問題を抱える児童生徒や発達障害のある児童生徒の理解や指導方法、エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどの技法等について研修するために、豊かな見識と経験をもつ講師を各学校の要請に従って派遣する。

⑨ セト・ティーチャーズ・アカデミー

第2次瀬戸市教育アクションプランの具現化にむけて、教職員の資質の向上を図るとともに、瀬戸の教育を創造していく機会とする。子どもたち一人ひとりの学びや成長を、確かに支えていく教育活動を推進していくための研修を深める。全教職員を対象とし、午前に全体会、午後に分科会を開催する。

<平成29年度の取り組み>

今年度は3年一巡で開催される教育研究発表の年であり、午前中は、幡山西小学校柴田大祐教諭による「互いに認め合い、優しい心を育む道徳教育の実践」、古瀬戸小学校による「川の調査隊活動について」、そして、東山小学校による健康教育「ひとみ輝く 東山っ子の育成」の三つの研究発表を聞いた。どの研究も子ども達の成長を見て取ることができ、これまでの実践の積み重ねや保護者・地域等の連携の成果があらわれていた。



午前の部 教育研究発表会

また、午前の最後に、「小中一貫校開校に向けて」と題し、モデル地区7小中学校の合同授業、合同行事、そして合同会議の取り組みや小中一貫教育校の先行事例などを紹介、今後、瀬戸の教職員が一丸となって新しい瀬戸の教育に取り組んでいく決意を再確認する場とした。

午後は、瀬戸市の各研究会による自主的・創造的な講座や外部講師の協力を得て、13講座を開設した。その講座に対して個々の先生が興味や課題に応じて講座を選択し、意識の高揚や力量向上を図る機会となった。

<午後の部 分科会の様子>



授業力向上講座 模擬授業



跳び箱指導のコツ



クセ字が美文字になる上達法



合唱指揮法講座



防災教育



口腔ケア



理科実験講座



統計教育講座

⑩ 各種研修会

教職員の力量向上のため、各種研修会を実施する。

- | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> 学校経営研修会 | <input type="radio"/> 指導力向上研修会 | <input type="radio"/> 発達支援研修会 |
| <input type="radio"/> いじめ対策研修会 | <input type="radio"/> カウンセリング研修会 等 | |

(3) 各組織による研究推進・研修会開催

① 研究推進校の委嘱

	事業名	委嘱先	年度
国・県	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	光陵中学校	29
国・県	つながる食育推進事業	水野中学校	29

② 研究の委託

- 社会科副読本「せと」・「瀬戸」編集委員会

社会科副読本「せと」・「瀬戸」の改訂に向け、資料の収集と編纂等を行う。

- 教育情報化推進委員会

学校教育の情報化推進に向け、ICTを活用した授業、および校務用コンピュータの活用についての研究を進める。

- 性教育推進委員会

性教育の推進を図る。指導用資料「明日へのあゆみ」の改訂を行う。

- 特別支援教育推進委員会

特別な支援を必要とする児童生徒の実態把握・支援のあり方、効果的な校内支援体制作りについての研究を進める。

- 食育推進委員会

食育を推進していくためのカリキュラムづくりや指導方法などの研究を進める。

③ 各職務・担当者等研修会

- | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|
| ○ 校長研修会 | ○ 教頭研修会 | ○ 教務主任研修会 |
| ○ 校務主任研修会 | ○ 保健主事研修会 | ○ 養護教諭研修会 |
| ○ 学校事務職員研修会 | ○ 学校経営研修会 | ○ 特別支援教育担当者研修会 |
| ○ 特別支援教育コーディネーター研修会 | ○ 栄養教諭・学校栄養職員研修会 | |
| ○ 学校用務員夏季共同作業研修 | ○ 学校用務員緑化研修（不定期開催） | |

④ 各種委員会・連絡協議会

- 現職教育委員会

現職教育全般に関する企画・運営

- 学校教育組織検討委員会

瀬戸市全体の学校教育の組織体制・運営方法の見直し

- 教育支援委員会

適正就学に向けての検討や教育相談の実施

- 瀬戸の学び創造委員会

「確かな学力」の向上に向けての検討・提言

- 瀬戸地区生徒指導連絡協議会

小中高校の生徒指導担当者による各校等の情報交換及び協議

- 瀬戸市交通安全指導連絡協議会

小中高校の交通安全担当者による各校等の情報交換及び協議

- いじめ・不登校対策推進協議会

いじめ・不登校問題の実態把握、予防・改善策について協議、いじめ・不登校対策研修会の実施

- 瀬戸市特別支援教育地域連携会議

特別支援教育に関わる関係諸機関の代表者による情報交換及び、協議、ケース会議の開催

4 学校の状況

(1) 学年別児童生徒数

(平成29年5月1日現在)

No.	学校名	児 童 ・ 生 徒 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女	計	学級数	
小 学 校	1	陶 原	114	107	105	113	99	100	325	313	638 (12)	24 (4)
	2	深 川	5	6	10	6	11	12	28	22	50 (1)	7 (1)
	3	祖母懐	12	24	22	17	18	28	60	61	121 (6)	9 (3)
	4	道 泉	38	43	29	35	24	43	103	109	212 (1)	10 (1)
	5	效 範	100	77	94	93	101	82	292	255	547 (6)	21 (3)
	6	東 明	17	21	23	17	9	13	59	41	100 (1)	7 (1)
	7	古瀬戸	17	14	19	10	14	15	40	49	89 (3)	8 (2)
	8	水 野	90	69	67	86	58	68	215	223	438 (6)	17 (3)
	9	水 南	84	90	93	103	97	74	271	270	541 (6)	19 (2)
	10	幡山東	70	87	78	75	74	74	236	222	458 (4)	17 (3)
	11	幡山西	79	74	94	107	97	94	283	262	545 (14)	21 (3)
	12	下品野	68	76	59	90	74	88	239	216	455 (5)	17 (2)
	13	品野台	21	12	14	13	15	9	37	47	84 (1)	7 (1)
	14	掛 川	7	5	5	7	7	7	23	15	38 (1)	5 (1)
	15	長 根	93	85	77	94	71	78	250	248	498 (4)	18 (3)
	16	原 山	29	38	40	41	40	54	132	110	242 (6)	10 (2)
	17	東 山	101	99	129	145	144	152	382	388	770 (7)	24 (2)
	18	萩 山	10	16	17	22	21	22	52	56	108 (1)	7 (1)
	19	八 幡	41	32	36	46	48	47	123	127	250 (7)	12 (2)
	20	西 陵	124	132	138	126	117	123	419	341	760 (11)	26 (3)
計			1,120	1,107	1,149	1,246	1,139	1,183	3,569	3,375	6,944 (103)	286 (43)
中 学 校	1	水無瀬	217	209	218				310	334	644 (20)	24 (5)
	2	祖 東	55	44	71				95	75	170 (2)	7 (1)
	3	南 山	354	329	309				511	481	992 (12)	30 (3)
	4	本 山	15	47	30				48	44	92 (1)	5 (1)
	5	幡 山	182	181	177				264	276	540 (10)	18 (2)
	6	品 野	84	76	75				130	105	235 (4)	10 (3)
	7	光 陵	80	93	100				139	134	273	9
	8	水 野	145	165	163				222	251	473 (5)	17 (2)
	計			1,132	1,144	1,143				1,719	1,700	3,419 (54)
支 瀬 援 戸 学 校 特 別	小学部		4	5	6	5	7	10	22	15	37	13
	中学部		9	5	2				8	8	16	6
	高等部		4	4	2				5	5	10	4
	計								35	28	63	23

() 特別支援学級分再掲

資料：学校基本調査

(2) 児童生徒数等の推移

① 小学校

(各年5月1日現在)

年 度		2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
学校数		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
学級数		269 (23)	272 (24)	275 (28)	279 (30)	28 (32)	276 (31)	278 (30)	277 (32)	278 (38)	286 (43)
教員数	男	171	170	176	182	189	183	179	184	177	184
	女	255	250	266	270	281	282	300	309	306	310
	計	426	420	442	452	470	465	479	493	483	494
児童数	男	3,986	3,895	3,846	3,736	3,689	3,633	3,615	3,590	3,581	3,569
	女	3,558	3,584	3,606	3,632	3,548	3,527	3,542	3,498	3,421	3,375
	計	7,544 (71)	7,479 (68)	7,452 (68)	7,368 (80)	7,237 (86)	7,160 (80)	7,157 (83)	7,088 (86)	7,002 (83)	6,944 (103)

② 中学校

年 度		2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
学校数		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
学級数		111 (9)	119 (11)	113 (10)	117 (10)	114 (8)	113 (10)	114 (11)	113 (12)	119 (18)	120 (17)
教員数	男	153	157	147	148	143	152	156	152	155	157
	女	105	112	105	102	103	100	102	104	103	115
	計	258	269	252	250	246	252	258	256	258	272
生徒数	男	1,893	1,954	1,914	1,961	1,918	1,903	1,884	1,815	1,789	1,719
	女	1,715	1,698	1,652	1,636	1,677	1,652	1,686	1,652	1,703	1,700
	計	3,613 (35)	3,652 (45)	3,566 (46)	3,597 (42)	3,595 (32)	3,555 (41)	3,570 (50)	3,467 (55)	3,492 (62)	3,419 (54)

③ 特別支援学校

年 度		2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
学級数		—	—	12	15	17	21	13	24	24	23
教員数	男	—	—	17	17	18	17	19	24	19	22
	女	—	—	17	17	23	35	38	36	42	38
	計	—	—	34	34	41	52	57	60	61	60
生徒数	男	—	—	17	22	30	35	37	38	34	35
	女	—	—	10	14	16	19	21	25	27	28
	計	—	—	27	36	46	54	58	63	61	63

※ () 特別支援学級分再掲、教員は兼務者を含む

資料：学校基本調査

(3) 教育事務委託児童生徒数

(平成 28 年度実績)

	春日井市	多治見市	合 計
小 学 校	1	0	1
中 学 校	12	1	13

(4) 学校別教職員数

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

No.	学校名	県費負担職員					市費負担職員			校 長 名
		教員数			事務	栄養職員	用務員	調理員	栄養職員	
		男	女	計						
小 学 校	1 陶 原	14	25	39	1		2			野田 美裕
	2 深 川	4	8	12	0		1		1	浅井 光雄
	3 祖母懐	5	11	16	1		1	2		片田 晃司
	4 道 泉	7	11	18	1			2		臼井 一夫
	5 效 範	14	18	32	1		1		1	河路 久
	6 東 明	5	8	13	1		1	1		大高 和人
	7 古瀬戸	5	10	15	1		1	1		右高 恭子
	8 水 野	8	21	29	1		1	5		石田 正人
	9 水 南	15	21	36	1					刑部 哲也
	10 幡山東	10	20	30	1		1			加藤 中哉
	11 幡山西	13	26	39	1		2			早川 元彦
	12 下品野	11	19	30	1		1			浅井 大司
	13 品野台	4	7	11	1		1		1	石河 光章
	14 掛 川	6	3	9	1		1			堀田 仁
	15 長 根	10	18	28	1		1		1	此下 明雄
	16 原 山	9	12	21	1		1		1	長江 章彦
	17 東 山	13	24	37	1		2			前田 孝子
	18 萩 山	7	10	17	1		1	2		石原 邦彦
	19 八 幡	7	15	22	2		1		1	加藤 寛司
	20 西 陵	17	23	40	1		2			山田 滋生
	計	184	310	494	20	0	22		6	
中 学 校	1 水無瀬	24	23	47	2		1			高木 雅浩
	2 祖 東	13	10	23	1		1			水野 富士夫
	3 南 山	33	28	61	2		2			谷口 亨
	4 本 山	12	5	17	1		1			勝田 拓真
	5 幡 山	23	15	38	2		2			中崎 毅
	6 品 野	14	11	25	1		1			八楨 直幸
	7 光 陵	15	12	27	1		1			臼井 和人
	8 水 野	23	11	34	1		1			加藤 正彦
		計	157	112	272	11	0	9	0	0
	特別支援	22	38	60	4	0	2	3	1	落合 智子

※教員数は兼務者を含む ※用務員・調理員は臨時職員を含む

資料：学校基本調査

(5) 中学校卒業後の卒業後の状況

		26		27		28	
			割合(%)		割合(%)		割合(%)
卒業生総数		1,249	—	1,125	—	1,221	—
全 日 制	国 立	3	0.2	0		3	0.3
	公 立	834	66.8	762	67.7	815	66.8
	私 立	274	21.9	242	21.5	284	23.3
高等専門学校		9	0.7	11	1.0	7	0.6
定時制		23	1.8	16	1.4	23	1.9
通信制		66	5.3	51	4.5	53	4.3
各種 専修 学校	高等専修	1	0.1	5	0.4	1	0.1
	各種	0	0	0	0	0	0
	職業訓練校	0	0	0	0	0	0
特別支援学校高等部		14	1.1	18	1.6	19	1.6
就職(除・定時制)		8	0.6	6	0.5	4	0.3
その他		17	1.4	14	1.2	12	1.0

※特別支援学級卒業生を含む公立中学および特別支援学校のみ

資料：学校基本調査他

○ 高等学校進学率

卒業年度	24	25	26	27	28
卒業生総数	1,163	1,200	1,249	1,125	1,221
進学者	1,136	1,168	1,224	1,105	1,205
進学率(%)	97.7	97.3	98.0	98.2	98.6

※進学者数には、高等学校卒業資格の取得ができる各種専修学校への進学者数も含む

○ 全日制課程高等学校地区別進学状況

公私立別	公立高校				私立高校			
	27		28		27		28	
地区別	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区
進学者	371	391	412	403	39	203	27	257
進学率(%)	33.0	34.8	33.7	33.0	3.5	18.0	3.2	21.0

※瀬戸市内中学校卒業生(公立中学校のみ)の地区別進学状況を示したもの

5 学校施設一覧

平成29年5月1日現在

学校名			学級数	保有教室数											
				普通	理科	音楽	図工／美術	コンピュータ	生活／技術	家庭	視聴覚	図書	特別活動	教育相談	進路資料指導
小 学 校	1	陶原	23	23	1	1	1	1		1		2	3	1	
	2	深川	7	7	1	1	1	1		2		1	1	1	
	3	祖母懐	9	9	1	1	1	1	1	2		1	4		
	4	道泉	10	10	1	1	1	1	1	1		2	3	1	
	5	效範	21	21	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	
	6	東明	7	7	1	1	1	1		1		1	1		
	7	古瀬戸	8	8	1	1	1	1		1		1	1	1	
	8	水野	17	17	1	1	1	1		1		1	2		
	9	水南	19	19	1	1	1	1	1	1		1	7		
	10	幡山東	17	17	1	1	1	1		1		1	2	1	
	11	幡山西	21	21	1	1	1	1	1	1		1	5		
	12	下品野	17	17	1	1	1	1		2		2	4	1	
	13	品野台	7	7	1	1	1	兼1		1		1	1		
	14	掛川	5	5	1	1	1	兼1		1		1	2		
	15	長根	18	18	1	1	1	1		1		1	1		
	16	原山	10	10	1	1	1	1	2	1		1	14	1	
	17	東山	24	24	1	1	1	1		1		1	4	1	
	18	菽山	7	7	1	1	1	1		1		1	4	1	
	19	八幡	12	12	1	1	1	1		1		2	9	1	
	20	西陵	26	26	1	1	1	兼1		1		1	4		
計			285	285	20	20	20	17	7	23	1	24	76	11	
中 学 校	1	水無瀬	24	24	2	2	2	1	2	2		1	2	2	1
	2	祖東	7	7	1	1	1	1	2	2		2	3	1	1
	3	南山	30	30	3	2	2	1	2	2		1	4	1	
	4	本山	5	5	1	1	1	1	2	2	1	2	5	1	3
	5	幡山	19	19	2	2	2	1	2	2	1	1	6	4	1
	6	品野	10	10	1	1	1	1	2	2	1	1	5	3	1
	7	光陵	9	9	2	2	1	1	2	2		1	12	1	3
	8	水野	17	17	2	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1
	計			121	121	14	12	11	8	16	16	4	10	39	14
瀬戸特別支援学校			23	23										1	

(単位：㎡)

学校名	プール面積	柔剣道場面積	校舎保有面積	体育館保有面積	校地面積						
					建物敷地	運動場	その他	借用	計		
小 学 校	1	陶原	425		4,848	1,097	11,970	24,949	21,571		58,490
	2	深川	297		3,185	733	4,520	7,700	1,982		14,202
	3	祖母懐	310		3,298	581	7,000	12,000	9,156		28,156
	4	道泉	435		3,838	684	4,250	13,499	2,638		20,387
	5	效範	310		4,989	674	6,292	7,895	1,685		15,872
	6	東明	335		2,785	666	5,400	8,400	9,234		23,034
	7	古瀬戸	310		2,985	671	6,326	9,728	10,726		26,780
	8	水野	310		3,634	681	3,480	837	1,200	17,589	23,106
	9	水南	340		4,499	673	13,116	5,040	7,000		25,156
	10	幡山東	375		3,575	656	4,540	11,300	5,960		21,800
	11	幡山西	365		4,666	656	6,956	9,756	1,677		18,389
	12	下品野	335		4,137	669	3,500	11,816	1,922		17,238
	13	品野台	313		4,673	702	14,512	6,767	6,806		28,085
	14	掛川	214		1,693	594	3,277	5,709	16,745		25,731
	15	長根	310		3,765	841	7,353	8,895	3,577		19,825
	16	原山	310		5,503	656	9,500	12,000	2,017		23,517
	17	東山	310		5,240	656	11,000	9,500	2,200		22,700
	18	萩山	310		3,050	656	6,553	6,507	4,951		18,011
	19	八幡	310		5,062	661	7,250	12,320	5,110		24,680
	20	西陵	310		4,810	656	9,907	15,550	3,076		28,533
	計	6,534		80,235	13,863	146,702	200,168	119,233	17,589	483,692	
中 学 校	1	水無瀬	275	391	6,385	1,200	14,731	12,594	22,899		50,224
	2	祖東	275	376	4,497	1,267	7,350	13,900	15,206		36,456
	3	南山	275	376	7,165	1,333	17,125	17,065	2,210		36,400
	4	本山		397	4,111	1,211				39,599	39,599
	5	幡山	425	358	6,206	1,208	10,142	11,154	3,931	2,400	27,627
	6	品野	275	421	5,120	1,333	10,937	10,663	37,857		59,457
	7	光陵	275	644	6,317	1,310	17,226	7,532	8,939		33,697
	8	水野	275	373	4,940	1,217	11,470	18,239	8,560		38,269
		計	2,075	3,336	44,741	10,079	88,981	91,147	99,602	41,999	321,729
瀬戸特別支援学校				3,442		5,548	3,497	3,458		12,503	

資料：公立学校施設実態調査

6 小中学校の適正規模・適正配置

(1) 計画の背景について

瀬戸市立の小中学校における児童生徒数は、昭和50年代後半にピークを迎え、その後は減少傾向が続いており、そのため、1学年1学級の単学級校の出現や、各学校間に生じたアンバランスなど、学校運営上の諸問題が発生し、児童生徒の教育環境に影響を及ぼしています。

このような状況の中で、平成11年2月庁内に「瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会」を設置して検討を始めましたが、各界の方々の幅広い意見を伺い、一層論議を深めるべきであるとの考えから、平成13年1月に教育委員会の諮問機関として「瀬戸市立小学校適正配置等協議会」を設置しました。

同協議会では、現行の学校教育に係る諸制度を前提に、将来展望も配慮しながら、子どもたちにとって望ましい学校像を求めて、約1年半12回にわたる審議の結果、小学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方や具体的な方策、実施に際しての配慮事項等について取りまとめを行い、平成14年7月に以下の答申がされました。

瀬戸市立小学校適正規模適正配置答申《概要》

瀬戸市では、近年少子化傾向が顕著に現れており、学校の小規模校化が目立っている。一方、南部、西部地区では宅地開発や新たなまちづくりが進み、児童の増加とそれに伴う学級数の増加により、学校の大規模校化が進んでいる。

瀬戸市立小学校適正配置等協議会では、この相反する動きを是正し、瀬戸の子どもたちのより良い教育環境の整備、充実した学校教育の実現に向けて、公平な立場で全小学校を対象に検討し、次のとおり取りまとめた。

適正規模適正配置を考えるにあたっての基本原則

1 学習・教育目標実現への配慮

- (1) 多様な人間関係形成の保障
- (2) 集団的学習活動の保障
- (3) 多様な意見や考え方に触れ、自ら考え、自ら解決する「生きる力」育成への配慮

2 物理的学習・教育環境条件の維持

- (1) 学習活動を維持するに足る特別教室等の確保
- (2) 地域生涯学習拠点としての条件整備
- (3) 通学圏（通学時間等）への配慮

3 家庭・地域社会・学校の連携推進

- (1) 家庭・地域に根ざした学習・教育活動の推進
- (2) 学習・教育活動を支援できる有為な地域人材の導入とそのための環境整備

4 円滑な学校運営の実現

- (1) 適切な教員数の確保による学習・教育活動の保障
- (2) 適正な規模による学校運営の円滑化

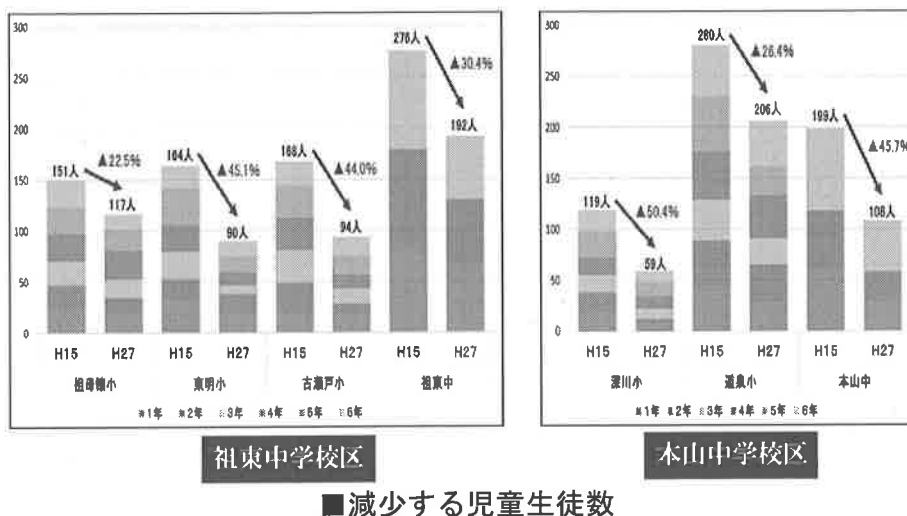
具体的方策を検討するための基準

- 1 1学年の適正な規模は、2学級から3学級とする。
- 2 適正な通学距離は、概ね2Km以内とする。

その後、平成15年3月に「瀬戸市小学校適正配置計画」を策定するとともに、規模の格差是正を主な目的として、教育理念や小学校の統合による学習環境のあるべき姿について、地元説明会などを開催したものの、地域コミュニティへの配慮が充分でなかったことなどから、地元合意が得られず、具体的な進展をみないまま10年以上が経過しました。

この間、「瀬戸市小学校適正配置計画」で統合を目標に掲げた、祖東中学校区の祖東中学校、祖母懐小学校、東明小学校、古瀬戸小学校と、本山中学校区の本山中学校、深川小学校、道泉小学校では、計画策定時よりもさらに児童生徒数の減少が進み、小学校で6年間一度もクラス替えが出来ない状況や、中学校で部活動が成立しないといった、“子どもたちの教育にとって望ましくない環境”が深刻化していることへの対策は、本市において喫緊の課題となっています。

そこで、平成28年度から実施している第2次瀬戸市教育アクションプランにおいて、子どもたちが「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するため、多様な考え方に触れ、一定の集団の中で切磋琢磨することなど目的とし、「魅力ある学校づくりと適正規模・適正配置の推進」とともに、9年間一貫した系統的な教育課程を編成・実施することによる「小中一貫教育の推進や小中一貫校の導入」を主な事業の一つとして取り組んでいくことになりました。その後の主な取り組み状況等について、平成27年度から振り返ります。



■平成29年5月1日時点 児童生徒数

中学校名称	生徒数(人)	小学校名称	児童数(人)	小学校名称	児童数(人)	小学校名称	児童数(人)	小中合計(人)	1000人未満
水無瀬中学校	644	陶原小学校	638	長根小学校	498			1780	
祖東中学校	170	古瀬戸小学校	89	祖母懐小学校	121	東明小学校	100	480	○
南山中学校	992	效範小学校	547	東山小学校	770	水南小学校	541	2850	
本山中学校	92	道泉小学校	212	深川小学校	50			354	○
幡山中学校	540	幡山東小学校	458	幡山西小学校	545			1543	
品野中学校	235	下品野小学校	455	品野台小学校	84	掛川小学校	38	812	○
光陵中学校	273	原山小学校	242	萩山小学校	108	八幡小学校	250	873	○
水野中学校	473	水野小学校	438	西陵小学校	760			1671	

(2) 平成27年度の取り組み状況について

平成27年度については、第2次瀬戸市教育アクションプランを策定した年度ということもあり、ワークショップ形式により、市内各学校のPTA役員から学校教育全般に対する意見や希望を幅広くお聞きするとともに、小中学校適正規模適正配置についての意見を伺いました。

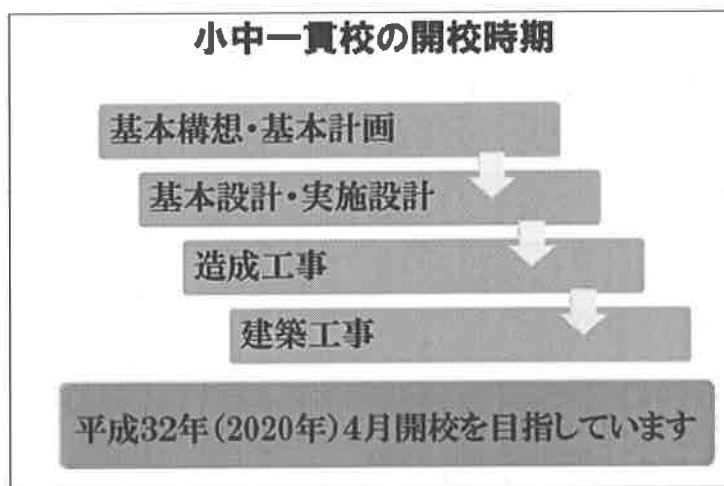
- 本山中学校区 9月14日(月) 参加者数 18名
- 品野中学校区 9月17日(木) 参加者数 17名
- 光陵中学校区 9月19日(土) 参加者数 21名
- 水無瀬中学校区 10月2日(金) 参加者数 22名
- 幡山中学校区 10月5日(月) 参加者数 18名
- 水野中学校区 10月6日(火) 参加者数 26名
- 祖東中学校区 10月8日(木) 参加者数 36名
- 南山中学校区 10月13日(火) 参加者数 21名

その後、さらに、「確かな学力と定着」、「地域や社会とつながる教育の推進」、「適正で魅力ある教育環境の充実」についてのワークショップを行い、小中学校適正規模適正配置に関する様々なご意見を伺いました（平成28年）。

水無瀬・光陵中学校校区	2月1日（月）	参加者数 36名
幡山・南山中学校校区	2月3日（水）	参加者数 47名
祖東・本山中学校校区	2月8日（月）	参加者数 28名
水野・品野中学校校区	2月9日（火）	参加者数 44名

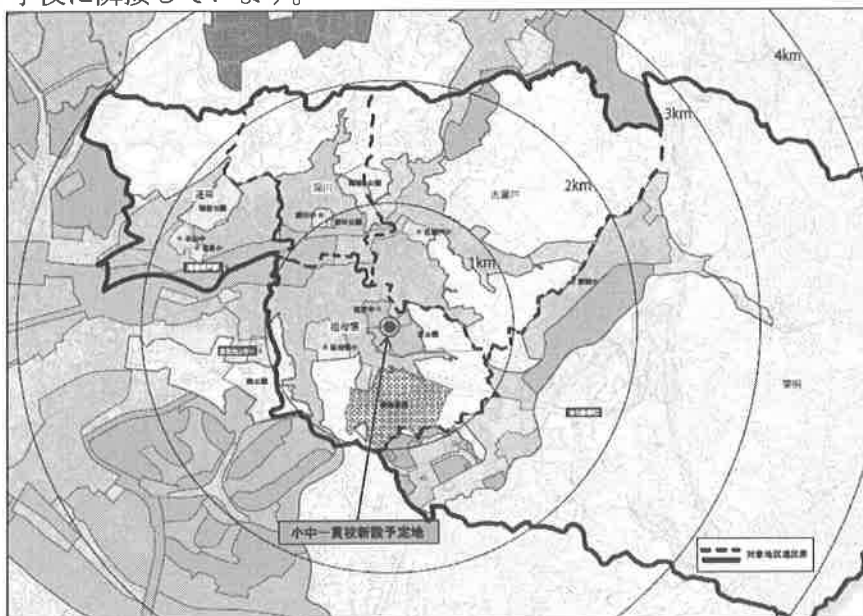
(3) 平成28年度からの検討体制や取り組み状況などについて

こうした経緯を踏まえ、本市では、緊急性を要する中心市街地をはじめとした地区にある、小学校5校（道泉小学校、深川小学校、古瀬戸小学校、東明小学校、祖母懐小学校）及び中学校2校（本山中学校、祖東中学校）を統合し、都市公園（東公園）を種地とし、平成32(2020)年の春、新たに小中一貫校を開校することを目指すことになりました。



■開校までのスケジュールイメージ

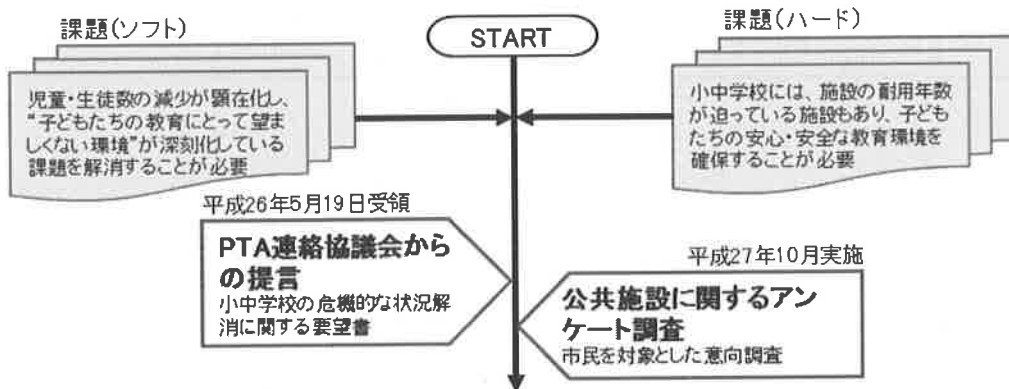
小中一貫校の新設予定地は、モデル地区のほぼ中央にある都市公園（東公園）を活用するものであり、対象校である祖東中学校に隣接しています。



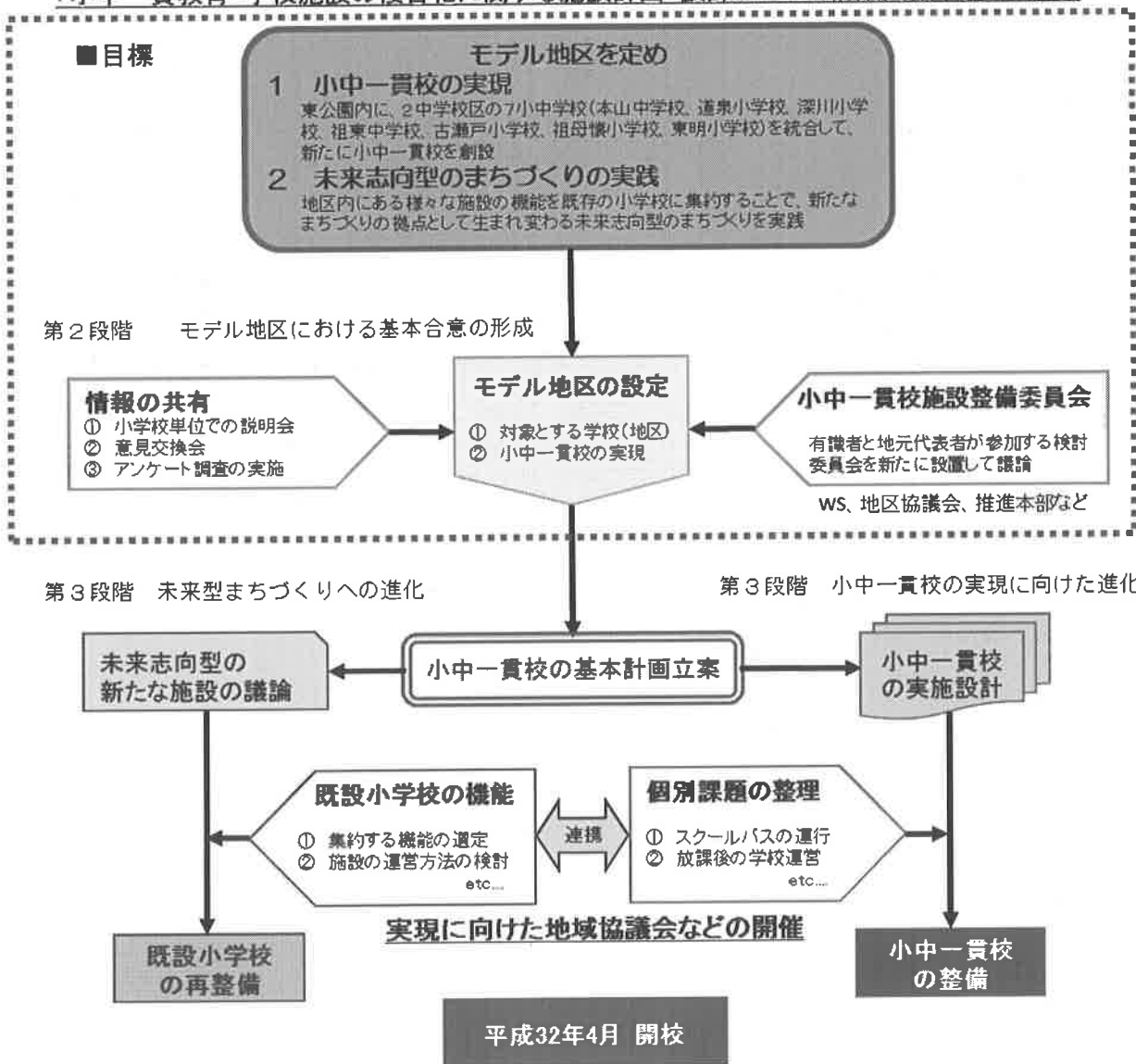
■小中一貫校の新設予定地（位置図）

小中一貫校の実現に向けた検討体制としては、瀬戸市小中一貫校施設整備委員会をはじめ、PTA、地区などの代表によるワークショップなどを開催し、小中一貫校におけるカリキュラムや新しい学校の施設整備について協議を重ねてきました。また、学校と地域との関わり方や、通学路・スクールバスなどについても協議や検討を重ねるとともに、様々な情報共有に努めています。

第1段階 モデル地区設定の与件となる事項の整理



「小中一貫教育・学校施設の複合化に関する施設計画・設計プロセス構築支援事業」の範囲



■モデル地区における小中一貫校の実現に向けたフロー

1) 瀬戸市小中一貫校施設整備委員会

モデル地区における小中一貫教育に適した学校施設整備等の目指す姿をはじめ、学校施設を核とした公共施設の再編による複合化など地域の新しい拠点整備に向けた方策について協議することを目的とし、瀬戸市小中一貫校施設整備委員会を設置しました。会議日程などについては、次のとおりとなります。

第1回 平成28年8月17日(水)

- ・課題の共有と事業推進に向けた体制、方向性の確認
- ・基本計画立案の策定方針について など

第2回 平成28年11月7日(月)

- ・アンケート調査概要(案)及びワークショップの概要(案)について
- ・小中一貫校などに係る課題抽出(心配ごとなど)について
- ・各地区やPTAなどに対する意見交換会の進捗状況について など

第3回 平成28年12月22日(木)

- ・ワークショップの開催結果について
- ・PTA、地区などにおける意見交換会の開催状況について
- ・瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想の骨子(案)について など

第4回 平成29年1月26日(木)

- ・ワークショップの開催結果について
- ・小中一貫校の新設に関するアンケート調査結果について
- ・PTA、地区などにおける意見交換会の開催状況について
- ・瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想(案)について など

第5回 平成29年2月16日(木)

- ・小中一貫校における教育方針(案)について
- ・瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想策定のための提言書(案)について など

なお、「瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想策定に向けた提言書」を受け、瀬戸市教育委員会は平成29年2月に「瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想」を策定しました。また、基本構想の策定に係る取り組みについては、文部科学省の「小中一貫教育・学校施設の複合化に関する施設計画・設計プロセス構築支援事業」により実施しています。平成28年度に受託事業として行った本市の取り組みについては、「瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想 報告書」としてまとめています。

2) ワークショップ

対象地域の自治会とPTAから選出した方や、対象校に勤務する教員が参画し、新しい小中一貫校づくりの参考とするためのワークショップを4回開催し、様々なアイデアを伺いました。ワークショップの日程などについては、次のとおりとなります。

第1回 平成28年11月16日(水)

テーマ「学校と夢」

第2回 平成28年12月8日(木)

テーマ「学校と子ども」

第3回 平成28年12月16日(金)

テーマ「学校と瀬戸」

第4回 平成29年1月18日(水)

テーマ「学校と地域」



■ワークショップの様子

3) P T A、各地区における意見交換会

P T Aをはじめ、各地区のみなさんとの情報共有及び意見交換などの継続的な対話の場は、新たに小中一貫校を開校し、その後地域とともに成長する学校づくりを目指すためにかかせないものであり、そうした対話の場となる意見交換会を重ねることにより、小中一貫教育のカリキュラムや通学などについての様々な不安や心配ごとを少しずつ解消していくことに繋がります。そのため、平成28年度、本市ではP T A、地域住民など対象となる単位ごとに意見交換会などを60回程度開催しました。

4) 各地区におけるまちづくり検討組織（協議会）

P T Aや地区における意見交換会を重ねる過程において、対象となる5つの小学校区（連区）では、自治会・保護者・学校・公民館関係者などによる自主的なまちづくり検討組織（地区協議会）が順次、設置されることになりました。この、まちづくり検討組織では、新しく開校する小中一貫校に関すること（教育環境や通学など）を協議するとともに、学校跡地の活用に関すること（防災などの必要な機能など）についても、議論を重ねており、そうした会議に市職員がオブザーバーとして参画することにより、その時点における適切な情報を提供することが可能となり、関係者の心配ごとの解消や課題の共有などに繋がりました。

5) 7校校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会、事務職員会、養護主任者会、学年会等

小中一貫校開校に該当する7校の教職員が、校務分掌ごとに集まり、それぞれの校務分掌に関わる小中一貫校に関わるカリキュラムについて検討しています。また、小中一貫校が開校した際に、子どもたちが円滑に人間関係を構築し、学校生活をよりスムーズに進めていくために、7校の子どもたちが、一緒に授業や部活動に取り組むことができるようにするための計画、実践を行っています。



■ 5小学校合同職員会議の様子



■ 合同部活動の様子

6) 小中一貫校カリキュラム編成委員会

瀬戸市の教員8名からなる小中一貫校カリキュラム編成委員と、瀬戸市の各教科の研究会の代表者によって小中一貫校カリキュラム編成委員会を組織し、小中一貫校と全市的に実施される小中一貫教育のカリキュラム全般の編成について検討しています。

小中一貫校カリキュラム編成委員会議では、小中一貫校カリキュラム編成委員が、瀬戸らしさを追求した教育活動についての提案を作成したり、各研究会で作成された教育課程の整合・調整を行ったりしています。平成28年の11月から平成29年8月までの間に、計16回、開催されました。

各教科の研究会では、各教科の教育課程について、9年間の系統性・連続性・横断性、主体的・対話的で深い学びに留意して編成をしています。

小中一貫校カリキュラム編成委員会合同会議では、小中一貫校カリキュラム編成委員と各教科の研究会の代表が集まり、小中一貫校カリキュラム編成委員が、瀬戸らしさを追求した教育活動について提案したり、各研究会で編成された教育課程を検討したりします。平成29年の3月から平成29年8月までの間に、計3回、開催されました。



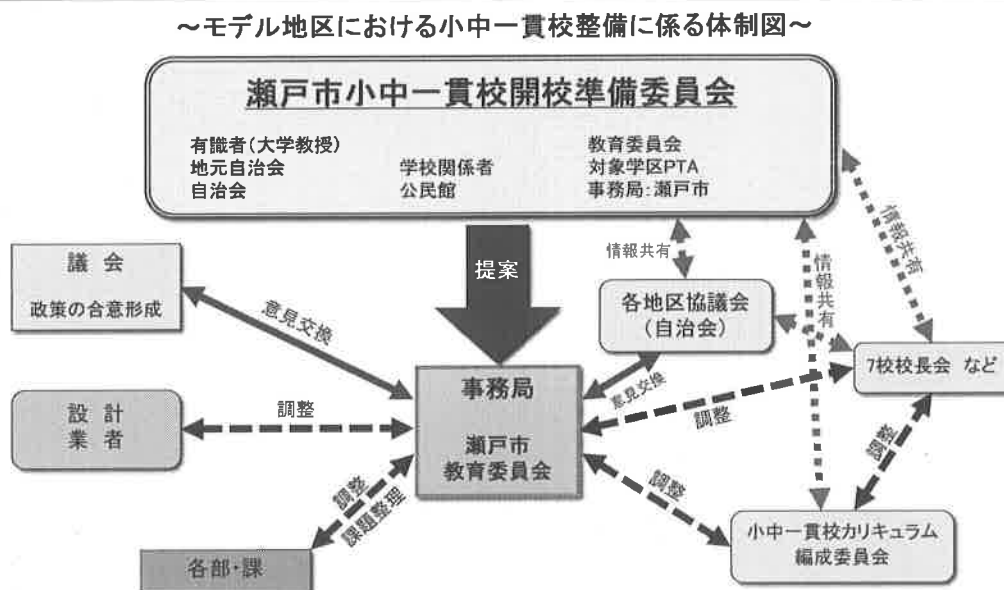
■第2回小中一貫校カリキュラム編成委員会合同会議の様子

(4) 今後の取り組みについて

平成29年度は、施設設計業務を行うとともに、昨年度、設置した瀬戸市小中一貫校施設整備委員会が一定の役割を終えたことから、モデル地区における小中一貫校の開校に向けた準備を円滑に推進することを目的とし、瀬戸市小中一貫校施設整備委員会を発展的に継承した組織「瀬戸市小中一貫校開校準備委員会」を設置しました。

そして、引き続き、モデル地区における自主的なまちづくり検討組織（地区協議会）において、小中一貫校に関することや学校跡地の活用に関することなどについての議論を重ねていくことになります。なお、小中学校適正規模適正配置に関する最新の情報については、随時、市ホームページでお知らせし、多くの関係者との情報共有を図っていくことになります。

瀬戸市小中一貫校開校準備委員会の位置づけ(イメージ)



■瀬戸市小中一貫校開校準備委員会の位置づけ (イメージ)

7 隣接学校選択制

(1) 目的

- ・本人及び保護者の願いに応じた学校選択の機会の拡大を図り、積極的に学校に関わっていかうとする意識を高める。
- ・学校現場の活性化を図り、特色のある学校づくりをすすめる。
- ・学校の活性化に伴って地域と学校の連携をさらに深め、地域社会から学校への幅広い参画をすすめる。

(2) 選択の機会

小中学校入学時、転入転居に伴う小中学校転入学時

(3) 選択可能校

小学校入学時は在住の小中学校区、中学校入学時は在住の中中学校区を中心に、周辺の隣接している中学校区の小中学校を選択可能とする。

(4) 特認校の設定

一般の小中学校とは一線を画する特色のある学校については、隣接の中学校区の児童生徒のみならず、市内全域からの選択希望に対応する必要がある。このことから、品野台小学校はオープンスクール、エコスクールとしての特色があるため、市内全域から選択できる特認校とする。なお、今後特色のある学校が設立された場合、検討の上特認校の設定を行う。

(5) 抽選の実施

各学校はあらかじめ中学校区外からの受け入れ人数を設定し、広報紙や教育委員会ホームページで公表する。受け入れ人数を超える希望者があった場合は、公開抽選により入学者を決定する。なお、兄弟が入学時に希望校に在籍見込みの申請者や、隣接学校選択制実施以前から隣接校に入学可能であった地域に居住する申請者は、抽選から除外し、優先的に入学できるものとする。

(6) 学校の情報公開

入学前の児童生徒に対して学校の情報を提供するため、各学校は学校要覧及びホームページを作成する。また、学校公開日を設定して教育活動を広く公開する。

(7) 通学方法

公共交通機関での通学や自家用車での通学を含め、通学方法の決定と安全確保は保護者の責任とする。ただし、自転車通学は原則として認めない。なお、通学に必要な費用は保護者の負担とする。

(8) 備考

- ・入学が決定した学校には卒業まで通学するものとする。
- ・申請により隣接小学校に入学した児童が、その小学校区が含まれる中学校区の中学校に入学を希望する場合、中学校入学時にも隣接学校選択制の申請を必要とする。なお、その中学校の入学希望者が受け入れ人数を超える場合には、抽選に参加しなければならない。

(9) 学校別選択可能校一覧

在住小学校区	選 択 可 能 小 学 校
陶 原	深川、祖母懐、道泉、效範、幡山西、長根、原山、萩山
深 川	陶原、祖母懐、道泉、古瀬戸、水野
祖母懐	陶原、深川、東明、古瀬戸、幡山東、萩山
道 泉	陶原、深川、效範、水野、水南
效 範	陶原、道泉、水南、長根、東山
東 明	祖母懐、古瀬戸、幡山東、下品野、品野台
古瀬戸	深川、祖母懐、東明、水野、下品野
水 野	深川、道泉、古瀬戸、水南、下品野、掛川、西陵
水 南	道泉、效範、水野、東山、西陵
幡山東	祖母懐、東明、幡山西、原山、萩山、八幡
幡山西	陶原、幡山東、長根、原山
下品野	東明、古瀬戸、水野、品野台、掛川
品野台	東明、下品野、掛川
掛 川	水野、下品野、品野台
長 根	陶原、效範、幡山西
原 山	陶原、幡山東、幡山西、萩山、八幡
東 山	效範、水南、西陵
萩 山	陶原、祖母懐、幡山東、原山、八幡
八 幡	幡山東、原山、萩山
西 陵	水野、水南、東山

※ 品野台小学校は市内全域から選択可

在住中学校区	選 択 可 能 中 学 校
水無瀬	祖東、南山、本山、幡山、光陵
祖 東	水無瀬、本山、幡山、品野、光陵、水野
南 山	水無瀬、本山、水野
本 山	水無瀬、祖東、南山、水野
幡 山	水無瀬、祖東、光陵
品 野	祖東、水野
光 陵	水無瀬、祖東、幡山
水 野	祖東、南山、本山、品野

(10) 平成28年度新入学等の許可実績

- ① 小学校 139人
- ② 中学校 78人
- ③ 主な申請事由：通学の距離・安全性、友人関係、家庭の事情、部活動

(11) 制度の廃止と新制度の導入

本制度は平成31年度末をもって廃止し、平成32年度からは隣接学校選択制導入以前から、学校選択が可能であった地区を中心とした新たな学校選択制度に移行することとなっている。

8 就学・私学助成制度

(1) 要保護及び準要保護就学援助制度

経済的理由によって就学困難な児童生徒について、学校給食費・学用品費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的として援助するものです。

① 要保護及び準要保護児童生徒の認定

- ・要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法第6条第2項に規定する要保護者である児童生徒
- ・準要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法による要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる児童生徒

② 補助対象費目

- ・要保護者・・・修学旅行費
- ・準要保護者・・・学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費、体育実技用具費

補助対象費目 平成29年度	小学校	中学校
学用品費等	11,420円	22,320円
校外活動費	1,570円(宿泊なし) 3,620円(宿泊あり)	2,270円(宿泊なし) 6,100円(宿泊あり)
新入学用品費	40,600円	47,400円
修学旅行費	21,490円	57,590円
学校給食費	実費	実費
医療費	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分
体育実技用具費	—————	柔道 7,510円 剣道 51,940円

③ 要保護及び準要保護就学援助実績

年 度	対象児童生徒数		援 助 費
	要 保 護 者	準要保護者	
平成28年度	41人	1,020人	75,640,314円

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援学級教育普及奨励を図ることを目的として、保護者の負担能力の程度に応じて補助するものです。

① 補助対象費目

学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費

② 補助額

保護者の負担能力に応じて、要保護及び準要保護就学援助費補助額の2分の1の額。ただし、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費は実費。

③ 特別支援教育奨励費実績

年 度	対 象 児 童 生 徒 数	補 助 額
平成28年度	109人	3,736,402円

(3) 私立高等学校運営費補助事業

私立高等学校の健全な運営を図るため、日常的に必要な備品、図書、消耗品等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補助対象高等学校	補 助 額
平成27年度	2校	900,000円

(4) 学校法人愛知朝鮮学園第七初級学校運営費補助事業

学校法人愛知朝鮮学園愛知朝鮮第七初級学校が行う教育に必要な備品、図書、消耗品等の購入及び施設補修等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補 助 対 象 校	補 助 額
平成27年度	1校	700,000円

(5) 私立学校等授業料補助金

私立高等学校等に在籍する生徒の保護者等の経済的な負担を軽減するため、授業料の一部の補助を行うものです。

①補助対象者

毎年10月1日現在で市内に在住し次の私立学校に在籍する生徒の授業料を負担していて、愛知県の授業料減額制度における所得区分甲Ⅰ、甲Ⅱ、乙Ⅰに該当するもの。学校での授業料が免除されている場合や、国及び県、その他補助制度により授業料の負担のない場合は補助の対象とならない。

- ・私立高等学校（全日制・定時制）
- ・私立中等教育学校（後期課程全日制・定時制）
- ・私立専修学校（高等課程）
- ・私立高等専門学校

②補助金額

生徒一人につき10,000円（上限額）

国及び県の補助制度により授業料の負担が10,000円未満となった場合は、その額を上限として補助をする。

年 度	補助金受給者数	補助額合計
平成28年度	270件	2,594,000円

Ⅲ 学 校 給 食

1 学校給食の方針

(1) 基本方針

学校教育の一環として、学校給食の一層の安全と充実を図るとともに、食育を推進する。

(2) 重点目標

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2 学校給食の現況

瀬戸市の学校給食は、センター方式(共同調理方式)と単独校方式(学校調理方式)とで実施している。

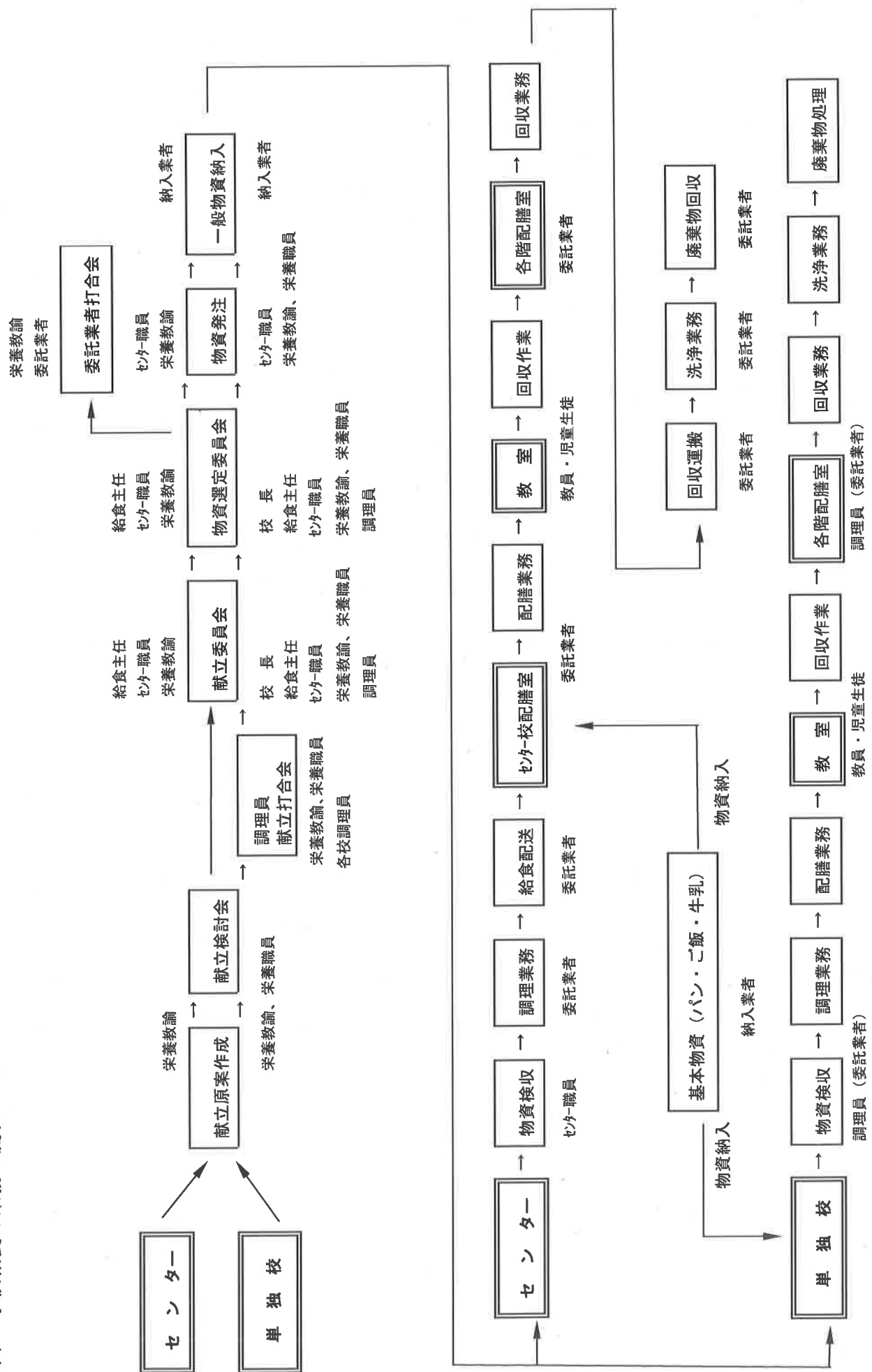
※ センター方式で行っている調理業務(全中学校と掛川小)は、平成12年8月から、配膳業務は、平成14年4月から民間委託で実施している。

※ 単独校の調理業務も平成15年4月から深川小、品野台小、平成17年4月から長根小、幡山東小、平成18年4月から陶原小、平成19年4月から效範小、原山小、平成21年4月から東山小、平成22年4月から幡山西小、平成23年4月から西陵小、平成25年4月から水南小、平成27年4月から下品野小、平成28年4月から八幡小で実施され、合計13校で民間委託を実施している。

学校給食センター調理風景



(1) 学校給食の業務の流れ



(2) センター校及び単独校一覧

平成29年5月1日現在

センター校	9校	水無瀬中学校、祖東中学校、南山中学校、本山中学校、幡山中学校、品野中学校、光陵中学校、水野中学校、掛川小学校
単独校	20校	陶原小学校、深川小学校、祖母懐小学校、道泉小学校、效範小学校、東明小学校、古瀬戸小学校、水野小学校、水南小学校、幡山東小学校、幡山西小学校、下品野小学校、品野台小学校、長根小学校、原山小学校、東山小学校、萩山小学校、八幡小学校、西陵小学校、瀬戸特別支援学校

(3) 学校給食実施状況

- ① 実施食数 単独調理校 (小学校19校、特別支援学校1校) 7,678食
学校給食センター (中学校8校、小学校1校) 3,806食
- ② 実施回数 191回 (学校行事により異なる。)
- ③ 給食の形態 完全給食で週5回給食を実施している。

ア 主食

ごはん：4回/週 (通年平均)：自校炊飯と委託炊飯の併用

(精米「あいちのかおり」を使用)

- ・自校炊飯：炊き込みごはん、ピラフ、チャーハン、チキンライス等
- ・委託炊飯：白ごはん、麦ごはん (麦10%)、わかめごはん (わかめ3%)、赤飯、発芽玄米ごはん等

パン：1回/週 (通年平均)：スライスパン、ミルクロールパン、クロスロールパン、クロワッサン、リンゴパン、あいちの米粉パン等

麺 (めん)：1回/月 (通年平均)：ソフトめん (スパゲティ式)、中華めん、きしめん

イ 牛乳 200ml (瓶入り)

ウ 副食 主菜、副菜、添え物 (果物、ヨーグルト、のりの佃煮、アーモンド小魚、ゼリー等)

(4) 使用食器；強化磁器食器

- ①単独校 平成元年度から、従来のアルマイト食器を強化磁器食器に切り替えを図り、平成5年度に全校導入を完了した。
- ②センター校 平成10年度から使用を開始した。
- ③食物アレルギー対応用食器 平成25年度から、通常使用している食器の色を変えたもの (イエロー) を導入している。



平成29年4月分献立表 [13回/月]



＃は応募献立

瀬戸市中学校・掛川小学校

日	曜日	献立名	主食	飲み物	その他	おもに体をつくるものになる食品	おもに体の調子を整えるものになる食品	おもにエネルギーのものになる食品
12	水	飛鳥汁 一口とんかつ 添えキャベツ	小麦ごはん	発酵乳	ソーゼン 甘夏ゼリー お祝い桜餅	発酵乳・豆腐・牛乳 鶏肉・油揚げ・味噌	大根・ねぎ・にんじん・しょうが キャベツ・とうもろこし	麦ごはん・じゃがいも 砂糖・油
13	木	#野菜のいろどりポトフ しらす入りオムレツ ひじきと枝豆のサラダ	ミルクロールパン	牛乳	大豆チョコ 大豆チョコ	牛乳・ベーコン・鶏肉 ひじき 豆腐・しらすばし 大豆・脱脂粉乳	たまねぎ・キャベツ・にんじん しめじ・パセリ・もやし・枝豆	コーンフラワー・パン粉・小麦粉 砂糖 もち米・小豆・砂糖
14	金	マーボー豆腐 野菜ぎょうざ 春雨中華サラダ	小麦ごはん	牛乳	アーモンド入り小魚 野菜ぎょうざ アーモンド入り小魚	牛乳・豆腐・豚肉 味噌・ハム 豚肉 かたくちいわし	にんじん・にら・ねぎ・しょうが きゅうり・しいたけ・みかん キャベツ・にら・しょうが	麦ごはん・はるさめ ごま油・砂糖 小麦粉・砂糖・ごま油 アーモンド・砂糖
17	月	若竹汁 さわらの照り焼き ゆかりあえ	ごはん	牛乳	リンナップル	牛乳・鶏肉・豆腐 かまぼこ・わかめ 油揚げ・さわら	たけのこ・ねぎ・にんじん・キャベツ きゅうり・もやし・しそ リンナップル	ごはん・砂糖 ごま
18	火	ポークカレー 角切り鮭と野菜のサラダ 福神漬	小麦ごはん	牛乳	お祝い桜餅 甘夏ゼリー 福神漬 お祝い桜餅 甘夏ゼリー	牛乳・豚肉・チーズ 鮭 大豆・とうもろこし・きゅうり・しょうが・ねぎ・しそ	たまねぎ・にんじん・グリーンピース にんにく・キャベツ・アスパラガス きゅうり・ピーマン 大豆・とうもろこし・きゅうり・しょうが・ねぎ・しそ	麦ごはん・じゃがいも ルウ・ごま油・砂糖 砂糖 もち米・小豆・砂糖 砂糖
19	水	とりめし 白身魚のフリッター (㊦2個・㊦3個) 切干大根のごまマヨネーズあえ	センターごはん	牛乳	ヨーグルト	牛乳・鶏肉・ハム ホキ・オキアミ・アオサ 牛乳・脱脂粉乳	にんじん・ごぼう・枝豆・しいたけ 切干大根・きゅうり	ごはん・砂糖・油 マヨネーズ・ごま 小麦粉・砂糖・米粉・油 砂糖
20	木	大豆のチリコンカルネ イタリアンサラダ	あいちの米粉パン	牛乳	いちごジャム	牛乳・鶏肉・大豆 ベーコン・チーズ いちご	たまねぎ・にんじん・トマト マッシュルーム・パセリ・にんにく キャベツ・とうもろこし・きゅうり	あいちの米粉パン アーモンド・砂糖 油
21	金	新じゃがの煮物 五目厚焼き卵 小松菜のおひたし	ごはん	牛乳	のりの佃煮	牛乳・牛肉・油揚げ 鶏肉 のり・寒天	たまねぎ・にんじん・こんにゃく グリーンピース・しょうが・小松菜・もやし れんこん・にんじん・小松菜・しいたけ・しそ	ごはん・じゃがいも 砂糖 砂糖・油 砂糖・水あめ
24	月	トックスープ ビービンバ	ごはん	牛乳	コーヒー牛乳のもと	牛乳・鶏肉・豚肉 鶏卵・味噌 コーヒー牛乳のもと	ちんげん菜・たけのこ・しめじ・にんじん 切干大根・しょうが・にんにく・もやし ほうれん草	ごはん・トック 砂糖・ごま・ごま油 油 砂糖
25	火	けんちゃん汁 照り焼きハンバーグ きんぴらごぼう	わかめごはん	牛乳	照り焼きハンバーグ	牛乳・豆腐・豚肉 味噌・ちくわ・わかめ 鶏肉・大豆・ひじき	大根・にんじん・しょうが・ごぼう こんにゃく・さいいんげん たまねぎ・にんじん	ごはん・さいいも 砂糖・ごま・ごま油 パン粉・砂糖
26	水	親子煮 いわしの梅肉煮 きゅうりにんじんの甘酢 発芽玄米ごはん	発酵乳	牛乳	いわしの梅肉煮	鶏肉・鶏肉・かまぼこ 煮り豆腐 脱脂粉乳 いわし	たまねぎ・にんじん・ねぎ・しいたけ きゅうり いちご果汁 肉肉	発芽玄米ごはん 砂糖・ごま油 砂糖 砂糖
27	木	ハヤシシチュー チーズとパスタのサラダ	ごはん	牛乳	オレンジ	牛乳・牛肉・チーズ ハム	たまねぎ・にんじん・しめじ・トマト グリーンピース・にんにく・キャベツ きゅうり・とうもろこし・オレンジ	ごはん・じゃがいも ルウ・マカロニ 砂糖・油
28	金	たけのこごはん かわいいソフトフライ 小松菜とごぼうのごまあえ	センターごはん	牛乳	タルタルソース 抹茶プリン	牛乳・鶏肉・油揚げ オイルツナ かわいいソフトフライ タルタルソース 抹茶プリン	たけのこ・にんじん・かんぴょう 枝豆・小松菜・ごぼう きゅうり・ビロルス・レモン果汁 抹茶	ごはん・砂糖・油 ごま パン粉・小麦粉・コーンフラワー 油 砂糖・水あめ・油

㊦は小学校のみ、㊦は中学校のみ

【付記】材料の都合により多少の変更を、お許し願います。



給食が

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。2、3年生のみなさんは進級おめでとうございます。新しい学年のスタートです。緊張もあるかと思いますが、毎日の食事を大切にして元気に過ごしてほしいと思います。

今月の給食目標 新年度の給食準備をスムーズにスタートしよう!!

1 衛生と安全に気をつけて!

体調管理に気をつけましょう。具合が悪い時は無理をせず、担任の先生に言って交代しましょう。



白衣やエプロンに着替える前にトイレをすませ、手はせっけんですっきり洗いましょう。



爪も短く切っておこう!

2 身じたくは完璧に!

白衣をきちんと必ず着ましょう。マスクは鼻まで覆い、帽子から髪が出ないようにし、長い髪はゴムなどでまとめましょう。



3 給食をきちんと盛りつけよう!

【きちんと盛るコツ】

- ①汁ものは、下の方に皿があることが多いので、底をよくかき混ぜながら、盛りつけましょう。
- ②ごはんやサラダは、30人分なら3等分した3分の1から、10人分とるように盛りつけましょう。



1人分の量を把握してきれいに盛りつけて!

盛り残しがそのまま残置にならないように気をつけて!



1年間よろしくお願ひします。

今月の応募献立
「野菜のいろどりポトフ」
せとまるっとミュージアム
瀬戸市立深川小学校 K.R. 様



毎月19日発行の印刷
—あうちでごはんの日—

(5) 給食費の内訳

給食費は、1食当たり小学校260円・中学校300円。

学校給食の形態

平成29年4月現在

学校別	給食の形態	主食		牛乳		副食・その他	給食費
		規格	価格	規格	価格	価格	
小学校	パンの場合	50g	52.24円	200ml	51.40円	156.36円	260円
	米飯の場合	70~80g	54.35円	200ml	51.40円	154.25円	
	めんの場合	70g	48.77円	200ml	51.40円	159.83円	
中学校	パンの場合	70g	57.88円	200ml	51.40円	190.72円	300円
	米飯の場合	100g	62.24円	200ml	51.40円	186.36円	
	めんの場合	120g	58.46円	200ml	51.40円	190.14円	

(6) 栄養摂取状況

摂取基準値（目標値）と摂取量及び充足率

平成28年度年間平均

区分		エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g) 25% ~ 30%	カルシウム (mg)	マグネシウム (mg)	鉄 (mg)	亜鉛 (mg)	ビタミン				食物繊維 (g)	食塩相当量 (g)	
									A (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)			
小学校	摂取基準値	640	24	21.3	350	80	3	2	170	0.4	0.4	20	5	2.5	
	単独校	摂取量	663	27.6	20.4	349	98	3.2	3.1	254	0.56	0.56	28	4.7	2.4
		充足率(%)	103.6	115	95.8	<u>99.7</u>	122.5	106.7	155	149.4	140	140	140	<u>94</u>	96
	掛川	摂取量	716	30.5	22.5	381	108	3.5	3.5	283	0.58	0.6	38	5	2.2
		充足率(%)	111.9	127.1	105.6	108.9	135	116.7	175	166.5	145	150	190	100	88
中学校	摂取基準値	820	30	27.3	450	140	4	3	300	0.5	0.6	35	6.5	3	
	摂取量	863	36.1	25.8	414	127	4.1	4.2	330	0.73	0.67	44	6.4	2.7	
	充足率(%)	105.2	120.3	94.5	<u>92</u>	<u>90.7</u>	102.5	140	110	146	111.7	125.7	<u>98.5</u>	90	

(アンダーラインの部分が未充足)

(7) おいしく楽しく食事をするための取り組み

- ① 食材の安全性の確保を図る。
(国産のものを努めて使用し、遺伝子組み替え食品や食品添加物の入った食品はできる限り使用しない。)
- ② 学校給食を通じて学校と家庭との連携を図る。
(家庭へ「給食だより」の配布、家庭から募集した献立の導入、PTA試食会等の実施を図る。)
- ③ 調理機器等の充実により献立内容の充実を図る。
(コンベクションオーブン、真空冷却機、保冷剤の使用)
- ④ 瀬戸市産の農産物を給食に取り入れ、地域との連携を図る。
(アグリカルチャー推進プロジェクトチームを通じて、市内で生産された豚肉、米、玉葱、なす、里芋等を使用)
- ⑤ 献立の工夫を図る。
(行事食や、郷土料理、バイキング給食等で、食に対する理解を深める。)

<瀬戸市産親芋を使った献立の給食>



<バイキング風景>



<瀬戸市産玉葱のポスター>



<いつもの給食風景>



(8) 食物アレルギーの対応

平成21年度から、食物アレルギーのある子どもたちに、除去食、代替食（牛乳のみ）の対応に取り組んでいる。

- ① 学校給食において食物アレルギー対応を行う場合、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の提出を必須としている。
- ② 学校給食におけるアレルギー対応面談記録表、聞き取り調査表をもとに保護者と面談している。校長、教頭、養護教諭、保健主事、給食主任、栄養教諭、担任等で協議し、学校給食におけるアレルギー対応決定書が作成される。
- ③ 保護者には、学校給食におけるアレルギー対応についての決定をお知らせする。
- ④ 単独校では、各学校で除去食で対応している。
- ⑤ センターでは、食品16品目（29年度）の除去食で対応している。
- ⑥ 配膳やおかわりにおける誤食を防ぐために、平成25年度より、食物アレルギー対応専用食器（イエロー）を使用している。
- ⑦ センターでは、専用ランチジャーで除去食を運び、専用食器（イエロー）を使用している。
※なお、本人に除去食が正確に提供できるように受取表で確認記録を行う。

IV 図 書 館

1 図書館活動

(1) 基本方針

図書館サービスの充実、施設やネットワークの整備により、利用しやすい環境づくりを推進する。

(2) 重点目標

- ① 学校図書館との連携による地域図書館の増設・利活用を進める。
- ② 市民等がくつろぎ、学び、暮らしに役立つ情報を享受し、交流する場づくりを進める。
- ③ 子どもの読書環境の整備、学習活動への支援を図る。
- ④ 情報化に対応した資料の充実やサービスの提供を図る。
- ⑤ 高齢者及び障害者等、誰もが利用しやすい環境づくりを進める。

(3) 施設

① 瀬戸市立図書館（本館）

所在地	東松山町1番地の2	TEL	0561(82)2202	FAX	0561(85)2651
敷地面積	4,222.5 m ²				
建物	構造	鉄筋コンクリート2階建			
	面積	868.26 m ²			
	延面積	1,412.26 m ²			
	構造	軽量鉄骨平屋建（プレハブ集会室）			
	面積	98.69 m ²			



② パルティ情報ライブラリー

所在地	栄町45番地（パルティせと3階）	TEL	0561(97)1162
面積	198.24 m ²		

図書館全景

(4) 利用案内

開館時間 本館 午前9時～午後7時（10月～3月は午前9時～午後6時）

パルティ情報ライブラリー 午前9時～午後9時半

休館日 館内整理日（毎月第4水曜日）

特別整理期間（年1回10日以内）、年末・年始（12月28日から翌年の1月4日まで）

利用対象 館内利用は自由、館外貸出は市内在住・在勤・在学及び近隣8市1区1町の在住者

利用内容

貸出サービス 個人貸出—1人10冊（点）まで 期間3週間以内（視聴覚資料・雑誌は2週間以内）
団体貸出—構成員は5人以上、代表及び構成員の過半数は市内在住とし、貸出期間は
最長2か月、最大200冊まで

その他サービス 予約サービス（5冊まで）、リクエストサービス、相互貸借サービス、レファレンスサ
ービス、コピーサービス（有料）、ハンディキャップサービス、パソコンルーム利用サ
ービス（PC利用・DVD視聴）

(5) 蔵書状況

平成28年度末の蔵書冊数は323,038冊で、前年度末に比べ3,504冊増加した。平成28年度中の増減の内訳は、雑誌・視聴覚資料を含む購入（増）が12,895冊、寄贈など（増）が1,393冊、除籍（減）が10,784冊であった。

① 蔵書の種類

(冊・点)

	一般書	児童書	郷土資料	点字・大活字本	雑誌	視聴覚資料	合計
平成27年度	200,601	90,132	14,566	2,501	9,655	2,079	319,534
平成28年度	200,049	92,425	14,881	2,559	11,003	2,121	323,038
増 減	-552	2,293	315	58	1,348	42	3,504

② 蔵書及び資料購入等の推移

年度	人口（人）	蔵書冊数（冊）	購入冊数（冊）	資料購入費（千円）	市民1人あたりの資料費（円）
平成24年度	132,130	321,416	20,593	27,732	210
平成25年度	131,698	317,136	16,899	27,522	209
平成26年度	131,269	317,600	16,044	28,648	218
平成27年度	130,676	319,534	17,378	28,369	217
平成28年度	130,298	323,038	12,895	28,730	220

③ 郷土（地域）資料の収集

地場産業である窯業・陶磁器に関する資料を、国内外を問わず広く収集し、2階の参考室内に「陶磁器本コーナー」を設置し、閲覧・貸出を行っている。その他地域資料についても行政機関等の協力により収集に努めており、整理・活用が課題となっている。

④ 電子資料の整備

地域資料を適正に保管し閲覧等の利便性を高めるため、所蔵する中日新聞なごや東版及び中日ホームニュースの電子化を専門業者への委託により進めている。

(6) 利用状況

平成28年度の本館の開館日数は333日、入館者数は235,126人で、対前年度比4.0%減となった。また、パーティ情報ライブラリーは開館日数342日、入館者数は91,185人で、対前年度比8.3%減となった。

本館・パーティ情報ライブラリー・移動図書館（山口・幡山）・地域図書館（品野台小・光陵中・西陵小・水野小・東山小）を窓口とする個人・団体への平成28年度総貸出数は、651,228冊で前年度に比

べ6.0%減少した。うち、個人への貸出は、617,419冊で、団体への貸出は、33,809冊であった。また、市民一人あたりの貸出冊数は5.0冊で、平成27年度5.3冊から減少した。

児童書の貸出は298,601冊で、前年度に比べ5.3%減少した。引き続き「第2次瀬戸市子ども読書活動推進計画」に基づき、職員やボランティアによる読み聞かせ、ブックスタート、児童関係施設への貸出など、より充実した児童サービスの提供に努めていく。

利用状況			28年度計	27年度計	26年度計	25年度計	月平均	増減数	対前年比(%)	
本館	開館日数		333	339	336	336	28	-6	98%	
	入館者数		235,126	245,040	238,623	237,073	19,594	-9,914	96%	
		個人	利用者数(人)	111,157	117,673	112,630	114,678	9,263	-6,516	94%
	貸出	貸出冊数(冊)	504,053	531,997	507,188	514,960	42,004	-27,944	95%	
	新規登録者数		2,812	3,250	2,799	2,681	234	-438	87%	
		団体貸出	貸出冊数(冊)	21,331	19,096	30,310	25,884	1,778	2,235	112%
	貸出冊数小計		525,384	551,093	537,498	540,844	43,782	-25,709	95%	
移動図書館 (山口、幡山)	巡回回数		67	70	70	70	6	-3	96%	
	個人	利用者数(人)	571	707	594	723	48	-136	81%	
		貸出	貸出冊数(冊)	2,428	3,900	3,656	4,073	202	-1,472	62%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	9,555	10,210	10,292	10,370	796	-655	94%	
	貸出冊数小計		11,983	14,110	13,948	14,443	999	-2,127	85%	
情報ライブラリー	開館日数		342	358	356	357	29	-16	96%	
	入館者数		91,185	99,458	95,352	94,424	7,599	-8,273	92%	
		個人	利用者数(人)	21,113	22,942	21,696	21,619	1,759	-1,829	92%
	貸出	貸出冊数(冊)	59,230	65,743	61,905	58,283	4,936	-6,513	90%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	629	2,932	3,451	5,970	52	-2,303	21%	
貸出冊数小計		59,859	68,675	65,356	64,253	4,988	-8,816	87%		
地域図書館	(品野台小)	開館日数	110	114	111	109	9	-4	96%	
		入館者数		931	1,165	1,073	1,098	78	-234	80%
			個人	利用者数(人)	2,790	2,825	3,436	3,114	233	-35
		貸出	貸出冊数(冊)	7,625	8,390	10,158	8,594	635	-765	91%
		団体貸出	貸出冊数(冊)	1,352	719	1,125	962	113	633	188%
	貸出冊数小計		8,977	9,109	11,283	9,556	748	-132	99%	
	(光陵中)	開館日数	109	114	110	107	9	-5	96%	
		入館者数		1,482	1,614	1,662	1,708	124	-132	92%
			個人	利用者数(人)	1,810	2,004	1,906	2,010	151	-194
		貸出	貸出冊数(冊)	4,727	5,099	4,954	4,795	394	-372	93%
		団体貸出	貸出冊数(冊)	112	773	227	69	9	-661	14%
	貸出冊数小計		4,839	5,872	5,181	4,864	403	-1,033	82%	
	(西陵小)	開館日数	101	103	99	100	8	-2	98%	
		入館者数		2,081	2,293	2,247	1,859	173	-212	91%
			個人	利用者数(人)	10,419	11,093	11,384	11,974	868	-674
		貸出	貸出冊数(冊)	13,629	15,118	15,549	14,965	1,136	-1,489	90%
		団体貸出	貸出冊数(冊)	189	490	662	470	16	-301	39%
	貸出冊数小計		13,818	15,608	16,211	15,435	1152	-1,790	89%	
(水野小)	開館日数	106	111	108	109	18	-5	95%		
	入館者数		1,174	1,358	1,186	1,117	196	-184	86%	
		個人	利用者数(人)	5,922	5,906	6,493	8,874	987	16	100%
	貸出	貸出冊数(冊)	13,454	13,009	14,109	18,914	2242	445	103%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	316	363	479	238	53	-47	87%	
貸出冊数小計		13,770	13,372	14,588	19,152	2295	398	103%		
(東山小)	開館日数	106	109	105	108	18	-3	97%		
	入館者数		1,277	1,742	1,778	2,281	213	-465	73%	
		個人	利用者数(人)	10,027	11,039	11,646	13,282	1671	-1,012	91%
	貸出	貸出冊数(冊)	12,273	14,574	15,215	17,421	2046	-2,301	84%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	325	317	463	560	54	8	103%	
貸出冊数小計		12,598	14,891	15,678	17,981	2100	-2,293	85%		
小計	入館者数		6,945	8,172	7,946	8,063				
	個人	利用者数(人)	30,968	32,867	34,865	39,254				
		貸出	貸出冊数(冊)	51,708	56,190	59,985	64,689			
	団体貸出	貸出冊数(冊)	2,294	2,662	2,956	2,299				
貸出冊数計		54,002	58,852	62,941	66,988					
全館	入館者数		333,256	352,670	341,921	339,560				
	総個人	利用者数(人)	163,809	174,189	169,785	176,274				
		貸出	貸出冊数(冊)	617,419	657,830	632,734	642,005			
	総団体貸出	貸出冊数(冊)	33,809	34,900	47,009	44,523				
総貸出冊数		651,228	692,730	679,743	686,528					

(7) 地域図書館・移動図書館

① 地域図書館

「身近な場所に身近な図書館を」を合言葉に、小中学校との連携により、土日祝日に学校図書館を開放し、図書の閲覧・貸出など、図書館の分館としてのサービス提供を図書館サポーターとの協働により行っている。平成29年10月1日には、6館目となる地域図書館を幡山西小学校に開設した。

開館日時：土日祝日 午前10時～午後3時

内容：学校図書館の一般開放

図書の購入支援（一般書・児童書）

司書及び図書館サポーターの派遣など

地域図書館の来館者数（土日祝のみ） (人)

	子ども	大人	合計
平成26年度	3,381	4,538	7,919
平成27年度	3,537	4,635	8,172
平成28年度	2,959	3,986	6,945



② 移動図書館

平成22年度以降、山口・幡山公民館での2ヶ所の巡回を行ってきたが、幡山西小学校での地域図書館開設に伴い、平成29年9月末をもって終了した。

(8) 各種講座・行事の開催

① 第19回 夏休みこども理科教室

日時：平成29年8月4日（金） 午前・午後2回

場所：図書館 1階 集会室

協力：瀬戸市理科教育研究会

参加：市内小学生3～6年生 62名参加



② 第21回 図書館まつり

期間：平成29年10月14日（土）～11月19日（日）

場所：図書館、瀬戸蔵

内容：文学カフェ（10/21）、こども1日司書（10/29）、本のリサイクル市（11/11）、ビブリオバトル（11/19）、

「図書館めぐり！瀬戸高校の図書館に行こう」（11/6～11/14）など

③ その他

読み聞かせ（毎週月～金曜 午前11時から30分間 職員・ボランティアグループにより実施）

こどもの読書週間行事（4/2～5/5）

読書感想画展（4/27～6/27）

教科書展示会（6/10～7/11）

キッズルーム開設（テーマ設定、集会室） 年2回

(9) 支援事業

① 学校図書館への支援

ア 地域図書館開設学校図書館への支援

司書の派遣（週1回 平日）による読み聞かせなどの実施、研修支援

イ その他学校図書館への図書貸出

小学校（11校） 年2回

② その他施設への支援

公民館図書室（11館）及び保育園・陶生病院などの施設へ図書を貸出

(10) 連携事業

① 子育て支援「ブックスタート」事業

市健康課との連携により、6ヶ月検診受診親子を対象に、ファーストブックの読み聞かせや図書館での取り組み（絵本の読み聞かせ、お話し会・映画会）などを紹介し、絵本2冊・アドバイス集・絵本リストをコットン・バックに詰めた「ブックスタート・バック」を配布する。（平成28年度実績 797組）

開催日：月2回

場所：やすらぎ会館

② 図書館連携健康支援事業 めりーらいん

近隣図書館との連携により、病気や症状の調べ方ガイド「メディカルパス」の共同作成など、健康・医療をテーマとした事業を行う。

参加図書館：愛知医科大学・尾張旭・長久手・日進・瀬戸 5館

③ 大学コンソーシアムせと連携事業

大学コンソーシアムせと「新しい文化創造プロジェクト」の採択を得て、若年層の利用者獲得に有益なイベントを開催する。

プロジェクト名：図書館連携事業ビブリオバトル

開催日：平成29年11月19日（日）

④ 図書館ボランティア活動との連携

ブックスタートのほか、よみきかせ（平日）、土曜おはなし会（第1土曜 午後）、土曜おはなし会とえいが会（第2土曜 午後）など、ボランティアとの連携による活動を継続的に行っている。

ブックスタートボランティア：18名

ボランティア団体：8団体

⑤ 図書館友の会事業

平成11年1月に図書館の呼びかけにより利用者や図書館で活動するグループが任意参加して設立し、以降、本の補修や館内行事の企画開催など、図書館を支援する活動を継続して取り組んでいる。

活動内容：世話人会（第3土曜）、本の補修（毎週火曜午前）、会報（年3回）発行、七夕・クリスマスなど館内行事の開催など

V 視聴覚ライブラリー

1 視聴覚ライブラリー活動

(1) 基本方針

学校教育及び社会教育に関わる団体がその活動のために必要とする視聴覚機材及び教材を整備・充実し、団体利用者の求めに応じて提供する。

(2) 重点目標

- ① 視聴覚機材及び教材の整備・充実を行う。
- ② 学校、社会教育関係団体に対し、視聴覚機材及び教材を貸与し、利用の促進を図る。

(3) 施設

所在地 栄町45番地 「パルティセと」3階 情報ライブラリー
(事務局) 東松山町1番地の2 瀬戸市立図書館内

(4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後9時30分
休館日 年末年始(12月28日から翌年の1月4日まで)
利用対象 市内の学校、社会教育関係団体

(5) 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員会

学校教育及び社会教育の関係者並びに利用団体の関係者のうちから10名以内の委員を教育委員会が任命し組織する。

視聴覚ライブラリーの運営について館長の諮問に応ずるとともに、視聴覚ライブラリーの行う事業について意見を述べる。

平成29年7月1日現在

氏名	所属団体	区分
加藤 中哉	瀬戸市小中学校長会	学校教育関係者
杉浦 哲男	瀬戸市小中学校視聴覚教育研究会	学校教育関係者
長江 保	瀬戸市公民館協議会	社会教育関係者
横井 暢彦	瀬戸市子ども会連絡協議会	利用団体関係者
加藤 千美	愛知県私立幼稚園連盟 旭・瀬戸支部	利用団体関係者
佐藤 拓哉	瀬戸市消防本部	利用団体関係者
金谷みどり	瀬戸市こども家庭課 (保育園・交通児童館所管)	利用団体関係者

7名

(6) 平成28年度 瀬戸市立視聴覚ライブラリー利用状況

① 機材

機器名	16ミリ 映写機	ポータブル VTR	スライド	スクリーン	スピーカー	OHP・ OHC	液晶 映写機	ビデオ 編集機	PCコン パター	合計
現有台数	1台	2台	3台	7本	2台	P 2/C 1台	4台	1台	1台	
計	0	0	2	12	0	6	152	0	0	172
前年度	0	0	11	22	0	7	82	0	0	122
増減	0	0	-9	-10	0	-1	70	0	0	50

② 教材

区分	ビデオ・DVD(保有数: 1,193本)					16ミリフィルム(保有数: 83本)				合計
	幼稚園等	小学校	中学校	その他	小計	幼稚園等	学校	その他	小計	
計	41	42	6	146	235	0	0	0	0	235
前年度	40	93	6	100	239	0	0	0	0	239
増減	1	-51	0	46	-4	0	0	0	0	-4

※ビデオ・DVD保有数内訳(平成28年度末現在)

社会教育用: 559 本

学校教育用: 634 本

VI 社 会 教 育

1 社会教育

(1) 基本方針

社会教育の本旨を効果的に達成するために、社会教育施設や人的要素を充実させる等、諸条件の整備を図り、特に生涯学習の観点に立って、積極的に社会教育活動を推進します。

(2) 重点目標

- ① 生涯学習の充実、民間指導者層の育成及び拡充を図ります。
- ② 社会教育施設の整備充実、活用の促進を図ります。

(3) 社会教育の振興

◇ 平成29年度 社会教育委員

平成29年6月1日現在

氏名	選出母体	公職・その他
福岡 明	学識経験者	瀬戸市第2次教育アクションプラン推進委員
右高 恭子	校長会	瀬戸市小中学校長会副会長・古瀬戸小学校長
菊川 照一	公民館	瀬戸市公民館協議会副会長
横井 暢彦	子ども会	瀬戸市子ども会連絡協議会会長
横山 洋	P T A	瀬戸市小中学校P T A連絡協議会会長
川本 まり子	体育団体	瀬戸市体育協会常任理事
青山 貴彦	医師会	瀬戸旭医師会副会長
田沼 春二	文化団体	瀬戸陶芸協会常任理事
佐野 麻貴	福祉団体	瀬戸市民生委員児童委員協議会子育て支援部会長
椿井 信仁	薬剤師会	瀬戸旭長久手薬剤師会副会長

社会教育委員……社会教育に関する諸計画を立案、教育委員会の諮問に答え、又は教育委員会に対し意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

定数及び任期……13名以内、2年任期 平成28年6月1日～平成30年5月31日

(4) 社会教育事業

① 社会教育講座・生涯学習セミナーの開催

学習活動の機会を増やし、生涯学習のきっかけづくりを行います。

◇ 平成28年度 生涯学習セミナー実績

講座名	開催日	参加者数
子育てパパ・ママの学びセミナー ・『子育てパパのキャンプ教室』	6月26日	17組(58人)
品野の森・里山学校サマースクール (1泊2日)	8月3日～4日	28人
子育て支援者研修会	8月24日	50人(託児3人)



「品野の森・里山学校サマースクール」の様子

◇ 平成28年度 学びキャンパスせと

「自分が得意なことを教えたい」という熱意のある公募による市民講師が「教える生きがい」をもって講座を企画・運営し、多彩で豊かな講座を提供する新しい講座の仕組み、「学びキャンパスせと」を開催しました。

講座の内訳は、パソコン、趣味・教養、美術、軽運動、書道、語学、市民生活、健康、音楽、料理、親子向けとなっています。

前期は92講座を開き受講生は1763名、後期は92講座を開き受講生は1747名でした。



「バルーンアート
教室」の様子

(5) 地区公民館事業

① 勤労青少年教養講座（平成29年度）

勤労青少年向けの講座を開催し、生涯学習のきっかけづくりと交流を図っています。

② 地区公民館生涯学習補助事業（平成29年度）

市内各地域において生涯学習の機会を増やし、また、その活動を促進するとともに、地区公民

館が地域における生涯学習の中核施設としての役割を果たしていくことを推進するために、関係事業に補助金を交付しています。

(6) 施設の概要

生活、文化、教養の向上や、地域住民の連帯意識の高揚を図るため、各種の教育事業と住民の主體的な学習・創造活動が行われています。 (平成29年4月1日現在)

館名	館長氏名	所在地	電話	設立年月日	建物延面積	建物構造
陶原公民館	加藤和守	熊野町98	83-3579	S28. 2. 1	620㎡	鉄筋2階
深川公民館	小寺健三	宮脇町53	82-0453	S28. 2. 1	403㎡	鉄筋2階
祖母懐公民館	山田重夫	上ノ切町43	82-9304	S28. 2. 1	730㎡	鉄骨1階
古瀬戸公民館	丹羽静夫	西拝戸町16-10	83-8741	S28. 2. 1	413㎡	鉄筋2階
東明公民館	鈴木一己	西拝戸町16-3	82-8024	S28. 2. 1	427㎡	鉄筋2階
效範公民館	長江保	北山町39	82-1095	S28. 2. 1	709㎡	鉄筋2階
長根公民館	伊藤繁男	城屋敷町22	85-0911	S44. 4. 1	686㎡	鉄筋2階
水南公民館	山本玉美	東松山町154	21-2556	S28. 2. 1	409㎡	鉄筋2階
山口公民館	加藤英憲	田中町108	87-0700	S38. 4. 1	745㎡	鉄筋2階
幡山公民館	林勝治	幡山町71	87-4000	S30. 4. 1	428㎡	鉄筋2階
下品野公民館	成瀬彰良	品野町6-105	41-4118	S34. 4. 1	874㎡	鉄筋3階
掛川公民館	水野辰美	定光寺町1206	48-6165	S38. 4. 1	153㎡	鉄骨1階
原山公民館	菊川照一	原山台8-163	83-9231	S48. 4. 1	405㎡	鉄筋2階
萩山公民館	石原昭二	萩山台4-2-2	84-2088	S50. 11. 1	405㎡	鉄筋2階
八幡公民館	高木秋男	八幡台1-145-2	82-9456	S52. 5. 7	405㎡	鉄筋2階

(7) 瀬戸市公民館協議会に関する事業

地区公民館相互の情報交換と地域課題を解決する糸口を見出す方策や指導者を養成する事業を行い、地域における公民館活動の一層の振興を図ります。

◇ 協議会役員

平成29年4月1日現在

役職名	氏名	所属
会長	加藤和守	陶原公民館
副会長	菊川照一	原山公民館
副会長	加藤英憲	山口公民館
監査	高木秋男	八幡公民館
監査	鈴木一己	東明公民館

◇ 事業（平成28年度）

- * 公民館グラウンドゴルフ大会
平成28年5月22日（日）
- * 愛知県公民館連合会総会 名古屋市公会堂
平成28年5月31日（火）
- * 中学校区指導者研修会
平成28年7月～11月
- * 瀬戸市公民館協議会研修事業
平成28年11月22日（火） 文化センター
「薬のお話と在宅医療のこれから」
- * 平成29年成人式
平成29年1月8日（日）各地区公民館等（15会場 該当者1,407人 参加者1,109人）
- * 愛知・地域づくり推進大会
平成29年1月26日（木） 刈谷市総合文化センター
- * 瀬戸市公民館大会
平成29年2月18日（土） 瀬戸蔵つばきホール
記念講演 「夢をあきらめない」
- * 公民館長会議 年3回開催
- * 公民館長・運営委員長合同会議 年2回開催
- * 運営委員長会議 年3回開催

(8) 「大学コンソーシアムせと」による教育支援

「大学コンソーシアムせと」は、瀬戸市と近隣の大学とが連携し、市民への生涯学習の機会の提供や市民と大学との交流促進、大学と行政による地域研究などを目的に作られた組織です。

① 平成28年度 教育現場問題研修会・学習会実績

小中学校教員が教育現場で抱える問題の解決の一助となるようにと、小中学校教員を対象とした研修会・学習会を開催し加盟大学より教員を派遣しています。

内 容	担 当 大 学	開 催 場 所	実 施 日	参加教員数
発達支援研修会	名古屋産業大学	瀬戸蔵多目的ホール	7月29日	50名
	金城学院大学	瀬戸蔵多目的ホール	8月3日	58名
	名古屋学院大学	文化センター22会議室	8月25日	60名

② 平成28年度 小中学校教育現場支援実績

小中学校へ大学教員や学部生、留学生を派遣し実際の教育現場での児童・生徒の授業を支援しています。近年は、発達障害児対応の支援が増えています。

内 容	担 当 大 学	小 中 学 校 名	実 施 日
理科学習（全10日）	愛知工業大学	掛川小学校	10月7日
		祖母懐小学校	12月6日,7日
		下品野小学校	12月13日,16日,20日
		道泉小学校	12月14日
		古瀬戸小学校	12月15日
	名古屋産業大学	長根小学校	11月18日
		萩山小学校	1月31日
内 容	担 当 大 学	講 師 名	実 施 回 数
発達障害支援	金城学院大学	川瀬正裕教授	3回
		今村友木子教授	1回
		加藤大樹准教授	2回
		二村 彩講師	2回
	名古屋学院大学	廣藤稚子相談員	2回
	名古屋産業大学	松瀬留美子准教授	4回
	南山大学	早川徳香准教授	2回

③ 平成28年度講座主催実績

専門的でわかりにくいと思われがちな大学教員の研究を市民のみなさんにわかりやすく楽しく紹介し、学んでいただく講演会・講座を行いました。

内 容	参 加 人 数	開 催 日 ・ 実 施 回 数 等
カレッジ講座 『身体のしくみと病気のなりたちーアレルギー、高血圧についてー』 提供大学：金城学院大学 福石信之教授	59名	9月17日(土) 10月1日(土) 2回講座
カレッジ講座 『戦後70年を経て写真でめぐる旧満州：大連～長春～ハルビン』 提供大学：名古屋産業大学 松下奈美子講師	52名	10月13日(木)
カレッジ講座 『どうすればいいの？私の血圧（健康長寿のために）』 提供大学：名古屋学院大学 土肥靖明教授	66名	10月15日(土)
カレッジ講座 『いつでも、どこでも眼ヂカラトレーニング』	65名	10月18日(火)

提供大学：愛知工業大学 石垣尚男教授		
カレッジ講座 『持続可能な都市とまちづくり—瀬戸と欧米都市の比較から—』 提供大学：南山大学 石川良文教授	55名	10月27日(木)

VII 社 会 体 育

1 社会体育

(1) 基本方針

スポーツを通じて市民の健康保持・増進とともに、競技スポーツの競技力向上及びアマチュアスポーツの振興に努めます。市民が生涯を通じて自分に合ったスポーツに親しみ、健康づくりができるような環境の整備充実と、生涯スポーツを根底においたスポーツ人口の拡大を目指し、スポーツ活動の普及に努めています。

(2) 重点目標

- ① 生涯にわたりスポーツに取り組む意識の向上と市民総スポーツの実現
- ② 地域スポーツ振興とスポーツ指導者の養成、資質の向上
- ③ スポーツをする機会の提供
- ④ 充実した施設の提供と学校体育施設の有効活用
- ⑤ 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- ⑥ 生涯スポーツ及び競技スポーツと学校体育（部活動）との連携の推進

(3) スポーツ推進委員

「市民の体力づくり」「市民スポーツ事業の振興」「アマチュアスポーツの普及発展」という三つの目標に向かって、積極的にその事業の推進を図り、特にコミュニティスポーツの指導者養成及び組織づくりを中心に、個人の健康とスポーツに対する市民意識の盛り上げを図るため、関係機関・団体にアピールし、市民の健康や体力向上を期するための活動をしています。

現在30名（地区公民館・地域交流センター推薦18名、体育協会推薦10名、学識経験者2名）でその任務にあたっています。

(4) 総合型地域スポーツクラブ支援

地域住民が主体となり、誰でも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツができる、生涯スポーツ環境を実現するため、総合型地域スポーツクラブの活動支援に努めています。平成16年8月に市内で初めての総合型地域スポーツクラブである「品野スポーツクラブ」が設立されたのに続き、平成19年8月に「水野・西陵いきいきクラブ」が設立され、会員により自主運営されています。上記の2団体の支援を中心に、他の地域におけるクラブの必要性や今後の方向性についても引続き検討していきます。

2 体育・スポーツ活動

(1) スポーツ教室

定期的にスポーツをしたい方や新たにスポーツを始めようとする方たちに機会を提供することを目的として、平成28年度は次の教室を開催しました。



競技名	開催数(回)	参加数(人)	競技名	開催数(回)	参加数(人)
ウォーキング&健康づくり	3	150	ソフトバレーボール	1	14
ソフトテニス	2	118	バスケットボール	2	35
陸上	2	55	ミニバスケットボール	3	133
剣道	2	13	サッカー	1	130
卓球	2	49	テニス	3	52
弓道	2	31	バドミントン	2	34
柔道	3	24	少林寺拳法	3	13
スキー	2	44	ラグビー	1	132
ソフトエアロビクス	9	579	空手	2	23
ウォーキング	6	345	合計	51	1,974

(2) スポーツ大会

① 市民体育大会

市民体育大会は、当市のスポーツの祭典と呼べるもので、多数の市民に参加の機会をつくり、スポーツの普及と体力の増進を図り、健康で明るい市民の育成を目的に行われています。

平成28年度で67回目を迎え、5月22日(日)の総合開会式を皮切りに、22種目27大会で熱戦が繰り広げられました。



第67回市民体育大会

競技名	大会数 (回)	参加数 (人)	競技名	大会数 (回)	参加数 (人)
陸上競技	1	141	テニス	1	112
ソフトテニス	1	176	バドミントン	2	121
軟式野球	1	1,600	ソフトボール	1	232
剣道	1	231	クレール射撃	1	15
卓球	1	209	ボウリング	1	42
弓道	1	63	少林寺拳法	1	16
バレーボール	4	575	ラグビー	2	490
柔道	1	41	ウエイトリフティング	1	19
スキー	—	—	ビーチボール	1	121
体操	1	280	グラウンドゴルフ	1	195
バスケットボール	1	450	空手道	1	282
サッカー	1	120	合計	27	5,531

※スキー競技は雪不足のため大会中止。

② 瀬戸地方近郊駅伝競走大会

本大会は昭和27年に始まり、平成28年で65回目を迎え、伝統ある広域的な大会として定着しています。第62回大会から中学生の部（男子・女子）を創設し、参加チームは年々増加する傾向にあります。

また、平成23年以降は、小学生駅伝大会も同時開催しています。



第65回大会参加状況（平成28年12月11日実施）

男子第1部（一般）・5区間	14チーム
男子第2部（一般）・4区間	53チーム
男子第3部（高校生）・5区間	71チーム
一般女子の部・4区間	31チーム
中学生男子の部・4区間	68チーム
中学生女子の部・4区間	41チーム

小学生駅伝大会

男子の部・4区間	43チーム
女子の部・4区間	23チーム

(3) 学校体育施設スポーツ開放

学校体育施設を学校教育に支障のない範囲内において開放することにより、広く市民にスポーツ活動の実践の機会を提供し、市民の健康保持増進と体力の向上に努めています。

市内在住者又は在勤者により構成された登録団体が各学校体育施設を利用しています。

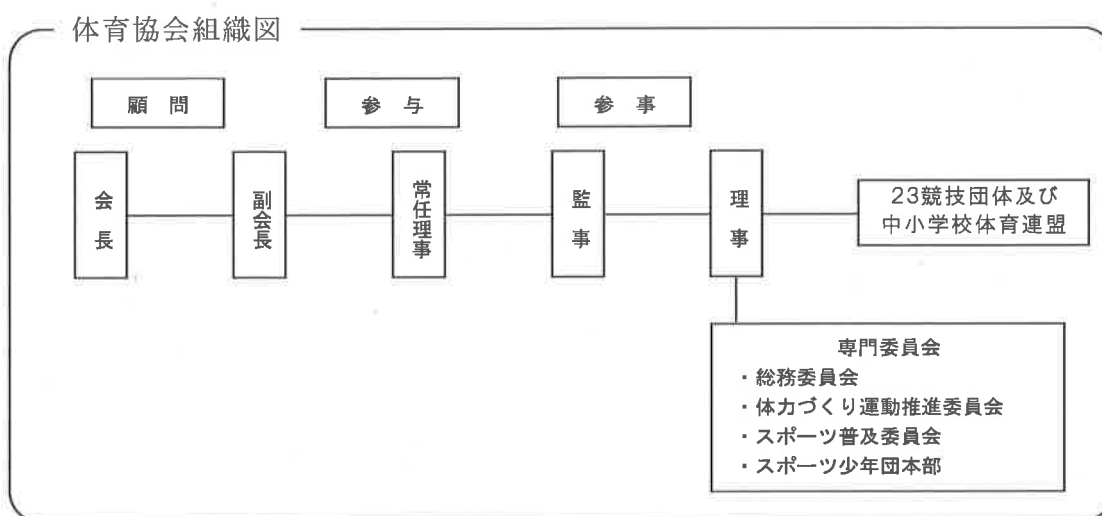
平成28年度の利用者数は119,710人です。

学校開放実施状況（平成29年3月現在）

	開放施設
小学校（20校）	屋内運動場、校庭
中学校（8校）	屋内運動場、柔剣道場、校庭
高等学校（1校）	校庭

(4) 社会体育団体

瀬戸市体育協会（24団体 約9,300人加盟）は「市民スポーツ事業の振興」と「競技力向上、アマチュアスポーツの発展」という2つの目標に向かって、積極的に各種事業の推進を図り、スポーツに対する市民意識の盛り上がりを図るため、関係機関、協会加盟団体と密接に協力して、各種のスポーツ大会を開催し、その実現を期しています。



平成28年度 瀬戸市体育協会主催(共催)大会

競技名	大会数(回)	参加数(人)	競技名	大会数(回)	参加数(人)
陸上競技	1	488	サッカー	11	1,516
ソフトテニス	12	3,322	テニス	10	1,538
軟式野球	24	7,872	バドミントン	5	310
剣道	3	808	ソフトボール	3	409
卓球	16	3,042	ボウリング	10	731
弓道	4	289	ビーチボール	2	362
バレーボール	12	1,270	グラウンドゴルフ	4	713
柔道	2	80			
スキー	-	-			
バスケットボール	7	1,830	合計	126	24,580

※スキー競技は雪不足のため大会中止。

3 スポーツ施設

(1) 施設一覧

	施設名	所在	敷地面積(㎡)	建物床面積(㎡)	規模	竣工
有 料 施 設	体育館	市民公園内	4,809	5,240	第1競技場(1,575㎡) バスケットボール 2面 バレーボール 3面 バドミントン 8面 卓球台 14台 体操全種目 第2競技場(440㎡) バレーボール 1面 バドミントン 2面 卓球台 10台 トレーニングルーム(163㎡)	S54.3.15
	第二体育館				1,773	競技場(910㎡) バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 6面 卓球台 12台 大鏡 トレーニングコーナー(132㎡)
	野球場		20,300	820	両翼 100m、センター 125m 照明施設	S45.11.1
	陸上競技場		28,168	425	400m 単心円トラック 8コース 3,000m 障害池	S48.10.31
	A テニスコート		5,500	129	砂入人工芝舗装 6面 照明施設	S49.10.1
	B テニスコート		3,177		砂入人工芝舗装 4面	S55.3.31
	プール		8,095	460	25m 7コース、50m 9コース 幼児用プール	S46.6.20
	武道館		1,288	630	柔道場 1面 剣道場 2面	S47.11.10
	弓道場		2,167	272	近的(28m)10人立 遠的(60m)5人立	S47.11.10
	窯神グラウンド	磁祖公園内	10,231		両翼 91m センター 100m	S55.10.20
	陶祖グラウンド	陶祖公園内	8,303		両翼 71m センター 80m	S56.9.30
	南公園グラウンド	南公園内	12,000	22	両翼 90m センター 100m 照明施設	S62.3.13
	東公園グラウンド	東公園内	16,000	22	レフト 85m ライト 91m センター 105m	S59.3.14
	東公園テニスコート		4,500	85	砂入り人工芝 4面	H15.3.18
	北グラウンド	北スポーツ	11,500		両翼 92m、センター 105m	H4.3.30
	北テニスコート	施設内	2,780	78	アクリル系樹脂舗装 4面	H4.12.7
	定光寺野外活動センター	鹿乗町地内	27,685	1,908	管理棟、屋外施設(キャンプ場・ 営火場・炊飯場)、トリム施設	S60.7.10
無 料 施 設	ゲートボールコート	市民公園内	824		クレイ舗装 1面	S56.3.15
	ジョギングコース				Aコース(1.5km) Bコース(1.2km)	
	オリエンテーリングコース				10ポイント	
	東公園運動広場	東公園内	4,262		ゲートボール 5面 ミニサッカー 1面	S60.12.6
	トリムコース				1.5km コース	
	オリエンテーリングコース				8ポイント	

(2) 利用方法

2か月先までの申込みを先着順で使用許可しています。ただし、申込みの多いテニスコートと野球場の土曜・日曜及び祝日については、市内在住、在勤又は在学者により構成された登録団体からの申込みを受け、抽選で決定しています。

(3) 平成28年度スポーツ施設等利用状況

施設名		利用者数(人)	備考
市民公園	体育館	205,913	
	野球場	17,533	4月～10月ナイター使用
	陸上競技場	16,927	
	テニスコート	68,408	4月～10月ナイター使用
	プール	21,490	7月・8月使用
	武道館	31,823	
	弓道場	7,857	
	芝生広場	10,746	
窯神グラウンド	5,208		
陶祖グラウンド	8,187		
南公園グラウンド	10,671	4月～10月ナイター使用	
東公園グラウンド	8,224		
東公園テニスコート	14,807		
東公園運動広場	10,606		
北グラウンド	6,670		
北テニスコート	9,422		
パーティセとフィットネスジム	27,891		
合計	482,383	(平成27年度利用者数 454,520人)	

4 定光寺野外活動センター

青少年を中心として、みどり豊かな森での野外生活により自然と親しみ、自然を理解する機会を提供するとともに、団体生活をとおして、規律・協調・友愛・奉仕の精神を体得し、心身共に健全な成長を図ることを目的としています。

平成28年度利用状況

	団体利用			個人利用	合計
	キャンプ	デーキャンプ	その他		
利用者数	5,703人	1,135人	3,029人	6,364人	16,231人

VIII 文化財保護

1 文化財保護活動

(1) 基本方針

文化財は、地域の歴史文化を物語り構成する貴重な資源です。瀬戸特有の歴史文化を大切にし、その魅力をさらに高め、有効に活用することによって、歴史と伝統のある「やきもののまち」に住む住民が、誇りと愛着を持てるまちづくりを進めていくことが重要です。瀬戸市は、瀬戸市歴史文化基本構想に基づき、千年以上のやきものの歴史の積み重ねを時代に活かし、市民とともに新たな魅力を創造します。

(2) 重点目標

- ① 文化財・文化遺産の総合的把握と、その魅力をわかりやすく提示し、市民との価値の共有化に努めます。
- ② 文化財・文化遺産を適切に保存・管理することに努めます。
- ③ 文化財・文化遺産を活用し、地域の活性化に活かしていきます。

(3) 文化財保護審議会

① 任務

審議会は、文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

② 定員及び任期

委員7名 平成27年10月1日～平成29年9月30日

文化財保護審議会委員 平成29年4月1日現在

会 長	亀 井 勝
副 会 長	大 塚 英 二
委 員	加 藤 光 也
委 員	成 田 一 成
委 員	水 野 和 郎
委 員	北 島 み ち 子
委 員	三 輪 邦 夫

(4) 文化財の指定・登録及び指定解除

- ① 市文化財の指定(平成28年度 0件)
- ② 国文化財の指定・登録(平成28年度 0件)

瀬戸市域の指定文化財一覧表

平成29年7月1日現在

区	種	別	指定名称	員数	所在地等	時代	指定年月日
国 指 定	有 形	建造物	定光寺本堂	1棟	定光寺	室町後期	大15. 4. 19
			源敬公(徳川頼貞)廟、焼香殿他	7棟	定光寺	江戸前期	昭12. 8. 25
		工芸	陶製白犬	1軀	深川神社	鎌倉	大元 9. 3
			太刀銘助重	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12
			太刀銘守家	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12
			灰釉多口瓶	1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭50. 6. 12
渥美灰釉芦鶯文三耳壺			1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭51. 6. 5	
陶製五輪塔	1基	愛知県陶磁美術館	平安末期	平 7. 6. 15			
民俗	有形民俗	瀬戸の陶磁器の生産用具 及び製品	3,943点	瀬戸蔵ミュージアム	江戸以降	昭49. 2. 18 昭50. 9. 22	
記念物	史跡	瀬戸窯跡 (小長首陶器窯跡・瓶子陶器窯跡) 志段味古墳群 尾張戸神社古墳	1,510.07 m ² 4,519.72 m ² 270.34 m ²	東白坂町1-1 他 夙山町31番17・24 十軒町845	室町中期ほか 江戸前期 古墳	昭46. 7. 13・平14. 3. 19 平27. 10. 7 平26. 10. 6	
県 指 定	有 形	彫刻	木造阿彌陀如来立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16
			木造十一面観音菩薩立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16
		工芸	御深井釉木瓜形水盥	1口	瀬戸蔵ミュージアム	江戸前期	昭57. 3. 31
			陶製牡丹文経筒外容器	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭59. 2. 27
			猿投灰釉梅壺	1口	愛知県陶磁美術館	平安中期	昭59. 2. 27
			鉄釉巴文瓶子	1口	愛知県陶磁美術館	鎌倉末期	昭59. 2. 27
	御深井釉唐草文双耳水盥	1口	瀬戸蔵ミュージアム	江戸中期	平 4. 2. 28		
考古資料	猿投灰釉梅壺及び平瓶	各1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭59. 2. 27		
無形	工芸技術	陶芸織部・黄瀬戸	1件	保持者 加藤作助		平16. 8. 20	
民俗	有形民俗	陶製白犬コレクション	210軀	愛知県陶磁美術館	室町・大正	昭59. 3. 30	
市 指 定	有 形	建造物	一里塚本業窯	1基	一里塚町27	昭和	昭50. 7. 21
			直入橋	1橋	定光寺町373	江戸前期	昭58. 6. 1
			石燈籠	1基	落合町1	江戸前期	平 4. 2. 21
			石燈籠	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19
			石造鳥居	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19
			洞本業窯	1基	東洞町45 他	昭和	平 7. 2. 13
			石造鳥居	1基	巡音町1	江戸中期	平 8. 2. 9
			古窯 (こがま)	1基	瀬戸染付工芸館	昭和	平 9. 2. 14
			深川神社本殿	1棟	深川神社	江戸後期	平11. 11. 12
		常夜燈	1基	秋葉町100の2	江戸後期	平13. 2. 7	
	彫刻	石造阿彌陀如来坐像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1	
	石造地藏菩薩立像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1		
	絵画	聖徳太子絵伝	4幅	万徳寺	室町中期	平18. 2. 10	
	工芸	六角陶碑	1基	藤四郎町1	江戸末期	昭49. 4. 1	
		永享年銘鐘	1口	深川神社	室町中期	昭57. 3. 1	
		陶質十六羅漢塑像	16軀	宝泉寺	江戸末期	昭57. 3. 1	
		志野焼燈籠	1対	藤四郎町1	明治	平 5. 2. 19	
		織部燈籠	1基	深川神社	江戸後期	平 8. 2. 9	
		染付花唐草文大燈籠	1基	瀬戸蔵ミュージアム	明治	平 9. 2. 14	
		染付花鳥文蓋付大鉢壺	1口	瀬戸蔵ミュージアム	明治	平10. 11. 20	
古瀬戸瓶子		1対	宝泉寺	鎌倉	平17. 2. 10		
古瀬戸瓶子	1対	赤津町85	鎌倉	平25. 3. 18			
典籍	聖徳太子伝	5冊	万徳寺	鎌倉・室町	平18. 2. 10		
	大般若経	155巻	東菱町59-1		平20. 9. 12		
歴史資料	織田信長の制札	1通	窯町63	室町末期	昭53. 11. 1		
	窯屋証文	1通	五位塚町11-541	江戸初期	平 9. 2. 14		
	陶製梵鐘	1口	法雲寺	昭和	平 9. 2. 14		
	祠堂帳	1巻	定光寺	室町	平11. 11. 12		
	笠原村・両半田川村国境争論絵図	1枚	上半田川町・下半田川町	江戸前期	平16. 2. 6		
	松原広長寄進状	1点	万徳寺	江戸	平18. 2. 10		
古文書	加藤善三郎家文書	481点	窯元町80	江戸	平 6. 2. 18		
	加藤新右衛門家文書	140点	窯町63	江戸	平 6. 2. 18		
	松本茂助家文書	711点	穴田町64	江戸	平13. 2. 7		
	菱野郷倉文書	7780点	東菱町59-1	江戸～昭和	平20. 9. 12		

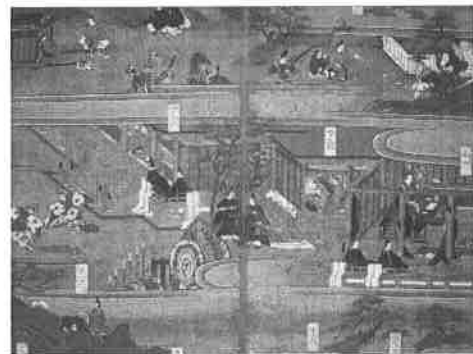
無形	工芸技術	陶芸 黄瀬戸	1件	保持者 加藤兼平		平18. 2.10
		陶芸 織部	1件	保持者 加藤錦三		平18. 2.10
		陶芸 灰釉	1件	保持者 田沼春二		平19. 5.18
無形	工芸技術	陶芸 色絵磁器	1件	保持者 林 邦佳		平19. 5.18
		陶芸 御深井	1件	保持者 加藤喜三郎		平20. 5. 9
		有線七宝	1件	保持者 柴田 明		平22. 6.18
		陶芸 練り込み	1件	保持者 水野教雄		平22. 6.18
民俗	有形民俗	菱野のおでく 品野氏屋敷の神武天皇像および従者像	1体 3体	東菱野町59-1 品野町2丁目40(全宝持屋敷)	江戸~大正 昭和	平17. 2.10 平25. 3.18
	無形民俗	山口の警固祭り 菱野のおでく 警固祭り	1件 1件	八幡町3 山口八幡社内 東菱野町59-1	江戸 江戸	平15. 2. 7 平20. 9.12
記念物	史跡	本地大塚古墳 宮地古墳群 広久手第30号築跡	1基 1,542㎡ 15.7㎡	西本地町1-109 上之山町2-171-15 吉野町320番地	古墳 古墳 平安中期	昭51. 5. 1 平 5. 2.19 平18. 9.27
	名勝	石樋 目鼻石	約750㎡ 約530㎡	水北町1027-2 十車町439		平 4. 2.21 平 7. 2.13
	天然記念物	マルレバタラヨウ マメナシ	1本 1本	中水野町1-579 東松山町154		平 9.11.18 平16. 2. 6

登録文化財

区	種別	指定名称	員数	所在地等	時代	登録年月日
国	建築物	雲興寺 鐘楼 瀬戸永泉教会 礼拝堂 旧山崎商店(備前)・事務所・旧 事務所・土蔵・新小屋・前倉 庫・中倉庫・奥倉庫・塙	1件 1件 9件	白坂町 杉塚町 仲坂町・深川町	江戸中期 明治 明治~昭和	平17.12.26 平22. 4.28 平27.11.17



市指定 広久手第30号築跡 平安時代中期



市指定 聖徳太子絵伝(部分) 室町時代中期



国指定 源敬公(徳川頼直)廟 江戸時代前期



市指定 染付花唐草文大燈籠 明治期

(5) 歴史文化基本構想の策定

瀬戸市域に存在する文化財を、指定・未指定に関らず幅広く捉え、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するため、「瀬戸の学び塾」「まちめぐり」等の市民参加行事を行い、「瀬戸市歴史文化基本構想」を平成29年2月に策定した。

(6) 埋蔵文化財等の調査・普及啓発

① 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の文化財関係事業

ア 発掘調査事業

市内遺跡(塚原古墳群・神川町遺跡)	発掘調査(確認調査)実施
市内遺跡(品野西遺跡(品野町4丁目1086地点))	本発掘調査(集合住宅建設に伴う)実施
市内遺跡(若宮遺跡(若宮町3丁目83地点))	本発掘調査(集合住宅建設に伴う)実施
市内遺跡(神川町遺跡)	本発掘調査(集合住宅建設に伴う)実施
大平窯跡・大平縄文遺跡	
発掘調査(無届掘削工事による遺跡破壊状況の確認調査)実施・報告書刊行	
中水野遺跡	本発掘調査報告書刊行
陶祖公園内窯跡(夕日4・5号窯跡ほか)	本発掘調査等報告書刊行

イ 文化財調査事業

民俗文化遺産(警固祭り標具等)調査	民俗資料調査(国庫補助事業)
-------------------	----------------

ウ 普及啓発事業

1) 企画展

- ① 「新出土品展 中世赤津の窯跡・門前B窯跡と音玄窯跡を中心に」

平成28年7月16日(土)～9月11日(日)

- ② 「織豊期の瀬戸窯と美濃窯」 展示図録刊行「織豊期の瀬戸窯と美濃窯」

平成28年11月19日(土)～1月29日(日) 瀬戸蔵ミュージアム

歴史講演会「織田・豊臣系城郭を考える-城郭構造と窯の分布を中心に-」

: 中井 均氏(滋賀県立大学) 平成28年12月11日(日) 瀬戸蔵多目的ホール

- 2) 市内小学校等への「出前講座」講師派遣8件 西稜・幡山東・陶原・幡山西・品野台・道泉・深川各小学校ほか

(7) 文化財の保存と整備

- ① 国指定史跡小長曾陶器窯跡管理 史跡の管理及び見学等への対応

- ② 国指定特別天然記念物オオサンショウウオの保護、普及啓発

○ 幼生拡散調査の実施 平成28年5月12日、5月25日

○ 人工巣穴清掃の実施 平成28年7月3日

○ 夜間観察会の実施 平成28年7月23日、8月28日、9月17日

- ③ 市指定天然記念物マメナシの樹勢回復事業

天然記念物指定木の樹勢が近年衰えている状況に対し、空を覆う日照障害支障木の強剪定、および根の踏圧障害除去のための通学路付替え・

瀬戸市歴史文化基本構想



平成29年2月
瀬戸市

土壌改良作業を実施した。

④ 国登録文化財旧山繁商店の保存活用計画策定事業に着手

⑤ 国指定重要文化財定光寺本堂保存修理事業への市補助金交付

国庫補助事業として所有者の定光寺が実施する柿葺屋根の全面葺き替えに対し、国・県・市が文化財保存事業として補助金を交付した。平成28年度は、後半より柿葺材を用意・保管し、平成29年度の葺き替え工事準備のため素屋根を架設した。

⑥ 市指定文化財洞本業窯保存事業（所有者による覆屋ほかの補修等工事）への市補助金交付

⑦ 窯垣分布調査 「大学コンソーシアムせと」におけるまちづくり協働プログラム事業として、名古屋産業大学とともに窯垣分布調査と所有者意識調査を実施

(8) 文化財の普及啓発

① 広報せとに「瀬戸の文化財」掲載（毎月1日号）

② 文化財見学会

「せと歴」（せと 歴史と文化財を知る見学会）の実施

「水南のマメナシ界限Ⅰ・Ⅱ」（平成28年4月10日(日)・平成29年3月25日(土)）市指定天然記念物マメナシ ほか



せと歴！「水南のマメナシ界限Ⅱ」

資 料

1 沿革

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 20	1945	8. 7	図書館（蔵所町1）開館		
S. 27	1952	4. 1 6. 16 7. 23 10. 5 11. 1	戦後っ子初の入学式 中央公民館（深川小校舎改造） 設立、図書館を移転し併設開館 南山中学校校舎2棟焼失 県・市教育委員選挙 瀬戸市教育委員会発足（庶務課長 山田栄教育長代行）	4. 16 3. —	瀬戸市保健所竣工 水北保育園開園
28	1953	1. 3 1. — 1. — 7. —	初代教育長 伊藤一雄就任 各小学校区に地区公民館を設置 成人式開催（旧成人祭を改称） 深川小学校 プール竣工	2. — 4. 28 7. — 8. 15 11. 16	赤津保育園開園 上品野町で大火 13 軒全焼、4 軒 半焼 上品野保育園開園 水南保育園苗場町開園 瀬戸医師会が当直制を開始
29	1954			4. 1 6. — 7. 1 8. 13	市営公益質屋開業 幡山東・幡山西保育園開園 瀬戸市及び品野町自治警を廃 し、国家地方警察として再出発 瀬戸青年会議所できる
30	1955			2. 11 5. 28 9. 29	幡山村合併（合併時幡山村人口 5,313人、戸数1,044戸） 八王子保育園開園 瀬戸市青少年問題協議会発足
31	1956	6. — 10. 1	陶原小学校に瀬戸教科書センタ ー設置 教育委員任命制により発足	6. 1 9. —	瀬戸市青年団体協議会結成 古瀬戸保育園開園
32	1957	3. 12 6. 1	市史編さん委員委嘱 第2代教育長 相原邦雄就任	8. 8 11. 1	泉町に集中豪雨による山崩れ発 生 22名死亡、品野町にも被害 市役所庁舎蔵所町から現在地へ 移転竣工
33	1958			8. 10	第1回瀬戸市青年大会
34	1959	1. 16 8. 4 9. 1	下半田川の「木造阿彌陀如来立 像、十一面観音菩薩立像」を県文 化財に指定 瀬戸市立小学校管理規則施行 水無瀬中学校で市内中学校最初 の校舎、鉄筋化が始まる	4. 1 9. 26 10. 1 10. 10	品野町合併（合併時品野人口 9,313人、戸数1,809戸） 伊勢湾台風 市制30周年 市民会館竣工
35	1960	4. 1 5. — 7. 15	陶原小学校に特殊学級（2学級） 設置 雪の聖母修道院・幼稚園創立開園 （私立） 市営共栄プール竣工		
36	1961	3. 31	義務教育諸学校の教科用図書の 無償に関する法律公布	2. 3 7. —	北保育園に市内はじめての鉄筋 園舎竣工 小児マヒ予防生ワク第一回投与

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 36	1961	4. 1	小学校、新学習指導要領に基づく教育実施	12. 6	国鉄岡多線起工式
37	1962	4. 1	中学校、新学習指導要領に基づく教育実施	1. 15 10. 25 12. 20	愛知用水利用の県営水道から市営水道が受水開始 消防庁舎竣工（末広町1） 瀬戸市開発公社許可
38	1963	3. 22 4. 1 9. 3	道泉小学校の小学校初の全鉄筋化校舎竣工 聖カピタニオ女子高等学校開校 市内各中学校でミルク給食開始	5. 1 8. 31	加藤繁太郎市長就任 勤労会館竣工
39	1964	4. 1 7. 14 12. 8	教科用図書無料給付開始 幡山中学校に中学校初のプール竣工 瀬戸文化財保存会発足	4. 1 6. 20 10. 1	瀬戸歯科医師会当直制を開始 瀬戸准看護婦学校校舎竣工 こうはん保育園開園
40	1965	4. 1 10. 1	瀬戸ひなご幼稚園開園（私立） 祖母懐小学校、祖母懐町から移転改築	5. 5	瀬戸市社会福祉会館竣工
41	1966	3. 27 4. 1 7. 10	祖母懐公民館全焼 長根小学校創立開校 図書館、東大演習林学生宿舎を改築し現在地へ移転	12. —	清掃センター竣工
42	1967	4. — 6. 20	名古屋学院大学瀬戸学舎新築、教養部移転（S. 43. 4 全学移転） 「瀬戸市史陶磁史篇三」刊行	5. 24 12. 7	商工会館竣工 市営上水道赤津浄水場竣工
43	1968	3. 30 10. 1	マリア幼稚園開園（私立） 第3代教育長 松浦正雄就任	1. 8	市営水野団地分譲受付開始（さつき台）
44	1969	3. 31 8. 15 9. — 9. 1	中央公民館宮脇町に新築移転 「瀬戸市史陶磁史篇一」刊行 陶原小学校、熊野町から移転改築 図書館起工式	5. 24 10. 1	市の木に「くろがねもち」を選定 市営上水道白岩浄水場竣工 市制40周年
45	1970	3. 31 4. 1 6. 17 10. 1 11. 1	図書館移転改築 原山小学校創立開校 真貴幼稚園開園（私立） 私立聖霊学園（中・高・短）名古屋より現地へ移転 図書館（東松山町1-2）開館 瀬戸市スポーツ施設条例施行 市民公園野球場、バレーボールコート竣工	3. 27 4. 1 8. 13	県営菱野団地入居開始（原山台） 八王子保育園を今村保育園に改称し移転改築 瀬戸市青少年育成市民会館発足
46	1971	1. 19 2. — 4. 1 5. 11 6. 3	南山中学校に中学校初の屋内運動場竣工 品野中学校、品野町から移転改築 教育委員会事務局に体育課設置 瀬戸市学校給食センター条例施行 第一学校給食センター竣工 交通児童遊園（市民公園内）オープン 「自動車文庫せと号」巡回始まる	2. 1 4. 7 4. 8 10. 20	瀬戸市窯業技術センター竣工 窯業専修職業訓練校（現県立窯業高等技術専門校）尾張旭市より移転竣工 瀬戸警察署新庁舎竣工 市内で初の大気汚染測定局陶原町5丁目に竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 46	1971	6. 14 6. 20 7. 13 10. 8	全中学校で学校給食始まる 市民公園プール竣工 小長曾陶器窯跡（東白坂町）が国の文化財に指定 長根小学校に小学校初の屋内運動場竣工		
47	1972	4. 1 8. 1 11. 10	東山小学校創立開校 宿日直制度廃止（学校無人化） 市民公園武道館、弓道場竣工	4. 1 8. 5 9. 1 9. 26	上品野保育園を品野東保育園に改称し移転改築 東海自然歩道足助～定光寺間オープン 下品野保育園を品野西保育園に改称 新消防庁舎竣工（苗場町） 市役所増築工事竣工 人口 10 万人突破（県下 8 番目）
48	1973	4. 1 5. 28 10. 31	萩山小学校・光陵中学校創立開校 菱野幼稚園開園（私立） 品野東公民館竣工 市民公園陸上競技場竣工	4. 1 6. 1 9. 29 10. 1 12. 21	みずの保育園開園 勤労青少年ホームオープン 瀬戸市少年センター発足 瀬戸市基本構想議決 ふたば保育園開園（市内で初の乳児保育） 市営宮川駐車場竣工
49	1974	2. 18 3. 30 4. 1 5. 26 5. 29 8. 1 9. 1 10. 1	「瀬戸の陶磁器の生産用具および製品 3,943 点」が国の重要民俗資料に指定 西陵公民館竣工 教育委員会事務局に教育次長を置く 瀬戸南高等学校開校（瀬戸窯業高等学校定時制から分離併置独立校となる） 瀬戸公園の六角陶碑（陶祖碑）を市の文化財に指定（第 1 号） 幡山東小学校、山口字田中から移転改築 品野公民館竣工 瀬戸市立視聴覚ライブラリー設置 条例施行 八幡小学校創立開校 市民公園テニスコート（南）竣工	3. 1 4. 1 5. 12 5. 29 8. 28 12. 3	瀬戸市土地開発公社発足 瀬戸旭准看護学院創立開校 原山・こうはん南保育園開園 老人憩いの家オープン 蛇ヶ洞浄水場竣工 品野支所新庁舎竣工 晴丘センター竣工 県労働者研修センター竣工
50	1975	2. 27 4. 1	道泉公民館竣工 西陵小学校創立開校 はちまん幼稚園開園（私立） 上品野小学校を品野台小学校と校名変更し移転改築 第二学校給食センター竣工 水野小・水南小・東山小・西陵小・水無瀬中・南山中の 6 校へ配送	11. 17	瀬戸郵便局新局舎竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 50	1975	7. 21 10. 15	幡山東小・品野台小は第1学校給食センター校となる 一里塚町の「本業窯」を市の文化財に指定 瀬戸市歴史民俗資料館竣工		
51	1976	5. 1 9. 10	西本地町の「本地大塚古墳」を市の文化財に指定 瀬戸市学校体育施設スポーツ開放に関する規則施行	4. 1 4. 9 5. 5 5. 6 6. 1	ぼっぼ・萩山保育園開園のぞみ学園開園 瀬戸市友好訪中団中国訪問 自然児童遊園（ねむの森）オープン 瀬戸市西部コミュニティセンター利用開始 公共職業安定所新庁舎竣工
52	1977	3. 23 3. 30 4. 1 11. 3	長根公民館竣工 第4代教育長 加藤朋也就任 教育委員会事務局に学校給食課を設置 瀬戸幼稚園開園（私立） 水野公民館竣工 下品野小学校単独給食開始 下品野小学校（中規模校）昭和52年度学校保健特別優秀賞を受賞し、健康日本一となる	3. 30 3. 31 4. 1 10. 10	水野支所新庁舎竣工 幡山、水野、品野の農協合併し瀬戸市農業協同組合となる ひかり保育園開園 第1回せと市民祭
53	1978	3. — 4. 1 11. 1 12. 11	本山中学校、西印所町から移転改築 県立瀬戸西高等学校創立開校 水南小学校単独給食開始 「信長の制札」を市の文化財に指定（第4号） 幡山公民館竣工	4. 1 4. 19 6. 1 8. 20 12. 11	八幡保育園開園 第2次瀬戸市友好訪中団中国訪問 県陶磁資料館南館オープン 名鉄瀬戸線乗入れ 幡山支所新庁舎竣工
54	1979	3. 15 4. 1 4. 27 5. 2 7. — 12. 15	瀬戸市体育館竣工 市学校事務員、学校より引きあげ始まる メールカー運行開始 水南公民館竣工 市民公園野球場ナイター設備使用開始 4つの小学校でプール完成（下品野、陶原、道泉、幡山東） 東明小学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート（南）夜間照明竣工	4. 1 5. 21 10. 1 10. 9 —	品野南保育園開園 市の花に「つばき」を選定 市制50周年、市民憲章制定タイムカプセルの埋設 記念誌「瀬戸」刊行 景德鎮市陶磁友好訪問団来瀬国際児童年
55	1980	3. 31 4. 1	幡山中学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート（北）竣工 第5代教育長 加藤春夫就任 水野中学校創立開校 古瀬戸・山口公民館竣工	4. 1 6. 26	幡山南保育園開園 赤十字希望の家にベトナム難民入所

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考 考
S. 55	1980	4. 1 10. 20	自動車文庫「せと号」2世が瀬戸ライオンズクラブより寄贈される（外架式書架2,000冊） 水野小学校単独給食開始 窯神グラウンド竣工		
56	1981	3. — 3. 31 4. 1 5. 1 9. 30 10. 21	東明・效範公民館竣工 「瀬戸市史陶磁史篇二」刊行 学校教育課・社会教育課に専任課長配置、社会教育課を中央公民館へ移す 幡山東小学校単独給食開始 学校給食に週2回米飯をとり入れる 陶祖グラウンド竣工 掛川小学校移転用地の造成工事起工	—	国際障害者年
57	1982	1. 12 4. 1	祖母懐公民館竣工 西陵小学校単独給食開始	3. 20 10. 4	品野西保育園新園舎竣工 文化センターオープン
58	1983	3. 20 3. 24 3. 26 4. 1 6. 1 8. —	瀬戸市第二体育館竣工 深川公民館竣工 掛川小学校移転改築 学校教育課に指導主事3名配置 定光寺の「直入橋」を市の文化財に指定 県民大学中央講座（8月13日～9月10日市民会館）	3. 30 8. 1 11. 15	古瀬戸保育園改築 全国高校総体愛知県で開催 シルバー人材センター設立
59	1984	3. 14 3. 30 4. 1 5. 11 5. 20 12. 21	東公園グラウンド竣工 加藤作助氏の「陶芸・織部、黄瀬戸、御深井焼」が県の文化財に指定 県立瀬戸北高等学校開校 下半田川町に本市初の周辺地区小規模集会所竣工 陶原小学校、昭和58年度全日本学校環境緑化コンクール特選（文部大臣賞）を受賞し、緑化日本一となる 東公園に全天候型テニスコート竣工	— 6. 18 11. 3 12. 20	国際婦人年 尾張東地方卸売市場開場 県陶磁資料館で上海博物館所蔵「中国歴代陶磁展」開催 「第3次瀬戸市総合計画基本構想」議決
60	1985	3. 1 3. 5 5. 1	「瀬戸市史資料編一 村絵図」刊行 幡山中学校に初の柔剣道場竣工 原山公民館竣工 瀬戸南高等学校を廃止し瀬戸窯業高等学校定時制となる 片草町の「石造薬師如来坐像・石造地藏菩薩立像」を市の文化財に指定	— 9. 18 11. 28 12. 23	国際青年年 陶生病院改築高層病棟完成 瀬戸少年院全面改築 市議会議員定数削減条例（36人→30人）可決

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 60	1985		掛川小学校プール竣工（市内全小学校にプール設置となる） 定光寺野外活動センター竣工 第1回瀬戸国際青年交流会		
61	1986	1. 10 2. 19 3. 15 3. 15 4. 1 9. 25 10. 9	道泉小学校に屋内運動場竣工 祖東中学校・南山中学校に柔剣道場竣工 萩山公民館竣工 「瀬戸市史資料編二 自然」刊行 教育相談室開設 定光寺野外活動センター市民憲章碑竣工 市民公園陸上競技場に炬火台竣工	— 3. 25 5. 10 9. 5 12. 2	国際平和年 養護老人ホーム「陶寿荘」全面改築 瀬戸市文化協会設立 陶生病院外来棟完成 第3セクター愛知環状鉄道株式会社設置 県陶磁器工業共同組合の技術技能研修センター竣工
62	1987	1. 14 3. 13 3. 24 3. 27 4. 1 4. 18 5. 7 7. 11 11. 3	掛川小学校に屋内運動場竣工（市内全小中学校に屋内運動場設置となる） 南公園グラウンド竣工（ナイター施設完備） 八幡公民館竣工 水無瀬中学校・本山中学校に柔剣道場竣工 図書館電算システム稼働 加藤英一氏の「陶芸・掻き落とし技法」、栗木伎茶夫氏の「陶芸・赤絵技法」、水野双鶴氏の「陶芸・練り込み技法」を市の文化財に指定 定光寺野外活動センターにトリム施設竣工 市民公園に噴水広場竣工 万葉歌碑が図書館の前庭に建立	— 2. 23 5. 1 10. 4	国際居住年 瀬戸市施設管理協会設立 井上博通市長就任 陶生病院全面改築完成
63	1988	3. 2 4. 1 4. 20 10. 1	水野中学校柔剣道場・プール竣工 公民館事務協力員を18館に配置 視聴覚ライブラリーが中央公民館より図書館に移転併設される地区公民館18館において、図書館の貸出始まる 下品野公民館竣工 私立高等学校授業料補助始まる	1. 31 2. 17 7. 28 10. 1	愛知環状鉄道開業 瀬戸市クリーンセンター竣工 瀬戸市活性化ビジョン「瀬戸・いきいきビジョン21」策定 市のシンボルマーク・ロゴタイプ選定
64	1989			1. 7	昭和天皇崩御
H. 元	1989	1. 10 1. 31 3. 29 4. 1 4. 11 7. 10	陶磁器食器を使った給食が道泉・東明小学校で試行開始 埋蔵文化財収蔵施設竣工 品野中学校柔剣道場・特別教室竣工 事務局に文化財課を新設 南山中学校プール竣工 水無瀬中学校プール竣工	1. 8 4. 26 8. 1 10. 1 10. 14	元号を平成と改元 中小企業大学校瀬戸校が開校 八幡池魚釣り場オープン 市制60周年 消防署東分署（品野町1丁目）完成

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 元	1989	8. 1	外国人英語指導助手招致 (ジェニファー・ニカーソン)		
2	1990	3. 29 3. 31 4. 1 4. 8 6. 29 6. 30 8. 1 9. 1 11. 30	光陵中学校柔剣道場・プール竣工 「瀬戸のことば」刊行 第6代教育長 加藤浩松就任 自動車文庫「せと号」3世が瀬戸 ライオンズクラブより寄贈される (内外書架式2,500冊) 三国高原集会所竣工 祖東中学校プール竣工 品野中学校プール竣工 外国人英語指導助手招致 (ポール・マッカーシー) 学校給食に陶磁器食器を古瀬戸 小・下品野小に導入 品野中学校コンピュータ室設置	3. 3 4. 2 4. 18 5. 11	消防緊急情報システム稼働 総合行政情報システム(SERA)稼働 高齢者生きがい活動施設完成 尾張東部衛生組合(晴丘センター)の粗大ゴミ処理施設稼働
3	1991	1. 25 1. 28 3. 25 4. 1 5. 24 8. 1 9. 1 9. 9 9. 21 10. 25 11. 1	加藤舜陶氏の「陶芸・灰釉技法」 を市の文化財に指定 瀬戸生涯学習基本構想策定調査 委員会設置 「瀬戸市近世文書集 第1集」刊 行 事務局に国体準備室を新設 定光寺町民会館竣工 外国人英語指導助手招致 (ローナ・ドゥーハースト) (バンクス・キャメロン) 学校給食に陶磁器食器を陶原 小・水南小・祖母懐小に導入 水無瀬中学校・南山中学校・本山 中学校コンピュータ室整備 臨時学校休業日を設定 「瀬戸市近世文書集 第2集」刊 行 深川公民館増築	2. 13 2. 27 3. 5 3. 19 7. 20 9. 20	瀬戸川文化プロムナードシンポ ジウム開催 赤重集会所完成 消防署南分署(南山口町)完成 今村橋開通 川端歩道橋完成 市のイメージソング「夢ひとつ・愛ひとつ」発表
4	1992	2. 21 2. 28 3. 27 3. 30 3. 31 4. 1 6. 1	落合町の神明社「石燈籠」・水北 町地内の「石樋」、市の文化財に 指定 定光寺の「御深井釉唐草文双耳水 甕」が県の文化財に指定 効範公民館増築 北グラウンド完成 「瀬戸市近世文書集 第3集」刊 行 財団法人 瀬戸市埋蔵文化財セ ンター発足(白山町1-46) 瀬戸市生涯学習基本構想策定	3. 31 4. 1 4. 8 4. 15 7. 24 9. 18 10. 1 10. 31	晴丘センターの新ゴミ処理施設 が完成 観光協会移転(栄町から山脇町) インフォメーションセンター完 成 交通安全都市宣言 山脇橋架け替え 六古窯サミット開催 住民記録管理システム稼働 公立瀬戸旭看護専門学校校舎が 完成

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 4	1992	7. 29	外国人英語指導助手招致 (モーリス・リチャード)		
		9. 1	学校給食に陶磁器食器を深川 小・幡山東小・水野小に導入		
		9. 12	学校5日制がスタート(第2土曜 日学校休業日)		
		10. 6	祖東中学校・光陵中学校・水野中 学校コンピュータ室整備		
5	1993	2. 10	「瀬戸市近世文書集 第4集」刊 行	4. 1	文化振興課を新設
		2. 19	八幡町の八幡神社「石燈籠」・「石 造鳥居」、藤四郎町の「志野焼燈 籠」、上之山町の「宮地古墳群」 を市の文化財に指定	4. 21	福祉保健センター(やすらぎ会 館)オープン
		2. 20	瀬戸市民生涯学習フォーラム '93開催	7. 10	週休2日制スタート
		3. 11	幡山中学校校舎増築竣工(コンピ ュータ室含む)	9. 11	市民サービスセンターオープン
		7. 19	外国人英語指導助手招致 (フッド・クリストファー)	11. 1	新京橋・追分橋完成
		9. 1	学校給食に陶磁器食器を西陵 小・長根小・效範小・幡山西小に 導入		
		9. 4	歴史民俗資料館展示室改修		
		9. 5	光陵中学校図書館を開放		
		9. 30	「瀬戸市史陶磁史篇四」刊行		
		10. 8	水無瀬中学校ギャラリー整備 下品野小学校和室ランチルーム 整備		
		10. 15	東明小学校校舎大規模改造工事		
		11. 19 ~11. 21	わかしゃち国体(リハーサル大 会)		
		12. 20	「瀬戸市史陶磁史篇五」刊行		
		12. 22	水野公民館増築		
6	1994	2. 18	古文書を市の文化財に指定(加藤 唐三郎家、加藤新右衛門家)	3. 25	第4次瀬戸市総合計画基本構 想」議決
		2. 24	「瀬戸市史陶磁史篇4・5」刊行 生涯学習市民講師リスト発行	4. 1	個人情報保護制度発足
		3. 18	市指定無形文化財保持者「陶芸・ 灰釉技法」の加藤舜陶氏が県無形 文化財「陶芸・灰釉系技法」保持 者に認定	6. 14	21世紀万国博覧会基本構想まと まる
		3. 30	「瀬戸市近世文書集 第5集」 刊行	9. 14	景德鎮陶瓷展開催
		4. —	公民館生涯学習委託事業開始		
		5. 14	水野小学校図書館を開放		
		5. 23	余裕教室等活用検討委員会設置		
		7. 14	幡山中学校プール竣工		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 6	1994	7. 18 7. 27 8. 1 8. 31 9. 30 10. 30 ~11. 2 12. 1 12. 18	生涯学習推進連絡調整会議設置 外国人英語指導助手招致 (スチープン・チャンピオン) (マヒュー・パー) 図書館と県図書館とのオンライン稼働 中学校(2校)管理諸室空調設備整備 祖東中学校校舎大規模改造工事 わかしゃち国体開催 (ウエイトリフティング) 品野台小学校移転建設事業 基本設計業務委託 国際家族年講演会開催	11. 一	瀬戸市健康の道完成
7	1995	2. 13 3. 4 3. 21 4. 1 6. 15 6. 30 9. 29	東洞町の「洞本業窯」、加藤靖彦氏(陶芸・瀬戸染付技法)、水野川の「目鼻石」を市の文化財に指定 '95せと女性のつどい開催 子ども名作シアター開催 学校5日制(第2・4土曜日学校休業日) 原山小・東山小単独給食開始 同時に陶磁器食器を導入 愛知県陶磁資料館収蔵「陶製五輪塔」国の重要文化財に指定 中学校(6校)管理諸室空調設備整備 品野台小学校移転建設事業実施 設計業務委託	1. 17	阪神・淡路大震災発生
8	1996	2. 一 2. 9 3. 1 3. 2 3. 31 4. 1 4. 15 7. 4 7. 27	SETOウィンディ vol.1 発行 (市民向け女性問題啓発冊子) 巡間町大目神社の「石造鳥居」 深川神社の「織部燈籠」を市の文化財に指定 図書館50年誌発刊 '96せと女性のつどい開催 「近世の瀬戸」刊行 第二学校給食センター第一学校給食センターに統合 第二学校給食センターを8・9年度2か年継続事業で増改築 萩山小・八幡小単独給食開始 同時に陶磁器食器を導入 水無瀬中学校校舎大規模改造設計委託 小学校(5校)管理諸室空調設備整備 外国人英語指導助手招致 (ペッツ・マヒュー)	1. 一 5. 18 10. 11	市庁舎5・6階増築 瀬戸市斎苑完成 景德鎮市と友好提携

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 8	1996	8. 8 ～8. 22 10. 11 12. 13 12. 25	中学生国際交流事業 (ニュージーランド中学生派遣) 図書館コンピューターシステム 更新(第2次) 瀬戸市立小・中学校通学区域問題 検討委員会設置 品野台小学校移転建設(敷地造 成)工事着工		
9	1997	2. 一 2. 14 3. 1 4. 1 5. 8 5. 22 6. 19 6. 30 7. 30 8. 10 ～8. 18 9. 27 ～10. 6 11. 18	SETOウィンディ vol. 2 発行 (市民向け女性問題啓発冊子) 西郷町の「古窯」、歴史民俗資料 館収蔵「染付花唐草文大燈籠」、 五位塚町加藤糸美家の「窯屋証 文」、深川町法雲寺の「陶製梵鐘」 を市の文化財に指定 ' 97 せと女性のつどい開催 外国人英語指導助手招致 (スティーブン・ウォール) 東山小学校プール等建設工事設 計業務委託 水無瀬中学校校舎大規模改造工 事着工 小学校(5校)プール温水シャワ ー改修工事 小学校(5校)管理諸室空調設備 整備 外国人英語指導助手招致 (カルバー・アニカ) (シード・カレン) 中学生国際交流事業 (中国景德鎮市他派遣) 中学生国際交流事業 (ニュージーランド中学生受け 入れ) 加藤鈿氏の「陶芸・鉄釉技法」、 三社大明神社の「マルバタラヨ ウ」を市の文化財に指定	4. 一 4. 23 6. 12	やすらぎ会館増設 瀬戸市国際センター設立 2005年国際博覧会瀬戸市開催決 定
10	1998	2. 1 2. 28 3. 一 3. 30 3. 30 4. 一 4. 1	陶原・道泉・水野小学校にコンピ ュータ教室整備 ' 98 せと女性のつどい開催 SETOウィンディ vol. 3 発行 「瀬戸市近世文書集 第6集」 刊行 「瀬戸市史陶磁史篇6」刊行 学校給食センター完成(日の出 町) センター校全校陶磁器食器を導 入 学校教育課に指導主事4名配置	4. 20 5. 28 ～5. 31 6. 一 10. 28	名誉市民に長江禄彌氏(彫刻家 で日本芸術員会員 世界ガラスアートの祭典開催 「緑の基本計画」策定 「新行政改革実施計画」策定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 10	1998	4. 1 6. — 7. 3 ～7. 6 7. 29 8. 6 ～8. 17 9. — 10. — 11. 20	「瀬戸市史通史篇」編さん開始 小学校（4校）プール温水シャワー改修工事 小学校（4校）管理諸室空調設備整備 中学生国際交流事業（中国景德鎮市中学生受入） 外国人英語指導助手招致（イアン・ウォーカー）（ウィンクリー・キャサリン） 中学生国際交流事業（ニュージーランドへ中学生派遣） 図書館情報化・活性化推進モデル地域として指定 心の教室相談員配置 加藤伸也氏「陶芸織部・黄瀬戸」、歴史民俗資料館収蔵「染付花鳥図蓋付大飾壺」を市の文化財に指定		
11	1999	2. 1 2. 26 3. 6 3. — 3. 24 4. — 4. 1 4. 2 6. — 6. 1 8. 7 ～ 8. 16	下品野小学校にコンピュータ教室整備 瀬戸市立小・中学校通学区域問題検討委員会を瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会に改称 長根公民館増築 '99せと女性のつどい開催 SETOウィンディ VOL. 4 発行 品野台小学校、上品野町内で移転改築 市内で初めて、壁の仕切がないオープンスクールを導入 学校給食課の事務を給食センターに移管 課を廃止 オアシスメイト配置 創造的人材育成事業 ふるさと文化伝承事業 日本語指導者派遣事業開始 教育委員会事務局教育次長の職名を教育部長に変更 第7代教育長 大澤義洋就任 小学校（2校）プール温水シャワー改修工事 小学校（3校）管理諸室空調設備整備 品野台小学校にコンピュータ教室整備 中学生国際交流事業（中国景德鎮市他へ16名の中学生派遣）	4. 1 5. 1 5. 28 9. 30 10. 1 12. 6	尾張旭、豊明、瀬戸、愛知東郷、日進、長久手の農協が合併し、あいち尾東農業協同組合となる 増岡錦也市長就任 新世紀工芸館「土夢創舎（トムソーヤ）」がオープン 陶生病院南棟増築工事完成 市政70周年 戸籍電算化事業（運用開始）

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 11	1999	9. 29 ～10. 3 10. 1 11. 12 11. ー	中学生国際交流事業 (ニュージーランドから中学生 受け入れ) ジョンさんと森の生活体験実施 定光寺の「祠堂帳」、深川神社の 「深川神社本殿」を市の文化財に 指定 マルチメディア活用学校間連携 推進事業の地域として指定		
12	2000	2. 1 3. 25 3. 4 3. ー 3. 31 4. ー 4. 15 6. ー 6. ー 7. 1 8. 1 8. 3 10. 1 10. ー	特殊教育推進協議会研究発表会 (愛知県教育委員会特殊教育推 進地区指定) 小学校(9校)にコンピュータ 教室整備 2000 せと女性のつどい開催 SETOウィンディ VOL. 5 発行 中学校(8校)にコンピュータ教 室整備(更新) 「瀬戸市近世文書集 第7集・ 尾張藩山林支配と林奉行所」 刊行 特色ある学校づくり事業開始 瀬戸市マルチメディア伝承工芸 館—瀬戸染付研修所—開館 小学校2校プール温水シャワー設 置 小学校3校管理諸室空調設備整備 中学生国際交流事業(中国景德鎮 市の中学生受け入れ) 学校給食センター調理業務委託 実施 中学生国際交流事業(ニュージー ランドへ16名派遣) 小中学校14校警備業務委託開始 小学校(6校)にコンピュータ 教室整備 市民学びセミナー開始 小中学校コンピュータ教室イン ターネット接続	6. ー 7. ー 10. 1 12. 15	「瀬戸市環境基本計画」策定 衆議院議員総選挙・最高裁判所 裁判官国民審査 (仮称)「瀬戸市やきもの博物 館基本構想」策定 第17回国勢調査 2005年国際博覧会登録承認され る
H. 12	2000	11. 1 11. 21	男女共同参画に関する市民意識 調査 加藤鈿氏の「陶芸・鉄釉技法」県 の文化財に指定		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
13	2001	1. 5	図書館BDS（図書盗難防止装置）導入 図書館コンピュータシステム更新（第3次）	2. 28	環境ISO14001取得
		2. 1	図書館ホームページ開設 同インターネット予約受付開始	3. —	「第4次瀬戸市総合計画改訂基本計画」策定
		2. 7	秋葉神社の「常夜燈」と「松本茂助家文書」を市の文化財に指定	3. —	「瀬戸市児童育成計画」策定
		2. 22	瀬戸市立小学校適正配置等協議会設置（平成13年に8回開催）	4. 1	瀬戸市情報公開条例施行
		3. 3	生涯学習フォーラム2001	4. 14	尾張瀬戸駅新駅舎完成
		～4	2001女性のつどい開催	6. 23	EXPO市民サロンオープン
		3. 31	「瀬戸市史民俗調査報告書一幡山・今村地区」刊行	6. 26	瀬戸市行政経営委員会発足
		3. —	SETOウィンディVOL.6発行	6. 30	瀬戸市地域イントラネット開通
		4. —	特色ある学校づくり事業	7. 23	地上デジタル放送タワー誘致決定
		4. —	学校評議員調査研究事業開始	7. 29	第19回参議院議員通常選挙
		4. 1	社会教育課を生涯学習課に改称	9. 1	無風庵の改築完成
		5. 1	小中学校(14校)警備業務委託開始	9. 11	アメリカ同時多発テロ発生
		6. —	小中学校(4校)プール温水シャワー設置	10. 26	総務省テレトピア構想モデル地域に指定
		8. —	図書館集会室増築	12. 3	2005年日本国際博覧会基本計画発表
		8. 5	中学生国際交流事業（中国へ16名派遣、ニュージーランドの中学生受け入れ）		
		10. 31	原山小学校校舎大規模改造完成		
		10. 25	瀬戸の教育を創造する市民会議設置（平成13年に2回開催）		
		11. —	生涯学習課ホームページ開設		
14	2002	1. 15	第9回瀬戸市立小学校適正配置等協議会開催（平成14年に4回開催）	2. 18	瀬戸市行政経営委員会答申
		1. 18	せとドリーム事業「宇宙飛行士毛利さんと夢を語る会」開催（宇宙飛行士毛利衛さん、角野直子さんが、子どもたちと宇宙の夢を語る）	2. 26	尾張瀬戸駅再開発ビル基本設計発表
		1. 29	第3回瀬戸の教育を創造する市民会議開催（平成14年に6回開催予定）	3. —	陶の路「暮らしっくストリート」 「小狭間坂」完成
		3. 2	2002せと女性のつどい開催	3. 31	北丘最終処分場完成
		3. —	SETOウィンディVOL.7発行	4. —	完全学校週5日制が始まる 「瀬戸市行政経営導入計画」策定 「瀬戸市デジタルリサーチパーク整備計画」素案発表 「瀬戸市地域情報化計画」策定 「瀬戸市母子保健計画」改訂版策定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 14	2002	—	市内各所で I T 講習会を開催 (H13.4~14.2) 市民約 4,000 人が受講	4.—	陶祖公園「竹露庵」改築オープン
		3.—	山口公民館増築	6. 6	「瀬戸テレビ放送所(仮称)起工式
		4. 1	学校給食配膳業務一部民間委託化(1小学校・6中学校を委託)	7. 4	「瀬戸市市民活動促進基本施策」策定
		5.—	瀬戸市男女共同参画プラン策定	8. 5	住民基本台帳ネットワークシステム一部稼働
		7.—	「市立小学校適正配置等協議会」より答申	9.30	市民会館閉館
		7.—	教育アンケート実施(対象:市民・児童・生徒・教職員)	10.12	瀬戸市・リモーージュ市産業交流使節団訪仏
		8.30	「瀬戸市史民俗調査報告書二 水野掛川地区」刊行	10.12	第26回せと市民祭
		10.—	水野中学校運動場の夜間照明の完成によりスポーツ開放を開始	10.17	「愛・地球博」起工式(愛知青少年公園)
		12.—	絵本を通して親子のふれあいを深めるブックスタート運動開始	12.—	市議会本会議のインターネット中継開始
15	2003	2. 7	「陶芸・灰釉技法」を市文化財に指定し、その保持者として鈴木八郎氏が認定され、「山口の警固祭り」を市文化財に指定し、その保持団体として「山口警固保存会」が認定	2. 2	愛知県知事選挙
		2.15	公民館50周年記念フェスティバル開催	3.—	瀬戸市デジタルリサーチパークセンター完成
		~2.16		3.—	「いきいき瀬戸21」策定
		2.27	第2回せとドリーム事業「シドニーオリンピック金メダリスト田村亮子選手と夢を語る会」開催	3.10	尾張瀬戸総合改善事業竣工
		3. 8	祖母懐公民館竣工式(2月移築)	3.20	「瀬戸蔵」施設設計発表
		3.27	「瀬戸の教育を創造する市民会議」より答申	3.21	本郷橋開通
		4.—	単独校学校給食一部民間委託化の実施(深川小学校・品野台小学校)	5.22	瀬戸市デジタルリサーチパークセンター竣工式
		4.—	学校給食配膳業務委託化1中学校追加実施(幡山中学校)	6. 4	瀬戸の歴史や文化、暮らしなどを伝える代表的な風景を集めた「瀬戸100景」を決定
		4.—	定光寺野外活動センター敷地内に展望塔完成	6.11	皇太子殿下、愛・地球博会場予定地をご視察
		6. 3	瀬戸市と市内及び近隣の六大学との間で、「大学コンソーシアム(連携)せと」の包括協定を締結	6.18	愛・地球博会場名を「長久手会場」、「瀬戸会場」に正式決定
		7.12	道泉、陶原、水野の3小学校のコンピュータ教室用のパソコン等を整備(更新)	7.14	「瀬戸蔵」起工式
		9.25	市内小中学校の給食献立に「世界の料理」を加え、愛・地球博開催まで毎月一回シリーズ化	7.23	名鉄尾張瀬戸駅前ビル「パルティせと」起工式
		9.30	「瀬戸市史民俗調査報告書三 赤津・瀬戸地区」刊行	8. 2	「瀬戸市ノベルティ・こども創造館」オープン
				8. 2	「瀬戸市資源リサイクルセンター」オープン
				9.25	愛・地球博の前売り入場券販売開始
				10.23	東海環状自動車道潮見トンネル(瀬戸市白岩町~岐阜県笠原町深山)上り線貫通式
				11. 8	「愛・地球博開幕500日前記念イベント」瀬戸市内で開催
				11.18	瀬戸市とリモーージュ市(フランス)との間で姉妹都市提携調印

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 15	2003			12. 1	中京圏で地上波デジタル放送開始
16	2004	1. 31	「瀬戸市史資料編四 近世」刊行	3. 20	県道愛知青少年公園線の「瀬戸菱野トンネル」開通
		1. —	「惣作・鐘場遺跡」から瀬戸で初の城館跡が出土	3. 25	「愛・地球博開幕 1 年前イベント」開催（名古屋市東区・オアシス 21）
		2. 6	上半田川・下半田川両自治会が所有する「笠原村・両半田川村国境争論絵図」を市文化財に、水南小学校敷地内にある「マメナシ」の木を市天然記念物に指定	4. —	県教育委員会が H16 年度から「小中連携」研究校を瀬戸市、知多市、額田町 3 地域で小中各 1 校の計 3 組を指定
		2. 9	教師の指導を補助するボランティア「学校サポーター」を募集開始	4. 1	瀬戸市の人口 2 年連続で減少（131,944 人）
		2. 19	「瀬戸の教育創造をすすめる会」を文化センターで開催	4. 1	愛・地球博の全期間入場券を販売開始
		3. 4	同会をやすらぎ会館で開催	4. 1	フランスのリモージュ市に瀬戸事務所を開設
		4. 1	「瀬戸市歴史民俗資料館」が来年オープン予定の「瀬戸蔵ミュージアム」へ展示物を移設準備するため休館	4. 21	チュニジアのナブール市と姉妹都市提携調印
		4. —	本山中・道泉小・深川小の 3 校が県教委より「小中連携研究校」に指定	9. 30	愛・地球博瀬戸会場で大陶壁の設置作業が着々と進行
		4. 28	「大学コンソーシアム（連携）せと」のカレッジ講座開講	10. 7	皇太子殿下、愛・地球博の名誉総裁として万博会場を再視察
		6. 9	「地域別 瀬戸の教育創造をすすめる会」を 8 中学校区で 7 月まで順次開催	10. —	「やまて坂」、「みずの坂」等の市有財産 41 区画の宅地を売却するため一般公募
		8. 15	総合型地域スポーツクラブ「品野スポーツクラブ」発足	11. 10	チュニジアの政府代表が来訪
		8. 20	加藤伸也氏の「陶芸・織部・黄瀬戸」が県の文化財に指定	11. 16	姉妹都市フランス・リモージュ市へ訪問団派遣
		9. —	品野中学校運動場に夜間照明が完成	11. 21	川平町の「定光寺ほたるの里」増設整備完了
		9. —	H. 18 年度から市内全小中学校を対象に「隣接学校選択制」を導入することを決定（品野台小学校は「特認校」）	11. 27	東名高速道路と愛知万博長久手会場を結ぶ「名古屋瀬戸道路」が開通
		10. 1	「大学コンソーシアム（連携）せと」結成の連携事業により、瀬戸市立図書館で近隣六大学の蔵書が利用可能となった	12. 14	陶原町に資源ごみのリサイクルセンターがオープン
		10. 29	「瀬戸市史民俗調査報告書四 品野地区」刊行	12. 15	瀬戸市文化センター美術展示ホールが瀬戸市美術館に改称
17	2005	2. —	パルティせと（4 階）に生涯学習課・情報ライブラリー設置	2. 19	栄町に「パルティせと」オープン
		2. 3	小中学校行事による愛・地球博の入場料負担を決定	2. 27	愛・地球博瀬戸会場にやきものモニュメント「天水皿」の竣工
				3. 3	せと・やきもの世界大交流無料回遊バス運行ルート決定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考		
H. 17	2005	2. 10	宝泉寺が所有する「古瀬戸瓶子」を市文化財に、菱野文化財調査保存会が所有する「菱野のおでく」を市文化財に指定	3. 16	国内最大の招き猫博物館「招き猫ミュージアム」が開館		
		2. 28	瀬戸市史「資料編三 原始・古代・中世」を刊行	3. 19	蔵所町に「瀬戸蔵」オープン		
		3. —	瀬戸市教育アクションプラン策定	3. 19	東海環状自動車の豊田東—美濃関が開通		
		3. 19	瀬戸蔵(2階～3階)内に瀬戸蔵ミュージアム開館	3. 25	愛・地球博開幕、「瀬戸市の日」開催		
		4. 1	「隣接学校選択制」の試行	3. 28	名古屋工業大学とセラミック研究連携のため協定書調印		
		4. 1	幡山東小・長根小の学校給食調理業務委託化	3. 28	コンゴ政府代表が来訪		
		4. 6	瀬戸市名誉市民の日本芸術院会員長江録弥氏(川崎市在住)が逝去	3. —	瀬戸旭準看護学院閉校		
		5. 29	瀬戸市無形文化財保持者(陶芸・灰釉技法)の鈴木八郎氏が逝去	4. —	せとっ子未来計画策定		
		6. 24	愛知県無形文化財保持者(陶芸・灰釉系技法)の加藤舜陶氏が逝去	4. —	瀬戸市特定事業主行動計画策定		
		7. 25	全日本ジュニアテコンドー選手権大会・女子バンタム級で幡山中学校・間瀬有梨佳さんが優勝	4. 3	名鉄瀬戸線開通100周年		
		8. 21	和道会ワールドカップ国際大会で古橋卓也さんが男子個人形の部で優勝	5. 2	中国・景徳鎮市長が来訪		
		12. 26	白坂町の雲興寺鐘楼が国の登録文化財(建造物)に登録される	5. 25	瀬戸市福祉マップを作製、配布		
		18	2006	2. 5	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	6. 22	チェルニシア・ナブル市長が来訪
				2. 10	「陶芸・黄瀬戸」「陶芸・織部」を無形文化財に指定し、その保持者に加藤廉平氏及び加藤錦三氏を認定。また、有形文化財に万徳寺の「聖徳太子絵伝」4幅、典籍「聖徳太子伝」5冊と「松原広長寄進状」1点を指定	7. 8	フランス・リモージュ市長が来訪
2. 28	「瀬戸市史資料編五 近現代1」及び「瀬戸市史 民俗編」発刊			7. 12	天皇、皇后陛下が愛・地球博の長久手、瀬戸両会場を訪問		
4. 1	「隣接学校選択制」の施行			8. 28	愛・地球博で2度目の「瀬戸市の日」開催		
4. 1	陶原小の学校給食調理業務委託化			9. 13	韓国・利川市長が来訪		
4. 15	世界ジュニアテコンドー選手権大会			9. 25	愛・地球博閉幕		
4. 15	日本代表選考会バンタム級で聖カピタニオ高校 間瀬有梨佳さんが優勝			9. —	県が海上の森を自然環境保全地域に指定する新条例を検討		
				10. 5	愛・地球博のマスコットキャラクター、モリゾーとキッコロが瀬戸市海上の森に特別住民登録		
				11. 1	瀬戸蔵に「産業支援センターせと」が開設		
				2. 19	瀬戸市名誉市民の元市長加藤繁太郎氏が逝去		
				3. 15	コミュニティFM局開設		
				3. 31	フランスのリモージュ瀬戸事務所を閉鎖		
				3. —	「瀬戸市第5次総合計画」策定 「瀬戸市地域福祉計画」策定 「瀬戸市行政改革集中改革プラン」策定		
				4. 1	赤津保育園、品野南保育園休園		
		4. 1	市消防本部初の女性消防士誕生				
		4. 1	陶原小学校内に「せとっ子モアスクール」開設				
		4. 20	韓国・利川市と姉妹都市提携締結				
		4. 24	「海上の森」の一部が「愛知県自然環境保全地域」に指定				

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 18	2006	6. 16～ 9. 15 6. 30～ 6. 23 6. 26 7. 23 7. 28 8. 20～ 9. 27 10. 1 10. 7 10. 9 11. 17 11. 19	幡山・光陵中学校屋内運動場耐震補強工事 東山小学校校舎増築・耐震補強工事（～H19. 8. 17） 瀬戸市教育アクションプラン推進会議発足 「市理科教育研究会」が環境省水・大気環境局長より水・土壌環境保全功労者表彰 全日本ジュニアテコンドー選手権大会で效範小学校 黒田温さんが優勝 東明小学校が中国・内モンゴルへ訪問団を派遣 中学生訪問団が姉妹都市フランス・リモージュ市へ 「広久手第 30 号窯跡」市史跡に指定 パルティセと・情報ライブラリーで図書等の貸出開始 品野台小学校に「地域図書館」開設 あいち共同利用型施設予約システムでのスポーツ施設利用予約開始 「まるっとせとっ子フェスタ～19 2006」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催「いじめ」の根絶を訴える緊急アピール発表	9. 25 10. 15 11. 一 12. 23	「あいち海上の森センター」開所 「せとっ子ファミリー交流館」開館 瀬戸市文化協会創立 20 周年 コミュニティバスの試験運転開始
19	2007	1. 8 3. 27 4. 一 4. 25 5. 18 6. 29～ 9. 14 6. 29～ 7. 1 7. 6	南山中学校男子卓球部、全国中学選抜卓球大会県予選会で優勝 「瀬戸市史通史編 上」発刊 「瀬戸市史資料編六 近現代 2」発刊 效範小・原山小の学校給食調理業務委託化 全国学力・学習状況調査実施 「陶芸・灰釉」「陶芸・色絵磁器」を市無形文化財に指定し、その保持者に田沼春二氏及び林邦佳氏を認定 水野小学校屋内運動場耐震補強工事 西稜小学校校舎増築・耐震補強工事（～H20. 3. 14） 市民公園陸上競技場芝張替工事完成 中国景德鎮市から中高生訪問団	2. 4 3. 一 4. 1 4. 8 4. 22 5. 24 7. 29 9. 1	愛知県知事選挙 幡山保育園休園 自治法改正により助役を廃し副市長を設置 愛知県議会議員選挙 市長・市議会議員選挙 瀬戸商工会議所創立 60 周年 参議院議員選挙 道泉小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
H. 19	2007	7. 6	中国景德鎮市から中高生訪問団		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		7.10～ 9.28 8.30 10.3 11. — 11. 9 11.11 11.18 12. — 12.21 ～	来訪 祖東・水野中学校屋内運動場耐震補強工事 総合型地域スポーツクラブ「水野・西陵いきいきクラブ」発足 本山中学校の姉妹提携校オーストラリア・ロビル・セカンダリー・カレッジ 生徒来訪 ニュージーランド・オークランド市の中学生来訪、水野中学校・祖東中学校で交流 「まるっとせとっ子フェスタ～112007」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 陶原小学校体育館火災 八幡小学校キャリア教育「お店を出そうプロジェクト」で文部科学大臣表彰受賞 陶原小学校屋内運動場解体工事（～H20.2.18）		
20	2008	2.18 2.29 3. — 3. — 3.31 4. 1 4. 1 4. — 4.22 5. 7 5. 9 6.20～ 9.19 6.20～ 10.10	中国・内モンゴル自治区フフトカ市カイワジ小学校児童が東明小学校を訪問 市立小学校（20校）に防犯カメラ設置 西陵小学校校舎増築・耐震補強工事 図書館耐震補強・アスベスト撤去・トイレ・駐車場等改修工事 補助執行事務に関する協定書の締結（社会教育・社会体育関係の事務を追加） 教育委員会組織の一部改編（学び課と交流課を統合） 図書館開館時間の変更及び受付業務の委託開始 「子ども読書活動推進計画」策定 全国学力学習状況調査実施 愛知県立大学とボランティア学生派遣に関する協定を締結 「陶芸 御深井」を市無形文化財に指定し、その保持者に加藤唐三郎氏を認定 幡山中学校運動場照明設置工事 水無瀬・本山中学校屋内運動場耐震補強工事	1. — 3. 1 3.25 3.25 4. 1 7.21 8. — 10. 1	瀬戸市体育協会設立 60 周年 町名設定（東山町） 緊急防災放送システム完備 レジ袋の有料化（市内一部店舗）スタート 教育三法（学校教育法・地方教育行政の組織及び運営に関する法律・教育職員免許法及び教育公務員特例法）の改正 陶原小学校・道泉小学校プール開放実施 「男女共同参画推進会議」・「男女共同参画推進委員会」設置 八幡小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
H. 20	2008	6.23～	南山中学校大規模改造・耐震補強		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		6. 23～	工事（～H21. 9. 30） 萩山小学校・瀬戸養護学校大規模 改造及び耐震補強工事（～ H21. 12. 25）		
		6. 27～	水南・幡山西・原山小学校屋内運 動場耐震補強工事		
		9. 19			
		9. 12	「菱野おでく警固祭り」を市無形 民俗文化財に指定		
		9. 12	「古文書 菱野郷倉文書」・「典 籍 大般若経」を市指定有形文化 財に指定		
		10. 1	教育委員の定数を増員（5名から 7名に増員）		
		10. 4	光陵中学校に「地域図書館」開設		
		11. —	「瀬戸市教育委員会の活動の自 己点検・評価報告書」公表		
		11. 6	「まるっとせとっ子フェスタ ～9		
		11. 9	2008」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」 開催		
		12. —	「瀬戸市立学校施設耐震化計画」 策定		
21	2009	1. 30～	陶原小学校屋内運動場敷地造成	2. 28	とうめい新聞廃刊
		7. 17	工事	3. 20	「瀬戸万博記念公園（愛・パー ク）」オープン
		3. 27	「塚原古墳群発掘調査報告書」刊 行	4. 1	深川保育園・今村保育園休園
		3. 31	「紺屋田A窯跡発掘調査報告書」 刊行	4. 1	養護老人ホーム「陶寿荘」民間 に移管
		3. 31	「特別天然記念物オオサンショウ ウオ生息分布調査報告書」刊行	4. 20	定額給付金振込開始
		4. 1	東山小の学校給食調理業務委託 化	6. 24	市内で新型インフルエンザ患者 確認
		4. 21	全国学力・学習状況調査実施	8. 5	市制施行 80 周年記念「まるっ と・せとっ子議会」開催
		5. 14～	陶原小学校屋内運動場新築工事 （～H22. 1. 15）	～6	
		5. 20～	道泉小学校校舎耐震補強工事	9. 30	J Rバス一般路線撤退
		10. 23		10. 1	瀬戸市制施行 80 周年
		5. 20～	幡山中学校校舎耐震補強工事	10. 1	長根小学校内に「せとっ子モア スクール」開設
		10. 23			
		6. 19～	東山・八幡小学校屋内運動場耐震 補強工事		
		9. 18			
		7. 6	景德鎮市中学生訪問団来訪		
		～8	祖東中学校で交流		
		10. 3	西陵小学校に「地域図書館」開設		
		11. 12	「まるっとせとっ子フェスタ ～15		
		11. 15	2009」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」 開催		
H. 21	2009	11. 15	萩山小学校・瀬戸養護学校環境整		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		～	備工事（～H22.3.29）		
22	2010	2.26 3.— 4. 1 4. 9 4.20 4.23 4.28 5.12 6.11～ 10.29 6.18 6.18 7.30 ～8. 7 8. 4 ～13 10. 9 11.11 ～14 11.14	陶原小学校体育館竣工式 瀬戸養護学校竣工 瀬戸市立瀬戸養護学校（さくらんぼ学園）設立 幡西小の学校給食調理業務委託化 開校式及び入学式を挙行 全国学力・学習状況調査を抽出校において実施 瀬戸市立図書館「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣賞を受賞 「瀬戸永泉教会礼拝堂」を登録有形文化財として登録 「瀬戸市史通史編 下」発刊 陶原小学校耐震補強工事 祖母懐小学校耐震補強工事 水野小学校耐震補強工事 長根小学校耐震補強工事 「工芸技術 有線七宝」を市無形文化財に指定し、その保持者に柴田明氏を認定 「工芸技術 陶芸 練り込み」を市無形文化財に指定し、その保持者に水野教雄氏を認定 本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣 水野小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとっ子フェスタ2010」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	3.25 7.11 7.21 10. 3 10.— 10.— 10. 1	「新大橋」架け替え工事 「新共栄橋」へ名称変更 参議院議員選挙 八幡小学校プール開放実施 西陵地域交流センターオープン 収納コールセンター開設 瀬戸市景観計画策定 原山小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
23	2011	3. 6 4. 1 5.— 6. 1 6.1～ 6.8～ 11.11	スポーツ功労者表彰 新学習指導要領の実施 西陵小の学校給食調理業務委託化 東日本大震災による被災児童・生徒のホストファミリー募集開始 下品野小学校蛇ヶ洞浄水場見学 効範小学校校舎増築・耐震補強工事（～H24.3.16） 八幡小学校校舎耐震補強工事	3. 1 3.26 4. 3 4. 9 4.20 4.24 6.— 10. 1 10. 1	第2次環境基本計画策定 道の駅瀬戸しなの開場 しなのバスセンターオープン 品野台地域交流センターオープン 給水支援隊、東松島市へ派遣 東松島市へ陶器類提供 瀬戸市長選挙および瀬戸市議会議員選挙 食器6万4千個東松島市に提供 瀬戸市暴力団排除条例施行 水南小学校内に「せとっ子モアスクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 23	2011	6. 10～ 11. 4 6. 10～ 11. 11 6. 14～ 10. 26 6. 15～ 9. 30 6. 30 7. 13～ 10. 7 8. 2 8. 5 10. 1 ～2 10. 15 11. 10 ～13 11. 13	品野中学校校舎耐震補強工事 本山中学校校舎耐震補強工事 東明小学校校舎耐震補強工事 下品野小学校校舎耐震補強工事 效範小学校3年生市役所見学 深川小学校校舎耐震補強工事 名古屋学院大学とボランティア 学生の派遣などに関する協定に 調印 「まるっとせとつ子議会」開催 第8回日本オオサンショウウオの 会瀬戸大会開催 東山小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとつ子フェスタ 2011」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催		
24	2012	2. 5 4. 2 4. — 6. 1～ 9. 28 6. 1～ 10. 19 6. 1～ 11. 2 6. 22～ 9. 21 6. 22～ 10. 5 6. 22～ 10. 12 6. 22～ 10. 26 6. 23 6. 29～ 10. 19 7. 27～ 8. 5 8. 1～ 10. 26	せと歴史と文化財を知る見学会 の実施 第8代教育長 深見和博就任 全国学力・学習状況調査を抽出校 において実施 古瀬戸小学校校舎耐震補強工事 水南小学校校舎耐震補強工事 光陵中学校校舎耐震補強工事 南山中学校校舎（技術棟）耐震補 強工事 效範小学校環境整備工事 水無瀬中学校校舎耐震補強工事 祖東中学校校舎耐震補強工事 掛川小学校「お茶会」開催 幡山東小学校校舎耐震補強工事 本山中学校オーストラリアへホ ームステイ派遣 幡山西小学校校舎耐震補強工事	1. 1 2. — 3. — 3. 1 4. 1 4. 14 10. 1 11. 1 12. 1 3. 1	通院医療費の無料化を中学3年 生まで拡大 のぞみ学園園舎増築 瀬戸市地場産業振興ビジョン策 定 第2次瀬戸市男女共同参画プラ ン策定 道泉地域交流センターオープン 陶祖800年祭オープニング事業 「陶祖・藤四郎フォーラム」開 催 下品野小学校内に「せとつ子モ アスクール」開設 不活化ポリオワクチンとDPT （尺日せき・ジフテリア・破傷 風）の4種混合ワクチン定期予 防接種となる 瀬戸・尾張旭消防指令センター の運用開始 瀬戸市建築物耐震改修促進計画 改訂

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 24	2012	8. 2～ 8. 11 8. 2～ 8. 11 9. 21～ 9. 27 9. 24～ 10. 1 9. 25～ 9. 30 11. 8 ～11 11. 11 12. 7 ～	祖東中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣 本山中学校オーストラリアから ホームステイ受入 水野中学校ニュージーランドか らホームステイ受入 品野中学校ニュージーランドか らホームステイ受入 「まるっと せとっ子フェスタ 2012」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催 陶原小学校外 15 校緊急地震速報 設置工事（～H25. 1. 18）		
25	2013	2. 一 2. 28 3. 14 3. 18 3. 18 3. 28 4. 1 4. 14 4. 23～ 6. 14 5. 10～ 2. 28 6. 28～ 8. 10 11. 14 ～17 11. 17 3. 28	図書館施設等安全安心事業とし て書架固定工事、書籍落下防止工 事、飛散防止フィルム施工 「洞窯跡・東洞 A 窯跡」刊行 校光陵校舎大規模改造工事 「古瀬戸瓶子」を市有形文化財 （工芸）に指定 「品野祇園祭の神武天皇像およ び従者像」を市有形民俗文化財に 指定 「市内遺跡調査報告VI 品野中部 遺跡・穴田古窯跡群・石田遺跡」 刊行 水南小の学校給食調理業務委託 化 全国学力・学習状況調査実施 小学校校舎増築・耐震補強工事 塚原内 1 号墳歴史広場の公開開始 深川小学校外 11 校緊急地震速報 設置工事 幡山中学校校舎増築・改造工事 光陵中学校・（仮称）瀬戸養護学 校 せと歴「深川神社本殿の保存修理 工事見学会」の開催 「まるっとせとっ子フェスタ 2013」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催 「穴田窯跡 I -遺構編-」刊行	4. 1 5. 1 5. 31 6. 9 7. 30 8. 1～2 9. 26～ 10. 2 10. 1	第 2 次いきいき瀬戸 21 健康日 本 21 瀬戸市計画策定 市庁舎増改築整備工事開始 名鉄「新瀬戸駅」の南口交通広 場が完成 山口・菱野・本地地区参加の「郷 社祭り」開催 瀬戸市子ども・子育て会議開催 六角陶碑第 2 次内部調査を行う 瀬戸市・リモージュ姉妹都市提 携 10 周年記念事業「瀬戸市公 式訪問団」リモージュ市派遣 效範小学校内に「せとっ子モア スクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 26	2014	3. 28	「市内遺跡調査報告Ⅶ 若宮遺跡 (若宮町 3-84 地点)」刊行	4. 19～	陶祖 800 年祭記念「藤四郎フェ スティバル」の開催
		4. 1	教育委員会組織の一部改編 (教育総務課と学校教育課を統 合)	9. 30	利川市訪問団が来訪
		4. 8	瀬戸特別支援学校光陵校舎開校	10. 1	幡山西小学校内に「放課後学級」 開設
		4. —	全国学力・学習状況調査実施	11. 1	市役所新庁舎完成
		4. —	「子ども読書活動推進計画(第二 次)」策定		
		6. 6	瀬戸市教育委員会と愛知県瀬戸 警察署との協定書の締結		
		7. 25～	本山中学校オーストラリアへホ ームステイ派遣		
		8. 4			
		7. 31～	祖東中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣		
		8. 9			
		9. 27～	水野中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣・受入		
		10. 3			
		9. 27～	品野中学校ニュージーランドへ ホームステイ受入		
		10. 3			
		9. 29	瓶子窯跡北側里山林を「瓶子の 森」として一体で整備するため公 有地化		
		10. 6	「志段味古墳群 尾張戸神社古 墳」が国指定史跡に追加指定		
		11. 13	「まるっとせとっ子フェスタ ～16 2014」開催		
		11. 16	「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催		
		11. 28～	小・中学校屋内運動場非構造部材 落下防止対策工事		
		3. 20			
		11. 30	せと歴「品野の中馬街道を歩く」 の開催		
		12. 26	小・中学校消防設備・防火扉改修 ～3. 20 工事		
27	2015	1. —	瀬戸市いじめ防止基本方針策定	5. 1	伊藤保徳市長就任
		2. 6	歴史的建造物「旧山繁商店」の公 有化	10. 1	水野小学校、掛川小学校内に「放 課後学級」開設
		2. 27	「六角陶碑一字一石経 整理報告 書」刊行	10. 5	マイナンバー制度開始
		3. 21	東洞A窯跡現地説明会開催 無形民俗文化財記録 DVD「郷社祭 り」制作 文化財紹介 DVD「風にのって」「瀬 戸に暮らす～洞地区～」制作		
		3. 27	「市内遺跡調査報告Ⅷ 今村城 跡」刊行		
		3. 31	「東印所A窯跡」刊行		
		7. 6～	瀬戸市体育館第1競技場耐震補 強工事		
		3. 25			

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 27	2015	10. 7	国史跡小長曾陶器窯跡が「瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡」となり「瀬戸窯跡 瓶子陶器窯跡」が国指定史跡に追加指定		
		11. 7	せと歴「瀬戸の古墳 再発見」の開催		
		11. 12	「まるっとせとっ子フェスタ 2015」開催		
		11. 15	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		11. 17	「旧山繁商店 離れ・事務所・旧事務所・土蔵・新小屋・前倉庫・中倉庫・奥倉庫・塀」が国登録文化財(建造物)に登録		
H28	2016	1. 7	歴史文化基本構想第1回策定委員会開催	10. 1	祖母懐小学校、東山小学校内に「放課後学級」開設
		2. 20	桂蔵窯跡現地説明会開催		
		3. -	第2次瀬戸市教育アクションプラン策定		
		~3. 17	西陵小学校増築・改修工事		
		3. 25	瀬戸市立図書館整備基本構想策定		
		3. 31	「若宮遺跡-若宮町3丁目130番地点の調査-」・「大坪西遺跡」刊行		
		4. 1	原山小学校に「日本語初期指導教室」開設 教育委員会に「教育サポートセンター」開設 3名のスクールソーシャルワーカーを配置		
		4. 10	せと歴！「水南のマメナシ界限Ⅰ」の開催		
		6. 5	せと歴！「馬ヶ城の歴史」の開催		
		7. 16	せと歴！「陶祖公園」の開催		
		8. 17	第1回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会		
		10. 1	新教育委員会制度の下、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」を置く		
		11. 7	第2回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会		
		11. 10	「まるっとせとっ子フェスタ 2016」開催		
		11. 13	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		11. 30	洞本業窯保存事業(保護覆屋等の保存工事)完了		
		12. 22	第1回旧山繁商店保存活用計画策		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H28	2016	12. 22	定委員会開催 第3回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会		
H29	2017	1. 26 2. - 2. 7 2. 16 3. 24 3. 25 3. 31 6. 29 8. 28	第4回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会 瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想策定 歴史文化基本構想第7回策定委員会開催 (瀬戸市歴史文化基本構想策定) 第5回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会 「陶祖公園内窯跡発掘調査報告書」刊行 せと歴！「水南のマメナシ界限Ⅱ」の開催 「中水野遺跡発掘調査報告書」・「大平窯跡・大平縄文遺跡」刊行 第1回瀬戸市小中一貫校開校準備委員会 第2回瀬戸市小中一貫校開校準備委員会		
H30	2018	1. 18	第2回瀬戸市小中一貫校開校準備委員会（予定）		H29. 10 現在

2 教育関係施設一覧

名 称	所 在 地	電 話 番 号
瀬戸市役所	瀬戸市追分町64番地の1	82-7111
陶原小学校	〃 原山町1番地の3	82-2243
深川小学校	〃 宮脇町53番地	82-2272
祖母懐小学校	〃 萩殿町2丁目178番地	82-2273
道泉小学校	〃 道泉町44番地	82-2474
效範小学校	〃 效範町1丁目1番地	82-3050
東明小学校	〃 東明町50番地	82-5501
古瀬戸小学校	〃 古瀬戸町70番地	82-2392
水野小学校	〃 小田妻町2丁目22番地	48-1098
水南小学校	〃 東松山町154番地	82-2084
幡山東小学校	〃 八幡町455番地	82-4404
幡山西小学校	〃 幡西町203番地	82-4394
下品野小学校	〃 品野町6丁目223番地	41-0074
品野台小学校	〃 上品野町1234番地	41-0041
掛川小学校	〃 下半田川町592番地の41	48-5151
長根小学校	〃 東長根町166番地	82-9640
原山小学校	〃 原山台3丁目98番地	21-3804
東山小学校	〃 東山町71番地	21-2801
萩山小学校	〃 萩山台2丁目22番地	83-3650
八幡小学校	〃 八幡台3丁目1番地	82-4445
西陵小学校	〃 すみれ台1丁目77番地	48-1993
水無瀬中学校	〃 原山町1番地	82-3098
祖東中学校	〃 中山町1番地	82-2244
南山中学校	〃 ひまわり台5丁目1番地	48-1212
本山中学校	〃 道泉町76番地の1	82-2363
幡山中学校	〃 幡中町106番地	82-4393
品野中学校	〃 広之田町2番地の5	41-0019
光陵中学校	〃 萩山台9丁目244番地	21-4660
水野中学校	〃 日の出町34番地	48-4698
瀬戸特別支援学校	〃 萩山台2丁目22番地	76-4391
瀬戸特別支援学校光陵校舎	〃 萩山台9丁目244番地	76-2263
陶原公民館	〃 熊野町98番地	83-3579
深川公民館	〃 宮脇町53番地	82-0453
祖母懐公民館	〃 上ノ切町43番地	82-9304
古瀬戸公民館	〃 西拝戸町16番地の10	83-8741
東明公民館	〃 西拝戸町16番地の3	82-8024
效範公民館	〃 北山町39番地	82-1095

名 称	所 在 地	電 話 番 号
長根公民館	瀬戸市城屋敷町22番地	85-0911
水南公民館	〃 東松山町154番地	21-2556
水野公民館	〃 中水野町1丁目150番地	48-1112
山口公民館	〃 田中町108番地	87-0700
幡山公民館	〃 幡山町71番地	87-4000
下品野公民館	〃 品野町6丁目105番地	41-4118
掛川公民館	〃 定光寺町1206番地	48-6165
原山公民館	〃 原山台8丁目163番地	83-9231
萩山公民館	〃 萩山台4丁目2番地の2	84-2088
八幡公民館	〃 八幡台1丁目145番地の2	82-9456
図書館	〃 東松山町1番地の2	82-2202
市民交流センター情報ライブラリー	〃 栄町45(パーティセと内)	97-1162
学校給食センター	〃 日の出町34番地の2	48-7600
市民公園(交流学び課スポーツ係)	〃 上本町1番地	48-0500
定光寺野外活動センター	〃 鹿乗町1231番地	48-0770
公立瀬戸旭看護専門学校	〃 進陶町6番地の1	85-2220
聖霊中学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
聖霊高等学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
南山大学瀬戸キャンパス	〃 せいれい町27番地	89-2000
瀬戸高等学校	〃 東山町1丁目5番地	82-7710
瀬戸窯業高等学校	〃 東権現町22番地の1	82-2003
瀬戸西高等学校	〃 緑町1丁目140番地	84-7400
瀬戸北総合高等学校	〃 本郷町260番地	48-1500
聖カピタニオ女子高等学校	〃 西長根町137番地	82-7711
名古屋学院大学瀬戸キャンパス	〃 上品野町1350番地	42-0350
愛知県立窯業高等技術専門校	〃 南山口町538番地	21-6666
瀬戸ひなご幼稚園	〃 紺屋田町93番地の41	82-7760
雪の聖母幼稚園	〃 東長根町91番地	82-6409
マリア幼稚園	〃 苗場町8番地	82-9749
真貴幼稚園	〃 原山台2丁目23番地の2	21-4127
菱野幼稚園	〃 萩山台7丁目13番1号	83-3651
はちまん幼稚園	〃 八幡台4丁目14番1号	83-8703
瀬戸幼稚園	〃 すみれ台4丁目40番地の5	48-4800

瀬戸市の教育

(平成29年度版)

平成29年10月発行

編集・発行

瀬戸市教育委員会
瀬戸市追分町64番地の1
TEL (0561)88-2750(直通)